



## 平成18年度春募集ボランティア要望調査票

長期 ( ● JOCV ○ 日青 ○ SV ○ 日S )

短期 ( ○ JV\_A ○ JV\_B ○ SV\_A ○ SV\_B )

事務局記入欄

現職教員特別参加制度: X

記入日: 平成17年11月2日

要請番号 ( JL 251 - 05 - 1 - 34 )		<input checked="" type="checkbox"/> JV ⇄ SV 振替可		調査者名: 伊東一郎調整員	
国名  モザンビーク	職種 / 指導科目 理数科教師 (コード 692) 指導科目 (現地公用語 [ ポルトガル 語 ]) Biology Teacher		区分 (長期のみ) ● 新規 ○ 交替 1 代目	派遣希望期間 ● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	派遣希望時期 JOCV SV / 短期等 18年度2次隊 18年度3次隊 19年度1次隊 年 月 から
	大分類: 人的資源 中・小分類: 中等教育	分野: 基礎教育 課題: 教育へのアクセスの拡大、質の向上		プログラム名: 中等教育の質の向上プログラム	
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育文化省 (現地公用語) Ministerio de Educação e Cultura				
	2) 配属先名 (日本語) モザンビーク島中等学校 (現地公用語) Escola Secundaria da Ilha de Moçambique				
	3) 配属先所在地 首都(マプト)から 北東 方向 2,450 Km ナンプラ州モザンビーク島 主要都市(ナンプラ)までの交通手段及び所要時間(バスで約2時間)				
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 8~10 degreeを対象としており生徒数640名程度(うち女子30%程度)、朝・昼・夜の3部制で教員数20名程度の島で唯一の公立中学校。教室数7室で年間総予算額135万円程度。 外国からの援助は資金的にも人員的にも特にないが、2004年まで日本人女性英語教師が6年間、個人契約で勤務。				
	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 当国中学校教育一般の大きな問題として、中学校教員としての教育・訓練を受けた有資格の人材が極めて乏しく特に理数科教員は確保困難であるために十分な中学校教育が行えないことが挙げられる。当面の間この深刻な教員不足をJOCVなどの派遣を求めて補完しつつ、並行的にボランティアとの実際の教育業務を通じて当国教員の養成および質的向上を図ることが要請理由である。				
要請概要	2) 期待される具体的業務内容 ・生物学専任教員の一人として実際の昼間部授業クラスを受け持ちつつ、必要に応じて現地教員と共同で授業を行うなど、同僚教員のレベルアップを目的とした授業方法についての助言・提案、ノウハウの伝授を行う。 ・毎週実施されている分野別の校内教員間レベルアップミーティング(研修)、3ヶ月毎の分野別技能研修に参加し、問題点指摘・改善に向けたアイデア提供など、専門的視点から同分野担当教員全体の質的向上・ボトムアップを図る。 ・場合によっては、必要に応じて現地教員を対象にグレイドアップのための研修授業の実施なども求められる。 ・空き時間を活用した日本文化紹介、スポーツ指導など生徒の新しい知識・経験のための専門分野外活動も期待される。 ・理科室新設のための設備・備品などについても助言を求められる可能性がある。				
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 現在のところ理科室はないが、他の教室を理科室に転用可能。実験機器等はなし。				
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 同僚教員2名、40歳代、うち1名は臨時教員。 専門的教育・訓練を受けておらず、専門教員としての技能レベルは初級程度。				
	6) 業務で使用する言語 ● ポルトガル 語 (レベル: ) ○ 語 (レベル: )				
	*JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力				
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 大卒(理系) 理由: 同僚教員への指導を行うため ・ 教員免許(中高・理) 理由: 同僚教員への指導を行うため ・ 実務経験1年 理由: 業務内容から最低限必要と判断される				
概地況域	気候( 亜熱帯気候 ) 気温( 20 ~ 38 ℃位 ) 電気( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし ) 電話( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし ) 水道( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし )				



## 平成18年度春募集ボランティア要望調査票

長期 (  JOCV  日青  SV  日S )短期 (  JV\_A  JV\_B  SV\_A  SV\_B )

事務局記入欄

現職教員特別参加制度: 

記入日: 平成17年3月10日

要請番号( JL 253 - 05 - 0 - 13 )		<input type="radio"/> JV↔SV振替可	調査者名: 高橋ゆう子		
国名  ニジェール	職種 理数科教師 (コード 692 )  指導科目 (現地公用語[ 仏 語 ]) Education Scientifique et Mathematiques	区分 (長期のみ)  ● 新規 ○ 交替 1 代目	派遣希望期間  ● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	派遣希望時期  JOCV SV/短期等  1 18年度2次隊 2 18年度3次隊 3 19年度1次隊	
				年 月 から	
大分類: 中・小分類:		分野: 教育 課題: 開発のための人材育成推進	プログラム名: 中等理数科強化支援		
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 中高等教育研究技術省 (現地公用語) Ministere des Enseignements Secondaire et Supérieur de la Recherche et de la				
	2) 配属先名 (日本語) ニアメ第6中学校 (現地公用語) CEG6 Niamey				
	3) 配属先所在地 首都(ニアメ)から 方向 Km ニアメ 主要都市( )までの交通手段及び所要時間( で約 時間)				
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 同校は1976年に設立され、全校生徒1400名、教諭42名(うち教員免許資格を持たない契約教諭:29名)規模の中学校である。教諭給与等の主な運営費用は省庁が担っているが、学校設備修理や備品購入については父兄からの共益金で対応する等、予算状況は厳しい。				
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同校には2004年11月にアフリカ開発銀行の支援により、理科実験室改築及び理科実験機材一式の供与がおこなわれたが、使用方法をしっかりと把握している現地教諭は少なく、その設備を充分に活用できていない状況である。加えて、当国の理数科教育は理論教育が中心であるため、今後は実験授業を効果的に取り入れた魅力ある授業づくりへの取り組みが望まれており、その実現の為、理科実験に関する知識を有し、実験授業の必要性とその具体的手法を教諭に伝えていく人材が必要とされている。				
	2) 期待される具体的業務内容 同校では理数科授業に実験授業が積極的に組み込まれているとは言い難い状況の為、実験講習会の開催や実験マニュアル作成等の取り組みを通じて、現地教諭に実験授業の必要性とその具体的手法を伝え、効果的に実験授業を取り入れよう促していくことが望まれる。また、実験担当主任とともに、現地教諭に実験器具や薬品の取り扱い方法を指導するとともに、実験授業に生徒を積極的に参加させる手法についてアドバイスすることも期待される。加えて、身近な素材を工夫してできる実験教材の開発に取り組むことで、より一層の理科実験設備の充実を図る。ある程度充実している同校の実験設備と自身の知識を最大限に活用して、実験授業充実の必要性を現地教諭に伝えていくための工夫と積極性が必要とされる。				
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 理科実験準備室、理科実験室2、テレビ、ビデオ、プロジェクター、顕微鏡、天秤、オシロスコープ、電圧測定器、ビーカー、フラスコ等実験用器具・計器・薬品類一式				
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 同僚: 実験担当主任 1名(40代・女性) 物理・地理・生物地学教諭 13名 指導対象者: 同僚教諭 中学生(13歳~16歳)				
資格条件	6) 業務で使用する言語 <input checked="" type="radio"/> フランス語 (レベル: ) <input type="radio"/> 語 (レベル: )				
	*JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力				
概地況域	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 教諭免許 (理科) 理由: 教育現場で教師及び生徒への指導にあたる為				
	気候( サヘル ) 気温( 15~45 ℃位 ) 電気( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし ) 電話( <input type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし ) 水道( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし )				



平成18年度春募集ボランティア要望調査票  
 長期 ( ● JOCV ○ 日青 ○ SV ○ 日S )  
 短期 ( ○ JV\_A ○ JV\_B ○ SV\_A ○ SV\_B )

事務局記入欄

現職教員特別参加制度: ◎

記入日: 平成17年3月11日

要請番号 ( JL 253 - 05 - 0 - 14 )		<input checked="" type="checkbox"/> JV ⇄ SV 振替可		調査者名: 高橋ゆう子	
国名		職種 / 指導科目		区分 (長期のみ)	派遣希望期間
ニジェール	職種 理数科教師 (コード 692 ) 指導科目 (現地公用語[ 仏 語 ]) Education Scientifique et Mathematiques			<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 1 代目	JOJV 18年度2次隊 2 18年度3次隊 3 19年度1次隊
				<input type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 ○ ヶ月	年 月 から
大分類:		分野: 教育		プログラム名: 中等理数科強化支援	
中・小分類:		課題: 開発のための人材育成推進			
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 中高等教育研究技術省 (現地公用語) Ministere des Enseignements Secondaire et Supérieur, de la Recherche et de la Technologie				
	2) 配属先名 (日本語) ニアメ第4中学校 (現地公用語) CEG4 Niamey				
	3) 配属先所在地 首都( ニアメ )から 方向 Km ニアメ 主要都市( )までの交通手段及び所要時間( で約 時間)				
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 同校は、全校生徒1380名、教諭36名(うち教員免許資格を持たない契約教諭:21名)規模の中学校である。教諭給与等の主な運営費用は省庁が担っているが、学校設備修理や備品購入については父兄からの共益金で対応する等、予算状況は厳しい。				
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同校には2004年12月にアフリカ開発銀行の支援により、理科実験室改築及び理科実験機材一式の供与がおこなわれたが、使用方法をしっかりと把握している現地教諭は少なく、その設備を充分に活用できていない状況である。加えて、当国の理数科教育は理論教育が中心であるため、今後は実験授業を効果的に取り入れた魅力ある授業づくりへの取り組みが望まれており、その実現の為、理科実験に関する知識を有し、実験授業の必要性とその具体的手法を教諭に伝えていく人材が必要とされている。				
	2) 期待される具体的業務内容 同校では理数科授業に実験授業が積極的に組み込まれているとは言い難い状況の為、実験講習会の開催や実験マニュアル作成等の取り組みを通じて、現地教諭に実験授業の必要性とその具体的手法を伝え、効果的に実験授業を取り入れるよう促していくことが望まれる。また、実験担当主任とともに、現地教諭に実験器具や薬品の取り扱い方法を指導するとともに、実験授業に生徒を積極的に参加させる手法についてアドバイスすることも期待される。加えて、身近な素材を工夫してできる実験教材の開発に取り組むことで、より一層の理科実験設備の充実を図る。ある程度充実している同校の実験設備と自身の知識を最大限に活用して、実験授業充実の必要性を現地教諭に伝えていくための工夫と積極性が必要とされる。				
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 理科実験準備室、理科実験室2、テレビ、ビデオ、プロジェクター、顕微鏡、天秤、オシロスコープ、電圧測定器、ビーカー、フラスコ等実験用器具・計器・薬品類一式				
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 同僚: 実験担当主任 1名(40代・男性) 物理・地理・生物地学教諭 7名 指導対象者: 同僚教諭 中学生(13歳~16歳)				
	6) 業務で使用する言語 <input checked="" type="radio"/> フランス 語 (レベル: ) <input type="radio"/> 語 (レベル: ) <small>* JVは派遣前訓練指定言語をチェック * SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力</small>				
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 - 教諭免許 (理科) 理由: 教育現場で教師及び生徒への指導にあたる為				
概況	気候( サヘル ) 気温( 15~45 ℃位 ) 電気( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし ) 電話( <input type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし ) 水道( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし )				



## 平成18年度春募集ボランティア要望調査票

長期 ( ● JOCV ○ 日青 ○ SV ○ 日S )

短期 ( ○ JV\_A ○ JV\_B ○ SV\_A ○ SV\_B )

事務局記入欄

現職教員特別参加制度: ◎

記入日: 平成17年11月7日

要請番号( JL 253 - 05- 1 - 23)		<input checked="" type="checkbox"/> JV↔SV振替可	調査者名: 高橋ゆう子			
国名  ニジェール	職種 / 指導科目 職種 理数科教師 (コード 692) 指導科目 (現地公用語[ 仏 語 ]) Education Scientifique et Mathématiques		区分 (長期のみ) ○ 新規 ● 交替 4 代目	派遣希望期間 1 18年度2次隊 2 18年度3次隊 3 19年度1次隊	派遣希望時期 JOCV SV/短期等	
大分類: 人的資源 中・小分類: 中等教育	分野: 教育 課題: 開発のための人材育成推進	プログラム名: 中等理数科強化支援				

配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 中高等教育研究科学技術省 (現地公用語) Ministere des Enseignements Secondaire et Supérieur, de la Recherche et de la Technologie
	2) 配属先名 (日本語) ガウエイ中学校 (現地公用語) CEG Gawaye
	3) 配属先所在地 首都( ニアメ )から 方向 Km ニアメ 主要都市( )までの交通手段及び所要時間( で約 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 同校は生徒数1600名、教諭64名の大規模校であるが、教室数が充分でなく、一部藁葺きの簡易教室を使用する等、予算状況は厳しい。

要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同校には日本の無償援助で理科実験室が建てられ、実験器具も整備された。しかしその使用方法を充分把握している現地教諭は少ないことから、器具の使用法や実験例を示しながらの指導、また実験授業の進め方についても助言が必要とされている。加えて、理論中心の理数科教育に実験授業を効果的に取り入れた、魅力ある授業づくりへの取り組みも期待されている。
	2) 期待される具体的業務内容 現地教諭に実験器具や薬品の取り扱い方法を指導するとともに、生徒に対して共に理科実験授業をおこなう。具体的には実験担当教諭と相談しながらの年間授業プログラムの作成と実施、実験方法に関するマニュアルの作成等が考えられる。また実験の目的をしっかりと把握させ、単なる結果を得るだけの実験ではなく、生徒自身が考えながら取り組める授業形態の提案も望まれる。加えて、身近な素材を工夫してできる実験教材の開発に取り組むことで、より一層の理科実験設備の充実を図る。
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 理科実験室、理科実験器具、実験薬品
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 実験担当主任1名 生物化学・物理化学教諭 11名
6) 業務で使用する言語 <input checked="" type="radio"/> フランス語 (レベル: ) <input type="radio"/> ザルマ語 (レベル: )	

資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 教諭免許 (理科) 理由:	
概況	気候( サヘル ) 気温( 15~45 ℃位 ) 電気( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし ) 電話( <input type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし ) 水道( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし )	

\* JVは派遣前訓練指定言語をチェック  
\* SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力



## 平成18年度春募集ボランティア要望調査票

長期 (  JOCV  日青  SV  日S )  
 短期 (  JV\_A  JV\_B  SV\_A  SV\_B )

事務局記入欄

現職教員特別参加制度: 

記入日: 平成17年1月26日

要請番号( JL 257 - 05 - 0 - 15 )		<input type="checkbox"/> JV↔SV振替可	調査者名: 大出 理恵	
国名  ルワンダ	職種 / 指導科目  職種 理数科教師 (コード 692 ) 指導科目 (現地公用語 [ 仏 語 ]) Education Scientifique et Mathematiques		区分 (長期のみ)  ● 新規 ○ 交替	派遣希望期間  代目 1 2年 ○ 1年 ○ ヶ月 2 18年度 3次隊 3 19年度 1次隊
				派遣希望時期  JOCV SV/短期等
				年 月 から
大分類:	分野: 人的資源開発(教育・職業教育)		プログラム名:	
中・小分類:	課題:			
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育科学省 (現地公用語) Ministère de l'Education de la Science, de la Technologie et de la Recherche			
	2) 配属先名 (日本語) キガリ中等学校 (現地公用語) Lycee de Kigali			
	3) 配属先所在地 首都( キガリ )から 方向 Km キガリ 主要都市( )までの交通手段及び所要時間( で約 時間)			
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) キガリ市中心に位置し、中学・高校一貫教育の生徒数1500人の国内トップクラスの教育レベルを誇る公立共学校。同校では、仏語(全教科教授言語が仏語)コースと英語(全教科教授言語が英語)コースが併設されている。同校には、ルワンダ人教師の他にウガンダ人およびケニア人教師、ナイジェリア政府から派遣された4人のボランティア教師が活動している。			
	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) ルワンダの中等教育において、生徒の理数科に対する理解度は他教科に比べて低い。また、理数科教員の研修機会も限られていることから、教員の質も十分とはいえない。同校では、質の高い理数科教育の提供をめざし、海外(上記アフリカ各国)から理数科教師を招いている。生徒に質の高い教育を与えるべく、同校の一教員として、理数科を担当するJOCVの派遣が期待されている。			
要請概要	2) 期待される具体的業務内容 ・ジュニア・セカンダリー(中学校)レベルの仏語コースにて数学または物理を担当する。 ・基礎から応用レベルまで幅広い範囲での指導が求められる。 ・同僚と授業内容について話し合い授業を実施することも期待されている。			
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 黒板、実験室			
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 同僚(大卒) 生徒数(中・高) 1500人			
資格条件	6) 業務で使用する言語 <input checked="" type="radio"/> フランス 語 (レベル: ) <input type="radio"/> キニヤルワンダ 語 (レベル: )			
	*JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力			
条件(資格、免許、性別)及びその理由 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>大卒</b> 理由: 他の教員と同等の学歴が求められるため</li> <li>・ <b>教諭免許</b> 理由: 免許・資格が重視されるため</li> <li>・ <b>指導経験 4年以上</b> 理由: 幅広い範囲での指導が求められているため</li> </ul>				
概地況域	気候( 热帯性気候 ) 気温( 15-35 ℃位 ) 電気( <input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし ) 電話( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし ) 水道( <input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし )			



## 平成18年度春募集ボランティア要望調査票

長期 (◎JOCV ○日青 ○SV ○日S )

短期 (○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

現職教員特別参加制度: ◎

記入日: 平成17年11月4日

要請番号( JL 257 - 05- 1 - 22)		<input checked="" type="checkbox"/> JV↔SV振替可	調査者名: 清水・大出				
国名  ルワンダ	職種／指導科目  職種 理数科教師 (コード 692) 指導科目 (現地公用語[ 仏語 ]) Ouvrier Social		区分 (長期のみ)  ●新規 ○交替 代目	派遣希望期間  ● 2年 ○ 1年 ○ ケ月	派遣希望時期  1 18年度2次隊 2 18年度3次隊 3 19年度1次隊		
							年 月 から
大分類: 中・小分類:		分野: 人的資源開発(教育・職業教育) 課題:		プログラム名:			
配属先概要	1)受入省庁名 (日本語) 教育科学省 (現地公用語) Ministry of Education, Science, Technology and Research						
	2)配属先名 (日本語) ガヒニ中等学校 (現地公用語) Gahini Secondary School						
	3)配属先所在地 首都( キガリ )から 北東 方向 89 Km ウムタラ県 主要都市( )までの交通手段及び所要時間( で約 時間)						
	4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 1970年代にプロテスタート系協会によって設立され、現在は公立の共学寄宿制中等学校。生徒数は1500名、教員数は41名。同校は、中学・高校一貫教育で、仏語(全教授言語が仏語)コースと英語コースの2コースが運営されている。教員のうち11名は外国人教師(コンゴ人6名、ウガンダ人3名、VSO2名)である。また、同校は盲目の生徒34名を一般クラスに受け入れている。外部支援として、過去にUNHCRに教室の修復、英國大使館がPCルーム、寄宿舎整備を行った。						
	1)要請理由・前任者の活動状況(補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同校の生物/化学セクションは、6名の教員(年齢:平均30代、経験年数:平均5年、学歴:高卒~大卒)にて構成されているが、高校レベルの生物/化学を指導可能な教師が不足している現状がある。この現状を開拓し、生徒に十分な質の伴った教育を提供することを目的に、特に教員が不足している高校レベル仏語コースにて生物/化学の授業を担当する理数科教師隊員の要請が挙がった。						
要請概要	2)期待される具体的業務内容 同校の高校レベル仏語コースにて、生物及び化学の授業を担当する。また、隊員は授業以外にクラブ活動(各種スポーツ)指導も期待されている。尚、隊員が利用可能な実験器具は限られていることから、実験の際には、現地で入手可能なりソースの活用等、隊員の創意工夫が求められている。						
	3)ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 実験室、基礎的な実験器具						
	4)配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 生物/化学セクション教員6名(年齢:平均30代、経験年数:平均5年、学歴:高卒~大卒)、高校仏語コースの生徒						
資格条件	6)業務で使用する言語 <input checked="" type="radio"/> 仏語 語(レベル: ) <input type="radio"/> キニヤルワンド 語(レベル: ) <small>*JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力</small>						
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大卒 理由: 他の教員と同等の学歴が求められるため</li> <li>・ 生物又は化学教諭免許 理由: 免許・資格が重視されるため</li> </ul>						
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指導経験2年以上 理由: 教師に対する助言も求められるため</li> </ul>						
概況	気候( 热帯性気候 ) 気温( 15-35 ℃位 ) 電気( <input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし )						
	電話( <input type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし ) 水道( <input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし )						



## 平成18年度春 募集ボランティア要望調査票

長期 ( ● JOCV ○ 日青 ○ SV ○ 日S )

短期 ( ○ JV\_A ○ JV\_B ○ SV\_A ○ SV\_B )

事務局記入欄

現職教員特別参加制度: ◎

記入日: 平成18年1月6日

要請番号( JL 269 - 06 - 0 - 01 )		<input checked="" type="radio"/> JV↔SV振替可		調査者名: 鍋島 由美子		
国名	職種／指導科目 職種 理数科教師 (コード 692 ) 指導科目 数学 (現地公用語[ 英 語 ]) science and mathematics education	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期		
				JOCV	SV/短期等	年 月 から
南アフリカ共和国	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2代目	<input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ケ月	1 18年度 2次隊 2 18年度 3次隊 3 19年度 1次隊			
大分類: 人的資源 中・小分類: 中等教育	分野: 教育開発 課題: 貧困層の教育の底上げ	プログラム名: 中等理数科教育プログラム				
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) ムプマランガ州教育省 (現地公用語) Mpumalanga Department of Education					
	2) 配属先名 (日本語) カニヤマザネセンター (現地公用語) KaNyamazane Education Development Centre					
	3) 配属先所在地 首都( Pretoria )から 東 方向 350 Km ネルスプリット地区カニヤマザネ 主要都市( Nelspruit )までの交通手段及び所要時間( バス で約 0.5時間 )					
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) ムプマランガ教育省エシャンゼニ地域事務所管轄下であるネルスプリット地区的教育開発センターの一つとして、教員の再教育など、学校教育全般に渡る管理をおこない、また、リソースセンターとしての役割を担っている。同教育開発センター独自の予算はなく、地域事務所からの配分となる。					
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 南アフリカ政府は全人種に均等に教育を授けることを国家目標としているが、アパルトヘイト下で十分な教育を受けてこなかった教員が多く、全人への十分な教育の歴史が浅いことから、特に理数科において、学生のみならず教員の学力レベルも低水準であり、現職教員の再訓練や授業手法の改善指導が必要である。1代目隊員は当該地区内で数校を集中的に訪問し、現地教師の授業支援、定期的に教員対象のワークショップなどを開催している。同地域事務所の協力が大きく、また、積極的な教員を対象にすることで協力効果が見込まれている。担当地区は都市部であり貧困率が高く、学生のドロップアウトが多い。貧困層青少年の教育を重視しており、隊員の協力が必要とされている。					
	2) 期待される具体的業務内容 担当地区において、教育指導主事やクラスターーリーダー(地区教員グループ内教員リーダー)や一般教員と協力して、 ①数校に対する定期的かつ集中的な授業補助及び協力(現地教員とペアとなって授業前後や授業中に教師に対し助言、補佐を行うチームティーチング) ②教員対象のワークショップの開催。授業の準備、生徒への支援方法、宿題やテストの取り扱い方、成績処理などに協力する。また、教員の意欲に問題があるので、特に授業技術に関する協力や助言と授業の機材や新しいアイデアの提供などが求められる。 基本的に生徒への単独での授業は行わず、教員を対象とした指導を念頭に行う。					
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 地域事務所や教育開発センターの事務所。ワークショッフルーム(60名程度収容可能)、事務所設置のパソコンやプリンター、視聴覚機器等					
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 教育指導主事: 1名。知識はあるが、教科以外に担当する諸業務が多く、教員に対する教科自体への支援の機会は少ない。 地区の教員: 80名ほど。知識や技能に個人差が激しい。 学生: Grade 8~11(15歳~18歳程度)基礎知識のない学生が多い。					
資格条件	6) 業務で使用する言語 <input checked="" type="radio"/> 英語 語 (レベル: ) <input type="radio"/> 語 (レベル: )					
	* JVは派遣前訓練指定言語をチェック * SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力					
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 大卒 理由: ・ 指導経験2年程度 理由: 教員を対象。教育指導の専門的な知識や技能要					
	・ 社会経験3年程度 理由: 地域事務所、学校などとの包括的な調整が必要					
概況	気候( 温暖 ) 気温( 5~40 ℃位 ) 電気( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし ) 電話( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし ) 水道( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし )					



## 平成18年度春募集ボランティア要望調査票

長期 ( ● JOCV ○ 日青 ○ SV ○ 日S )

短期 ( ○ JV\_A ○ JV\_B ○ SV\_A ○ SV\_B )

事務局記入欄

現職教員特別参加制度: ◎

記入日: 平成18年1月6日

要請番号( JL 269 - 06 - 02 )		<input checked="" type="checkbox"/> JV↔SV振替可		調査者名: 鍋島 由美子		
国名  南アフリカ共和国	職種 / 指導科目 職種 理数科教師 (コード 692 ) 指導科目 数学 (現地公用語[ 英 語 ]) science and mathematics education		区分 (長期のみ) ○ 新規 ● 交替 3 代目	派遣希望期間 ● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	派遣希望時期 JOCV SV/短期等	
	年 月 から					
	1 18年度2次隊 2 18年度3次隊 3 19年度1次隊					
大分類: 人的資源 中・小分類: 中等教育	分野: 教育開発 課題: 貧困層の教育の底上げ	プログラム名: 中等理数科教育プログラム				
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) ムプマランガ州教育省 (現地公用語) Mpumalanga Department of Education					
	2) 配属先名 (日本語) ンデベレセンター (現地公用語) Ndebele Education Development Centre					
	3) 配属先所在地 首都( Pretoria )から 北東 方向 120 Km グローブラースダール地区シャブスワ 主要都市( Pretoria )までの交通手段及び所要時間( バス で約 2.5時間)					
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) ムプマランガ教育省ンカンガラ地域事務所管轄下であるグローブラースダール地区の教育開発センターの一つとして、教員の再教育など、学校教育全般に渡る管理をおこない、また、リソースセンターとしての役割を担っている。同教育開発センター独自の予算はなく、地域事務所からの配分となる。					
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 南アフリカ政府は全人種に均等に教育を授けることを国家目標としているが、アパルトヘイト下で十分な教育を受けてこなかった教員が多く、全人への十分な教育の歴史が浅いことから、特に理数科において、学生のみならず教員の学力レベルも低水準であり、現職教員の再訓練や授業手法の改善指導が必要である。1代目隊員は当該地区数学担当主事とともに教員対象のワークショップ等で教員への協力を中心に行つた。2代目隊員は学校での教員の授業指導(授業は持たない)や特定の学校での補習授業、基礎学力アッププロジェクト(夏期講習等)等行つてている。同地区では教員センターの協力もあり地域のクラスター活動も盛んなため、同業務の継続により、効果が見込めるところから隊員の協力が必要とされる。					
	2) 期待される具体的業務内容 担当地区において、地区担当の教育指導主事と協力して、①学校訪問時に教員に対して授業視察と指導方法の助言 ②教員の授業補助及び協力(現地教員とペアとなって授業前後や授業中に教師に対し助言、補佐を行うチームティーチング) ③クラスターリーダー(地区教員グループ内教員リーダー)中心のワークショップ協力 ④数校に対する定期的・集中的な授業補助(補習等)。教員の授業自体に大きな問題は少ないが、生徒に対する支援、宿題、小テスト等の課題、教員としての意欲に問題を抱えるため、特に授業の前後の技術に関する助言能力等が求められる。 基本的に生徒への単独での授業は行わず、教員を対象とした指導を念頭に行う。					
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 教育開発センターの事務所やワークショップルーム、事務所設備のパソコンやプリンター(ただし教育指導主事との共同使用となる)、視聴覚機器等					
資格条件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 教育指導主事 30歳後半(高校担当)、知識、一般技能ともに豊富。教師経験あり。 教育指導主事 30歳前半(中学担当)、知識、一般技能ともに豊富。教師経験あり。 教員: 高校教員は知識はあるが、中学校教員の知識については個人差が激しい。					
	6) 業務で使用する言語 ● 英 語 (レベル: ) ○ 語 (レベル: ) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力					
概況	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 大卒 理由: ・ 指導経験2年程度 理由: 教員を対象。教育指導の専門的な知識や技能を					
	・ 社会経験3年程度 理由: 学校などとの包括的な調整が必要					
概況	気候( 温暖 ) 気温( 15~35 ℃位 ) 電気( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし ) 電話( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし ) 水道( <input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし )					



## 平成18年度春募集ボランティア要望調査票

長期 ( ● JOCV ○ 日青 ○ SV ○ 日S )

短期 ( ○ JV\_A ○ JV\_B ○ SV\_A ○ SV\_B )

事務局記入欄

現職教員特別参加制度: ◎

記入日: 平成16年12月14日

要請番号( JL 273 - 05 - 0 - 11 )		<input checked="" type="radio"/> JV ⇄ SV 振替可		調査者名: 真鍋 真	
国名  タンザニア	職種 理数科教師 (コード 692 ) 指導科目 (現地公用語[ 英 語 ]) Science & Mathematics Teacher		区分 (長期のみ) ○ 新規 ● 交替 4 代目	派遣希望期間 ● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	派遣希望時期 JOCV SV/短期等 年 月 から 1 19年度 1次隊 2 年度 次隊 3 年度 次隊
大分類: 中・小分類:	分野: 教育セクター開発計画支援 課題: 教育セクター開発計画支援		プログラム名: 教育のアクセス拡充及び質の向上		
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育文化省 (現地公用語) Ministry of Education & Culture				
	2) 配属先名 (日本語) サメ中等学校 (現地公用語) Same Secondary School				
	3) 配属先所在地 首都( ダルエスサラーム )から 北西 方向 500 Km キリマンジャロ州サメ 主要都市( モシ )までの交通手段及び所要時間( バス で約 2 時間)				
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 1952年に設立された、Oレベル(男女共学、寮・一部通学制、生徒数約400名)とAレベル(男子のみ、全寮制、生徒数約140名)の併設校で、教員数25名の中規模校である。年間予算はUS\$25,800。				
要請概要	1) 要請理由 前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 当国の中等学校では地方村落部及びAレベルにおいて理数科担当の教員が不足しており、生徒が受けるべき授業数が維持されていない現状がある。このような背景から、教員不足を補完し、さらに質の高い授業の提供を目指すため、今回の要請に至った。現在派遣されている隊員はAレベル物理を週20時限(1時限は40分)担当している。生徒が理解しやすい授業に心がけ、信頼されている。				
	2) 期待される具体的業務内容 ・隊員の指導教科は、Aレベル物理・数学(Aレベルは指導内容が日本の高等学校から大学の一般教養にあたり、高度である。)のうち、1科目を担当する。(配属先の優先順位は1.物理、2.数学) ・課外活動も活発であり、スポーツや科学クラブでの活躍も期待される。 ・Aレベル担当であり、英語力及び教科の専門性が求められている。				
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 実験器具はあるものの古く、数も少ない。				
資格条件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル Aレベル物理を指導できる教師は1名のみ		6) 業務で使用する言語 ● 英 語 (レベル: B ) ○ 語 (レベル: ) * JVは派遣前訓練指定言語をチェック * SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力		
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 大卒 (理系) 理由: 当国で教師として活動するための受け入れ条件				
概況	気候( 内陸性乾燥気候 ) 気温( 10-30 ℃位 ) 電気( □ 安定 ■ 不安定 □ なし ) 電話( ■ インターネット可 ■ 通話可 □ 不良 □ なし ) 水道( □ 安定 ■ 不安定 □ なし )				



## 平成18年度春募集ボランティア要望調査票

長期 ( ● JOCV ○ 日青 ○ SV ○ 日S )

短期 ( ○ JV\_A ○ JV\_B ○ SV\_A ○ SV\_B )

事務局記入欄

現職教員特別参加制度: ○

ジャイカ

記入日: 平成17年7月11日

要請番号( JL 273 - 05- 1- 16)		<input checked="" type="checkbox"/> JV↔SV振替可		調査者名: 村上 隆幸	
国名 タンザニア	職種 理数科教師 (コード 692) 指導科目 (現地公用語[ 英 語 ]) science and mathematics education	区分 (長期のみ) ○ 新規 ● 交替 4 代目	派遣希望期間 ● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	派遣希望時期 1 18年度 2 次隊 2 18年度 3 次隊 3 年度 次隊	
				年 月 から	
大分類: 人的資源 中・小分類: 中等教育	分野: 基礎教育支援 課題: 教育の質の向上	プログラム名: 教育セクター補完プログラム			
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育文化省 (現地公用語) Ministry of Education and Culture				
	2) 配属先名 (日本語) ミナキ中高等学校 (現地公用語) Minaki Secondary School				
	3) 配属先所在地 首都(ダルエスサラーム)から 南西 方向 30 Km キサラウェ 主要都市(ダルエスサラーム)までの交通手段及び所要時間(バスで約2時間)				
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 同校はOレベル(2~4年生、男子のみ、寮・一部通学、生徒数365名、9クラス)とAレベル(5~6年生、男子のみ、全寮、生徒数503名、15クラス)の併設校であるが、現在Aレベル校へ移行中である。生徒数868名、教員数52名(理数科担当は14名)、2005年度の予算はTsh190,000,000(日本円で1900万円程度)である。				
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 現在、Aレベル校への移行期であり、Aレベルの教員不足は非常に深刻である。また、同校は首都に近いため教員の入れ替わりが激しい。そのため、授業の質を確保するのが困難な状況であり、隊員による支援を必要としている。				
	2) 期待される具体的業務内容 隊員は、Aレベルの数学(日本の高等学校と大学の一般教養を含む高度な内容である)を担当する。現在派遣されている隊員は週24时限(1时限は40分間)ほど担当している。初中等教育の基礎知識が不十分なまま入学してくる生徒も多く、英語も十分に理解できない生徒など学力の差も著しく見られるため、状況に応じた柔軟な対応が必要である。また、課外活動も活発であり、スポーツや科学クラブでの活躍も期待される。なお、Aレベル指導教師には高い英語力が求められる。				
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 教室、黒板、机、椅子、チョーク等の教室設備は一応整っているが、ほとんどの生徒は教科書をもっていない。				
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 教員数52名のうち、理数科担当14名。 年齢層は20代後半から50歳代				
資格条件	6) 業務で使用する言語 <input checked="" type="radio"/> 英 語 (レベル: B ) <input type="radio"/> 語 (レベル: )				
	<small>* JVは派遣前訓練指定言語をチェック * SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力</small>				
概況	条件(資格、免許、性別)及びその理由 • 大卒 (理系) 理由: 配属先からの提示条件				
概況	気候( 海岸性熱帯気候 ) 気温( 20~32 ℃位 ) 電気( <input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし ) 電話( <input type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし ) 水道( <input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし )				



## 平成18年度春募集ボランティア要望調査票

長期 ( ● JOCV ○ 日青 ○ SV ○ 日S )

ジャイカ 短期 (  JVA  JV B  SVA  SV B )

事務局記入欄

#### 現職教員特別參加制度：◎

記入日：平成17年12月12日

要請番号( JL 273-06-0-17)		<input checked="" type="radio"/> JV↔SV振替可		調査者名: 真鍋 真		
タンザニア	職種 / 指導科目 職種 理数科教師 (コード 692) 指導科目 Aレベルの物理もしくは数学 (現地公用語[ 英・スワヒリ 語 ]) Science and mathematics teacher		区分 (長期のみ)  <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替	派遣希望期間 代目 ● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	派遣希望時期 JOCV SV/短期等	
	1 18年度2次隊 2 18年度3次隊 3 19年度1次隊	年 月 から				
	大分類: 人的資源 中・小分類: 中等教育	分野: 教育セクター開発計画支援 課題: 教育セクター開発計画支援	プログラム名: 教育のアクセス拡充及び質の向上			
	配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育文化省 (現地公用語) Ministry of Education and Culture				
2) 配属先名 (日本語) マヒワ中等学校 (現地公用語) Mahiwa Secondary School						
3) 配属先所在地 首都(ダルエスサラーム)から 南東 方向 460 Km リンディ 主要都市( ) リンディまでの交通手段及び所要時間( バス で約 1 時間)						
4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) リンディ州にある、1995年に設立した私立の共学校。2005年12月現在の全生徒数は、375名で、全教員数は、16名である。						
1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) タンザニア国では、タンザニア政府は中等教育開発計画(SEDP)を策定し2004年7月から実施に移されている。SEDPでは、教育へのアクセスの改善、公平性の改善、質の改善、運営改革、教育システムの運営改善を優先課題として位置づけ、中等教育の拡充及び改善に取り組んでいる。中等教育の質を改善しつつ量の拡大を実現させることが重要であると認識されているものの、教員の待遇の低さ、教員大学のキャパシティ不足、現在の教師数の不足に鑑み、中等教育における質の低下がSEDP実施の負のインパクトとして懸念されている。そのため、隊員の派遣により、中等学校における教師不足を補完し、生徒にとっての教科教育・教育施設へのアクセスの向上と共に教育の質の向上を図ることが狙いである。						
要請概要	2) 期待される具体的業務内容 中等学校生徒が質の高い授業を受けることができ、理数科目における基礎力の向上が成果となることが期待される。具体的な活動は、次のとおりである。 ・Aレベル(日本の大学1年生程度に相当する)の学生に対して、物理もしくは数学の授業を担当する。 ・課外活動や学校の業務当番(Teacher's on duty)を、行うことも期待されている。					
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等					
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 物理、数学科担当教師:各1名 BAM:2名 A レベル生徒:約80名 (2005)					
資格条件	6) 業務で使用する言語 <input checked="" type="radio"/> 英 語 (レベル: ) <input type="radio"/> 語 (レベル: )					
	*JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力					
概域	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ ・					
	気候( 海岸性気候 ) 気温( 22~36 ℃位 ) 電気( <input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし ) 電話( <input type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし ) 水道( <input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし )					



## 平成18年度春募集ボランティア要望調査票

長期 (  JOCV  日青  SV  日S )  
 短期 (  JV\_A  JV\_B  SV\_A  SV\_B )

事務局記入欄

現職教員特別参加制度: 

記入日: 平成17年12月12日

要請番号( JL 273 - 06 - 0 - 18 )		<input type="checkbox"/> JV↔SV振替可	調査者名: 真鍋 真		
国名  タンザニア	職種 / 指導科目  職種 理数科教師 (コード 692 ) 指導科目 数学 (現地公用語[ 英・スワヒリ 語 ]) Science and mathematics teacher		区分 (長期のみ)  ● 新規 ○ 交替 代目	派遣希望期間  ● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	派遣希望時期  JOCV SV/短期等
	1 18年度2次隊	年 月 から			
	2 18年度3次隊				
大分類: 人的資源 中・小分類: 中等教育	分野: 教育セクター開発計画支援 課題: 教育セクター開発計画支援	プログラム名: 教育のアクセス拡充及び質の向上			
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育文化省 (現地公用語) Ministry of Education and Culture				
	2) 配属先名 (日本語) タンダヒンバ中等学校 (現地公用語) Tandahimba Secondary School				
	3) 配属先所在地 タンダヒンバ 首都( ダルエスサラーム )から 南東 方向 680 Km 主要都市( ムトワラ )までの交通手段及び所要時間( バス で約 4 時間)				
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) ムトワラ州にある、1992年に設立した公立の共学校。2005年12月現在の全生徒数は、400名で、全教員数は、12名である。2006年には480名程度に増加することが見込まれる。				
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) タンザニア国では、タンザニア政府は中等教育開発計画(SEDP)を策定し2004年7月から実施に移されている。SEDPでは、教育へのアクセスの改善、公平性の改善、質の改善、運営改革、教育システムの運営改善を優先課題として位置づけ、中等教育の拡充及び改善に取り組んでいる。中等教育の質を改善しつつ量の拡大を実現させることが重要であると認識されているものの、教員の待遇の低さ、教員大学のキャパシティ不足、現在の教師数の不足に鑑み、中等教育における質の低下がSEDP実施の負のインパクトとして懸念されている。そのため、隊員の派遣により、中等学校における教師不足を補完し、生徒にとっての教科教育・教育施設へのアクセスの向上と共に教育の質の向上を図ることが狙いである。				
	2) 期待される具体的業務内容 中等学校生徒が質の高い授業を受けることができ、理数科目における基礎力の向上が成果となることが期待される。具体的な活動は、次のとおりである。 -Form 3(日本の中学3年生程度に相当する)の学生に対して、数学の授業を担当する。 -課外活動や学校の業務当番(Teacher's on duty)を、行うことも期待されている。				
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等				
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 数学科担当教師: 1名 Form 3生徒: 約120名				
6) 業務で使用する言語 <input checked="" type="radio"/> 英 語 (レベル: ) <input type="radio"/> ○ 語 (レベル: )					
*JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力					
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ ・				
概況	気候( 内陸性気候 ) 気温( 10~30 ℃位 ) 電気( <input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし ) 電話( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし ) 水道( <input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし )				



## 平成18年度春募集ボランティア要望調査票

長期 ( ● JOCV ○ 日青 ○ SV ○ 日S )

短期 ( ○ JV\_A ○ JV\_B ○ SV\_A ○ SV\_B )

事務局記入欄

現職教員特別参加制度: ◎

記入日: 平成17年12月12日

要請番号 ( JL 273 - 06 - 0 - 19 )		<input checked="" type="checkbox"/> JV ⇄ SV 振替可		調査者名: 真鍋 真		
国名  タンザニア	職種 / 指導科目 職種 理数科教師 (コード 692 ) 指導科目 物理もしくは数学 (現地公用語 [ 英・スワヒリ 語 ]) Science and mathematics teacher		区分 (長期のみ) ● 新規 ○ 交替 代目	派遣希望期間 1 2年 2 1年 3 ヶ月	派遣希望時期 JOCV SV / 短期等	
					年 月 から	
	大分類: 人的資源 中・小分類: 中等教育	分野: 教育セクター開発計画支援 課題: 教育セクター開発計画支援	プログラム名: 教育のアクセス拡充及び質の向上			
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育文化省 (現地公用語) Ministry of Education and Culture					
	2) 配属先名 (日本語) ラハレオ中等学校 (現地公用語) Rahaleo Secondary School					
	3) 配属先所在地 首都(ダルエスサラーム)から 南東 方向 560 Km ムトワラ 主要都市(ムトワラ)までの交通手段及び所要時間(バスで約0時間)					
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) ムトワラ州にある、2004年に設立した公立の共学校。2005年12月現在の全生徒数は、240名で、全教員数は、8名である。					
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) タンザニア国では、タンザニア政府は中等教育開発計画(SEDP)を策定し2004年7月から実施に移されている。SEDPでは、教育へのアクセスの改善、公平性の改善、質の改善、運営改革、教育システムの運営改善を優先課題として位置づけ、中等教育の拡充及び改善に取り組んでいる。中等教育の質を改善しつつ量の拡大を実現させることが重要であると認識されているものの、教員の待遇の低さ、教員大学のキャパシティ不足、現在の教師数の不足に鑑み、中等教育における質の低下がSEDP実施の負のインパクトとして懸念されている。そのため、隊員の派遣により、中等学校における教師不足を補完し、生徒にとっての教科教育・教育施設へのアクセスの向上と共に教育の質の向上を図ることが狙いである。					
	2) 期待される具体的業務内容 中等学校生徒が質の高い授業を受けることができ、理数科目における基礎力の向上が成果となることが期待される。具体的な活動は、次のとおりである。 ・Form 3(日本の中学3年生程度に相当する)の学生に対して、物理もしくは数学の授業を担当する。 ・課外活動や学校の業務当番(Teacher's on duty)を行ふことも期待されている。					
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等					
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 物理科及び数学担当教師: 計1名 Form 3の生徒: 約80名					6) 業務で使用する言語 <input checked="" type="radio"/> 英語 (レベル: ) <input type="radio"/> 語 (レベル: )
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ ・ ・					* JVは派遣前訓練指定言語をチェック * SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力
概況	気候( 海岸性気候 ) 気温( 22~36 ℃位 ) 電気( <input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし ) 電話( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし ) 水道( <input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし )					



## 平成18年度春募集ボランティア要望調査票

長期 ( ● JOCV ○ 日青 ○ SV ○ 日S )

短期 ( ○ JV\_A ○ JV\_B ○ SV\_A ○ SV\_B )

事務局記入欄

現職教員特別参加制度: ○

記入日: 平成17年12月12日

要請番号 ( JL 273 - 06 - 0 - 20 )		<input type="checkbox"/> JV ⇄ SV 振替可	調査者名: 真鍋 真			
国名 タンザニア	職種 / 指導科目 理数科教師 (コード 692) 指導科目 数学 (現地公用語 [ 英・スワヒリ 語 ]) Science and mathematics teacher		区分 (長期のみ)	派遣希望時期 JOCV SV/短期等		
	● 新規 ○ 交替	○ 2年 ○ 1年 ○ ケ月		1 18年度2次隊 2 18年度3次隊 3 19年度1次隊	年 月 から	
	大分類: 人的資源 中・小分類: 中等教育		分野: 教育セクター開発計画支援 課題: 教育セクター開発計画支援	プログラム名: 教育のアクセス拡充及び質の向上		
	配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育文化省 (現地公用語) Ministry of Education and Culture				
2) 配属先名 (日本語) ムベンバ中等学校 (現地公用語) Mbemba Secondary School						
3) 配属先所在地 マサシ 首都(ダルエスサラーム)から 南東 方向 615 Km 主要都市( ムトワラ )までの交通手段及び所要時間( バス で約 4 時間)						
4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) ムトワラ州にある、2004年に設立した公立の共学校。2005年12月現在の全生徒数は、170名で、全教員数は、6名である。2006年には250名に増加することが見込まれる。						
要請概要		1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) タンザニア国では、タンザニア政府は中等教育開発計画(SEDP)を策定し2004年7月から実施に移されている。SEDPでは、教育へのアクセスの改善、公平性の改善、質の改善、運営改革、教育システムの運営改善を優先課題として位置づけ、中等教育の拡充及び改善に取り組んでいる。中等教育の質を改善しつつ量の拡大を実現させることが重要であると認識しているものの、教員の待遇の低さ、教員大学のキャパシティ不足、現在の教師数の不足に鑑み、中等教育における質の低下がSEDP実施の負のインパクトとして懸念されている。そのため、隊員の派遣により、中等学校における教師不足を補完し、生徒にとっての教科教育・教育施設へのアクセスの向上と共に教育の質の向上を図ることが狙いである。				
	2) 期待される具体的業務内容 中等学校生徒が質の高い授業を受けることができ、理数科目における基礎力の向上が成果となることが期待される。具体的な活動は、次のとおりである。 ・Form 3(日本の中学3年生程度に相当する)の学生に対して、数学の授業を担当する。 ・課外活動や学校の業務当番(Teacher's on duty)を、行うことも期待されている。					
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等					
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 数学科担当教師: 1名 Form 3の生徒: 約80名					
	6) 業務で使用する言語 <input checked="" type="radio"/> 英 語 (レベル: ) <input type="radio"/> ○ 語 (レベル: ) * JVは派遣前訓練指定言語をチェック * SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力					
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ ・					
概地況域	気候( 内陸性気候 ) 気温( 10~30 ℃位 ) 電気( <input type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input checked="" type="checkbox"/> なし ) 電話( <input type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし ) 水道( <input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし )					



平成18年度春募集ボランティア要望調査票  
長期 (◎JOCV ○日青 ○SV ○日S )  
短期 (○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

現職教員特別参加制度: ◎

記入日: 平成17年12月12日

要請番号 ( JL 273 - 06 - 0 - 21 )		○ JV ⇄ SV 振替可		調査者名: 真鍋 真	
国名  タンザニア	職種 理数科教師 (コード 692 ) 指導科目 数学 (現地公用語[ 英・スワヒリ 語 ]) Science and mathematics teacher	区分 (長期のみ) ● 新規 ○ 交替 代目	派遣希望期間 ● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	派遣希望時期 JOCV SV/短期等 年 月 から	
				1 18年度2次隊 2 18年度3次隊 3 19年度1次隊	
大分類: 人的資源 中・小分類: 中等教育	分野: 教育セクター開発計画支援 課題: 教育セクター開発計画支援	プログラム名: 教育のアクセス拡充及び質の向上			
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育文化省 (現地公用語) Ministry of Education and Culture				
	2) 配属先名 (日本語) マサシ・デイ中等学校 (現地公用語) Masasi Day Secondary School				
	3) 配属先所在地 首都( ダルエス )から 南東 方向 615 Km マサシ 主要都市( ムトワラ )までの交通手段及び所要時間( バス で約 4 時間)				
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) ムトワラ州にある、1991年に設立した公立の共学校。2005年12月現在の全生徒数は、520名で、全教員数は6名である。				
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) タンザニア国では、タンザニア政府は中等教育開発計画(SEDP)を策定し2004年7月から実施に移されている。SEDPでは、教育へのアクセスの改善、公平性の改善、質の改善、運営改革、教育システムの運営改善を優先課題として位置づけ、中等教育の拡充及び改善に取り組んでいる。中等教育の質を改善しつつ量の拡大を実現させることが重要であると認識されているものの、教員の待遇の低さ、教員大学のキャパシティ不足、現在の教師数の不足に鑑み、中等教育における質の低下がSEDP実施の負のインパクトとして懸念されている。そのため、隊員の派遣により、中等学校における教師不足を補完し、生徒にとっての教科教育・教育施設へのアクセスの向上と共に教育の質の向上を図ることが狙いである。				
	2) 期待される具体的業務内容 中等学校生徒が質の高い授業を受けることができ、理数科目における基礎力の向上が成果となることが期待される。具体的な活動は、次のとおりである。 - Form 3(日本の中学3年生程度に相当する)の学生に対して、数学の授業を担当する。 - 課外活動や学校の業務当番(Teacher's on duty)を、行うことも期待されている。				
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等				
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 数学科担当教師: 1名 Form 3の生徒: 約80名				
資格条件	6) 業務で使用する言語 ● 英 語 (レベル: ) ○ 語 (レベル: ) * JVは派遣前訓練指定言語をチェック * SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力				
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ ・ ・				
	概況 気候( 内陸性気候 ) 気温( 10~30 ℃位 ) 電気( □ 安定 ■ 不安定 □ なし ) 電話( ■ インターネット可 ■ 通話可 □ 不良 □ なし ) 水道( □ 安定 ■ 不安定 □ なし )				



## 平成18年度春募集ボランティア要望調査票

長期 (  JOCV  日青  SV  日S )  
 短期 (  JV\_A  JV\_B  SV\_A  SV\_B )

事務局記入欄

現職教員特別参加制度: 

記入日: 平成17年12月12日

要請番号 ( JL 273 - 06 - 0 - 22 )		<input type="checkbox"/> JV ⇄ SV 振替可	調査者名: 真鍋 真		
国名  タンザニア	職種 理数科教師 (コード 692 ) 指導科目 数学もしくは物理 (現地公用語[ 英・スワヒリ 語 ]) Science and mathematics teacher	区分 (長期のみ) ● 新規 ○ 交替 代目	派遣希望期間 ● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	派遣希望時期 JOCV SV/短期等	
				1 18年度 2次隊	年 月 から
				2 18年度 3次隊	
		3 19年度 1次隊			
大分類: 人的資源 中・小分類: 中等教育	分野: 教育セクター開発計画支援 課題: 教育セクター開発計画支援	プログラム名: 教育のアクセス拡充及び質の向上			
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育文化省 (現地公用語) Ministry of Education and Culture				
	2) 配属先名 (日本語) シノ・タンザニア中等学校 (現地公用語) Shino Tanzania Trust Secondary School				
	3) 配属先所在地 首都( ダルエスサラーム )から 南東 方向 560 Km ムトワラ 主要都市( ムトワラ )までの交通手段及び所要時間( バス で約 0 時間)				
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) ムトワラ州にある、2004年に設立した公立の共学校。2005年12月現在の全生徒数は、250名で、全教員数は、5名である。				
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) タンザニア国では、タンザニア政府は中等教育開発計画(SEDP)を策定し2004年7月から実施に移されている。SEDPでは、教育へのアクセスの改善、公平性の改善、質の改善、運営改革、教育システムの運営改善を優先課題として位置づけ、中等教育の拡充及び改善に取り組んでいる。中等教育の質を改善しつつ量の拡大を実現させることが重要であると認識されているものの、教員の待遇の低さ、教員大学のキャパシティ不足、現在の教師数の不足に鑑み、中等教育における質の低下がSEDP実施の負のインパクトとして懸念されている。そのため、隊員の派遣により、中等学校における教師不足を補完し、生徒にとっての教科教育・教育施設へのアクセスの向上と共に教育の質の向上を図ることが狙いである。				
	2) 期待される具体的業務内容 中等学校生徒が質の高い授業を受けることができ、理数科目における基礎力の向上が成果となることが期待される。具体的な活動は、次のとおりである。 ・Form 3(日本の中学3年生程度に相当する)の学生に対して、数学もしくは物理の授業を担当する。 ・課外活動や学校の業務当番(Teacher's on duty)を、行うことも期待されている。				
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等				
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 数学、物理科担当教師: 計1名 Form 3の生徒: 約80名				
6) 業務で使用する言語 <input checked="" type="radio"/> 英 語 (レベル: ) <input type="radio"/> 語 (レベル: )					
<small>*JVは派遣前訓練指定言語をチェック          *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力</small>					
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 - - -				
概地況域	気候( 海岸性気候 ) 気温( 22~36 ℃位 ) 電気( <input type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input checked="" type="checkbox"/> なし ) 電話( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし ) 水道( <input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし )				



## 平成18年度春募集ボランティア要望調査票

長期 ( ● JOCV ○ 日青 ○ SV ○ 日S )

短期 ( ○ JV\_A ○ JV\_B ○ SV\_A ○ SV\_B )

事務局記入欄

現職教員特別参加制度: ◎

記入日: 平成17年12月16日

要請番号( JL 273 - 06 - 0 - 23 )		<input checked="" type="checkbox"/> JV↔SV振替可	調査者名: 真鍋 真		
国名  タンザニア	職種 理数科教師 (コード 692 ) 指導科目 数学 (現地公用語[ 英・スワヒリ 語 ]) Science and mathematics teacher	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV SV/短期等	
	○ 新規 ● 交替 3 代目	● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	1 18年度2次隊	年 月 から	
			2 18年度3次隊		
			3 19年度1次隊		
大分類: 人的資源 中・小分類: 中等教育	分野: 教育セクター開発計画支援 課題: 教育セクター開発計画支援	プログラム名: 教育のアクセス拡充及び質の向上			
配属先概要	1)受入省庁名 (日本語) 教育文化省 (現地公用語) Ministry of Education and Culture				
	2)配属先名 (日本語) サバサバ中等学校 (現地公用語) Saba Saba Secondary School				
	3)配属先所在地 ムトワラ 首都( ダルエス )から 南東 方向 560 Km 主要都市( ムトワラ )までの交通手段及び所要時間( で約 時間)				
	4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) ムトワラ州にある、公立の共学校。2005年12月現在の全生徒数は、約640名で、全教員数は24名である。特に、理数科の教師が不足している。現在、2代目の隊員は数学の授業を担当している。				
要請概要	1)要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) タンザニア国では、タンザニア政府は中等教育開発計画(SEDP)を策定し2004年7月から実施に移されている。SEDPでは、教育へのアクセスの改善、公平性の改善、質の改善、運営改革、教育システムの運営改善を優先課題として位置づけ、中等教育の拡充及び改善に取り組んでいる。中等教育の質を改善しつつ量の拡大を実現させることが重要であると認識されているものの、教員の待遇の低さ、教員大学のキャパシティ不足、現在の教師数の不足に鑑み、中等教育における質の低下がSEDP実施の負のインパクトとして懸念されている。そのため、隊員の派遣により、中等学校における教師不足を補完し、生徒にとっての教科教育・教育施設へのアクセスの向上と共に教育の質の向上を図ることが狙いである。				
	2)期待される具体的業務内容 中等学校生徒が質の高い授業を受けることができ、理数科目における基礎力の向上が成果となることが期待される。具体的な活動は、次のとおりである。 -Form 1(日本の中学1年生程度に相当する)の学生に対して、数学の授業を担当する。 -課外活動や学校の業務当番(Teacher's on duty)を、行うことも期待されている。				
	3)ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等				
	4)配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 理数科担当教師:3名 (男性1名、女性2名)	6)業務で使用する言語 <input checked="" type="radio"/> 英 語 (レベル: ) <input type="radio"/> 語 (レベル: )			
				*JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力	
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ ・ ・				
概況	気候( 海岸性気候 ) 気温( 22~36 ℃位 ) 電気( <input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし )		水道( <input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし )		
	電話( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし )				



## 平成18年度春募集ボランティア要望調査票

長期 (  JOCV  日青  SV  日S )短期 (  JV\_A  JV\_B  SV\_A  SV\_B )

事務局記入欄

現職教員特別参加制度: 

記入日: 平成17年12月27日

要請番号( JL 273 - 06- 0- 24)		<input type="radio"/> JV↔SV振替可	調査者名: 真鍋 真			
国名 タンザニア	職種 / 指導科目 職種 理数科教師 (コード 692) 指導科目 数学・物理 (現地公用語[ 英・スワヒリ 語 ]) Science and mathematics teacher		区分 (長期のみ) ◎ 新規 ○ 交替 代目	派遣希望期間 ● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	派遣希望時期 JOCV SV/短期等 1 18年度2次隊 2 18年度3次隊 3 19年度1次隊	
大分類: 人的資源 中・小分類: 中等教育	分野: 教育セクター開発計画支援 課題: 教育セクター開発計画支援		プログラム名: 教育のアクセス拡充及び質の向上			
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育文化省 (現地公用語) Ministry of Education and Culture					
	2) 配属先名 (日本語) ムトワラ・ガールズ中等学校 (現地公用語) Mtwara Girls Secondary School					
	3) 配属先所在地 ムトワラ 首都(ダルエスサラーム)から 南東 方向 560 Km 主要都市( ムトワラ )までの交通手段及び所要時間( バス で約 0 時間)					
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) ムトワラ州にある、公立の女子学校。2005年12月現在の全生徒数は、500名で、全教員数は19名である。昨年までは米国平和部隊から教師が派遣されていた。					
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) タンザニア国では、タンザニア政府は中等教育開発計画(SEDP)を策定し2004年7月から実施に移されている。SEDPでは、教育へのアクセスの改善、公平性の改善、質の改善、運営改革、教育システムの運営改善を優先課題として位置づけ、中等教育の拡充及び改善に取り組んでいる。中等教育の質を改善しつつ量の拡大を実現させることが重要であると認識されているものの、教員の待遇の低さ、教員大学のキャパシティ不足、現在の教師数の不足に鑑み、中等教育における質の低下がSEDP実施の負のインパクトとして懸念されている。そのため、隊員の派遣により、中等学校における教師不足を補完し、生徒にとっての教科教育・教育施設へのアクセスの向上と共に教育の質の向上を図ることが狙いである。					
	2) 期待される具体的業務内容 中等学校生徒が質の高い授業を受けることができ、理数科目における基礎力の向上が成果となることが期待される。具体的な活動は、次のとおりである。 ・Form 3(日本の中学3年生程度に相当する)の学生に対して、数学、物理の授業を担当する。 ・課外活動や学校の業務当番(Teacher's on duty)を、行うことも期待されている。					
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等					
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 理数科教師:生物・化学 3名、 数学 2名、 物理 1名 Form 3の生徒					
資格条件	5) 業務で使用する言語 <input checked="" type="radio"/> 英 語 (レベル: ) <input type="radio"/> 語 (レベル: )					
	*JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力					
6) 条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ ・						
概況	気候( 海岸性気候 ) 気温( 22~36 ℃位 ) 電気( <input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし ) 電話( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし ) 水道( <input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし )					



## 平成18年度春募集ボランティア要望調査票

長期 ( ● JOCV ○ 日青 ○ SV ○ 日S )

短期 ( ○ JV\_A ○ JV\_B ○ SV\_A ○ SV\_B )

事務局記入欄

現職教員特別参加制度: ◎

記入日: 平成17年12月27日

要請番号( JL 273 - 06 - 0 - 25 )		<input type="radio"/> JV↔SV振替可		調査者名: 真鍋 真		
国名  タンザニア	職種 理数科教師 (コード 692 ) 指導科目 数学・物理 (現地公用語[ 英・スワヒリ 語 ]) Science and mathematics teacher	区分 (長期のみ) ● 新規 ○ 交替 代目	派遣希望期間 ● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	派遣希望時期 1 18年度2次隊 2 18年度3次隊 3 19年度1次隊	JOJV SV/短期等 年 月 から	
	大分類: 人的資源 中・小分類: 中等教育	分野: 教育セクター開発計画支援 課題: 教育セクター開発計画支援	プログラム名: 教育のアクセス拡充及び質の向上			
	1)受入省庁名 (日本語) 教育文化省 (現地公用語) Ministry of Education and Culture					
配属先概要	2)配属先名 (日本語) ナングルエ中等学校 (現地公用語) Nanguruwe Secondary School					
	3)配属先所在地 ムトワラ	首都( ダルエスサラーム )から 南東 方向 560 Km 主要都市( ムトワラ )までの交通手段及び所要時間( バス で約 1 時間)				
	4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) ムトワラからタンダビンバへ車で1時間ほどの場所に位置する、2000年に設立した公立の共学校。2005年12月現在の全生徒数は、476名で、全教員数は7名である。					
	1)要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) タンザニア国では、タンザニア政府は中等教育開発計画(SEDP)を策定し2004年7月から実施に移されている。SEDPでは、教育へのアクセスの改善、公平性の改善、質の改善、運営改革、教育システムの運営改善を優先課題として位置づけ、中等教育の拡充及び改善に取り組んでいる。中等教育の質を改善しつつ量の拡大を実現させることが重要であると認識されているものの、教員の待遇の低さ、教員大学のキャパシティ不足、現在の教師数の不足に鑑み、中等教育における質の低下がSEDP実施の負のインパクトとして懸念されている。そのため、隊員の派遣により、中等学校における教師不足を補完し、生徒にとっての教科教育・教育施設へのアクセスの向上と共に教育の質の向上を図ることが狙いである。					
要請概要	2)期待される具体的業務内容 中等学校生徒が質の高い授業を受けることができ、理数科目における基礎力の向上が成果となることが期待される。具体的な活動は、次のとおりである。 ・Form 3(日本の中学3年生程度に相当する)の学生に対して、数学、物理の授業を担当する。 ・課外活動や学校の業務当番(Teacher's on duty)を、行うことも期待されている。					
	3)ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等					
	4)配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 理数科担当教師:計1名(校長) Form3の生徒			6)業務で使用する言語 ● 英 語 (レベル: ) ○ 語 (レベル: )		
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ ・					* JVは派遣前訓練指定言語をチェック * SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力
	概地況域 気候( 海岸性気候 ) 気温( 22~36 ℃位 ) 電気( <input type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input checked="" type="checkbox"/> なし ) 電話( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし ) 水道( <input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし )					



## 平成18年度春募集ボランティア要望調査票

長期 (  JOCV  日青  SV  日S )  
 短期 (  JV\_A  JV\_B  SV\_A  SV\_B )

事務局記入欄

現職教員特別参加制度: ×

記入日: 平成17年1月13日

要請番号( JL 277 - 05- 0- 07 )		<input type="radio"/> JV↔SV振替可	調査者名: 古川 寛			
国名  ウガンダ	職種／指導科目 職種 理数科教師 (コード 692 ) 指導科目 (現地公用語[ 英 語 ]) science and mathematics education		区分 (長期のみ) ●新規 ○交替 代目	派遣希望期間 ● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	派遣希望時期 JOCV SV/短期等	
					1 18年度2次隊	年 月 から
					2 年度 次隊	
大分類: 中・小分類:		分野: 課題: プログラム名:				
配属先概要	1)受入省庁名 (日本語) 教育省 (現地公用語) Ministry of Education and Sports					
	2)配属先名 (日本語) カサンダ中等学校 (現地公用語) Kassanda Secondary School					
	3)配属先所在地 首都( カンバラ )から 西 方向 80 Km ムベシデ県カサンダ 主要都市( カンバラ )までの交通手段及び所要時間( 車 で約 3 時間)					
	4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 当國の中等学校(セカンダリースクール)は7年制の小学校を卒業した学生を受け入れており、6年制。日本の中学校と高校を合わせた学校にあたる。1年生～4年生のO(ordinary)レベルと5～6年生のA(advance)レベルに分かれている。同校は教師数18名、生徒数650名、O・A両レベル、共学。一部寮生。年間予算は非公表。イスラム教の基金によって作られた。					
要請概要	1)要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) ウガンダ政府は近年小学校教育に力を入れてきており、小学校への実就学率は約90%となってきている。今後、小学校教育を終えた生徒が増えていくことになるが、政府の中等学校への支援は最低限のレベルとなっており、生徒の理数科のレベルは概して低い。理数科教師不足を補い、理数科のレベルアップを図るため、本要請がなされた。					
	2)期待される具体的業務内容 一理数科教師として理数科(O・A両レベル)の授業を受け持つ。初等教育における暗記中心の授業に起因して、生徒には、数学的・科学的なものの見方・考え方が育っていない面が見られるため、考えさせる授業、興味を持たせる授業のできる人材が求められる。理科の設備・実験器具等も限られていることから、授業を工夫して行う必要がある。課外授業・クラブ活動にも積極的に関われる意欲的、世話好きな人が適している。住居は同僚教師との同居となる場合がある。当校は僻地にあるので、健康で不便な生活も楽しめる人材が求められる。					
	3)ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 教室内の一般教具、理科実験室内の器具・薬品(僻地であり、水・電気とも非常に不安定、実験器具や薬品も非常に限られている)					
資格条件	4)配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 同僚の理数科教師は短大卒以上。理数科部門の教師数は約7名。生徒の年齢は13～20歳程度。			6)業務で使用する言語 <input checked="" type="radio"/> 英 語 (レベル: ) <input type="radio"/> ○ 語 (レベル: ) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力		
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 男性 理由: 同僚男性教員と同居となる可能性があるため</li> <li>・ 大卒 (理系) 理由: 理数科教師として教壇に立つため</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実務経験 2 年 理由: 学校の程度が高いため</li> </ul>					
概況地域	気候( 亜熱帯 ) 気温( 10-30 ℃位 ) 電気( <input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし ) 電話( <input type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし ) 水道( <input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし )					



## 平成18年度春募集ボランティア要望調査票

長期 ( ● JOCV ○ 日青 ○ SV ○ 日S )

短期 ( ○ JV\_A ○ JV\_B ○ SV\_A ○ SV\_B )

事務局記入欄

現職教員特別参加制度: ×

記入日: 平成17年1月13日

要請番号 ( JL 277 - 05 - 0 - 09 )		<input checked="" type="checkbox"/> JV↔SV振替可		調査者名: 古川 寛	
国名	職種 / 指導科目 職種 理数科教師 (コード 692) 指導科目 (現地公用語[ 英 語 ]) science and mathematics education		区分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV SV/短期等
ウガンダ			<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替	<input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月	1 年度 2 次隊 2 年度 次隊 3 年度 次隊
					年 月 から
大分類:	分野:		プログラム名:		
中・小分類:	課題:				
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 (現地公用語) Ministry of Education and Sports				
	2) 配属先名 (日本語) ナマガビ中等学校 (現地公用語) Namagabi Secondary School				
	3) 配属先所在地 首都( カンバラ )から 北東 方向 60 Km カユンガ県カユンガ 主要都市( カンバラ )までの交通手段及び所要時間( 車 で約 1 時間)				
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 当国の中等学校(セカンダリースクール)は7年制の小学校を卒業した学生を受け入れており、6年制。日本の中学校と高校を合わせた学校にあたる。1年生~4年生のO(ordinary)レベルと5~6年生のA(advance)レベルに分かれている。同校は生徒数1200名、O・A両レベル、共学。年間予算は約1100万円。				
	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) ウガンダ政府は近年小学校教育に力を入れてきており、小学校への実就学率は約90%となってきた。今後、小学校教育を終えた生徒が増えていくことになるが、政府の中等学校への支援は最低限のレベルとなっており、生徒の理数科のレベルは概して低い。理数科教師不足を補い、理数科のレベルアップを図るために、本要請がなされた。				
要請概要	2) 期待される具体的業務内容 一理数科教師として理数科(O・A両レベル)の授業を受け持つ。初等教育における暗記中心の授業に起因して、生徒には、数学的・科学的なものの見方・考え方育っていない面が見られるため、考えさせる授業、興味を持たせる授業のできる人材が求められる。理科の設備・実験器具等も限られていることから、授業を工夫して行う必要がある。課外授業・クラブ活動にも積極的に関われる意欲的、世話好きな人が適している。特にスポーツに強い人材が望ましい。住居は同僚教師との同居となる場合がある。				
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 教室内の一般教具、理科実験室の器具・薬品(実験室、校内で水・電気利用可能。)				
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 同僚の理数科教師は短大卒以上。理数科部門の教師数は15名程度。生徒の年齢は13~20歳程度。				
	6) 業務で使用する言語 <input checked="" type="radio"/> 英 語 (レベル: ) <input type="radio"/> 語 (レベル: )				
資格条件	* JVは派遣前訓練指定言語をチェック * SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力				
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 男性 理由: 同僚男性教師と同居となる可能性があるため				
	・ 大卒 (理系) 理由: 理数科教師として教壇に立つため				
概況	気候( 亜熱帯 ) 気温( 10-30 ℃位 ) 電気( <input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし )				
	電話( <input type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし ) 水道( <input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし )				



## 平成18年度春募集ボランティア要望調査票

長期 ( ● JOCV ○ 日青 ○ SV ○ 日S )

短期 ( ○ JV\_A ○ JV\_B ○ SV\_A ○ SV\_B )

事務局記入欄

現職教員特別参加制度: X

記入日: 平成17年7月15日

要請番号( JL 277 - 05 - 1 - 10 )		<input type="checkbox"/> JV↔SV振替可	調査者名: 永井一弘、古川寛				
国名  ウガンダ	職種 理数科教師 (コード 692 ) 指導科目 (現地公用語[ 英 語 ]) science and mathematics education		区分 (長期のみ) ● 新規 ○ 交替 代目	派遣希望期間 ● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	派遣希望時期 JOCV SV/短期等 1 18年度2次隊 2 年度 次隊 3 年度 次隊 年 月 から		
	大分類: 人的資源	分野: 人間開発					
	中・小分類: 中等教育	課題: 教育の質の向上			プログラム名: 中等理数科教育強化プログラム		
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育スポーツ省 (現地公用語) Ministry of Education and Sports						
	2) 配属先名 (日本語) ミティアナ中等学校 (現地公用語) Mityana Secondary School						
	3) 配属先所在地 首都( カンバラ )から 方向 70 Km ムベンデ県ミティアナ 主要都市( )までの交通手段及び所要時間( 車 で約 1.5時間)						
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) ・同國の中等学校(セカンダリースクール)は7年制の小学校を卒業した学生を受け入れており、6年制。日本の中学校と高校を合わせた学校にあたる。1年生~4年生のO(Ordinary)レベルと5~6年生のA(Advance)レベルに分かれている。同校は生徒数1,420人。ムベンデ県で最大の公立セカンダリースクール。共学。年間予算はUsh862,621,940(約56,500,000円)						
	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 対ウガンダ国JICA国別事業実施計画案においては、協力プログラムのひとつとして「中等理数科教育強化プログラム」が設定されている。このプログラムは、主に中等学校における理数科の資質向上への貢献を目的としており、本件JOCVの派遣も同プログラムの投入の一つとして位置づけられる。同国では近年小学校教育に力を入れてきており、小学校への実就学率は約90%となってきている。今後、小学校教育を終えた生徒が増えしていくこととなるが、政府の中等学校への支援は最低限のレベルとなっており、生徒の理数科のレベルは概して低い。理数科教師不足を補い、理数科のレベルアップを図ることが期待されている。						
2) 期待される具体的業務内容 ・初等教育における暗記中心の授業に起因して、生徒には数学的・科学的なものの見方・考え方育っていない面がみられるため、考えさせる授業、興味を持たせる授業のできる人材が求められる。理科の設備・実験道具等も限られていることから、授業を工夫して行なう必要がある。指導レベルは、O & Aレベル。指導教科は、数学、物理、化学、生物、コンピュータのいずれか(赴任後、話し合って決める)。コンピュータの指導については、Word、Excel、PowerPointなどを行う。 ・ある特定の指導教科への指導に留まらず、同学校の一教員として課外活動、クラブ活動にも積極的に関われる意欲的、世話好きな人が適している。							
3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 ・教室内的一般教具 ・コンピュータ台数は、10台ほど。(ネットには繋がれていない)							
4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 教員数67名。ほか23名のSupport Staff(ディスペンサー、ラボ、技術者など)							
6) 業務で使用する言語 <input checked="" type="radio"/> 英語 語 (レベル: ) <input type="radio"/> ガンダ 語 (レベル: )							
* JVは派遣前訓練指定言語をチェック * SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力							
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 大卒(理科系) 理由: 理数科教師として教壇に立つため						
概況	気候( 亜熱帯 )	気温( 10-30 ℃位 )	電気( <input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし )				
	電話( <input type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし )		水道( <input type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input checked="" type="checkbox"/> なし )				



## 平成18年度春募集ボランティア要望調査票

長期 ( ● JOCV ○ 日青 ○ SV ○ 日S )

短期 ( ○ JV\_A ○ JV\_B ○ SV\_A ○ SV\_B )

事務局記入欄

現職教員特別参加制度: ×

記入日: 平成17年7月15日

要請番号 ( JL 277 - 05 - 1 - 11 )		<input checked="" type="checkbox"/> JV ⇄ SV 振替可		調査者名: 永井 一弘				
国名  ウガンダ	職種 理数科教師 (コード 692 ) 指導科目 (現地公用語[ 英 語 ]) science and mathematics education	区分 (長期のみ) ● 新規 ○ 交替 代目	派遣希望期間 ● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	派遣希望時期 JOCV SV/短期等 1 18年度2次隊 2 年度 次隊 3 年度 次隊 年 月 から				
				大分類: 人的資源 中・小分類: 中等教育		分野: 人間開発 課題: 教育の質の向上		プログラム名: 中等理数科教育強化プログラム
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育スポーツ省 (現地公用語) Ministry of Education and Sports							
	2) 配属先名 (日本語) ンデジエ中等学校 (現地公用語) Ndejje High School							
	3) 配属先所在地 首都( カンパラ )から 方向 42 Km ルウェロ県ボンボ 主要都市( )までの交通手段及び所要時間( 車 で約 1.2時間)							
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) ・同国の中等学校(セカンダリースクール)は7年制の小学校を卒業した学生を受け入れており、6年制。日本の中学校と高校を合わせた学校にあたる。1年生~4年生のO(Ordinary)レベルと5~6年生のA(Advance)レベルに分かれている。 同校は生徒数650人。ルウェロ県にある1997年に設立された私立の中等学校。共学。年間予算はUsh180,998,000(約11,850,000円)							
	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 対ウガンダ国JICA国別事業実施計画案においては、協力プログラムのひとつとして「中等理数科教育強化プログラム」が設定されている。このプログラムは、主に中等学校における理数科の資質向上への貢献を目的としており、本件JOCVの派遣も同プログラムの投入の一つとして位置づけられる。同国では近年小学校教育に力を入れてきており、小学校への実就学率は約90%となってきている。今後、小学校教育を終えた生徒が増えしていくこととなるが、政府の中等学校への支援は最低限のレベルとなっており、生徒の理数科のレベルは概して低い。理数科教師不足を補い、理数科のレベルアップを図ることが期待されている。							
要請概要	2) 期待される具体的業務内容 ・初等教育における暗記中心の授業に起因して、生徒には数学的・科学的なものの見方・考え方育っていない面がみられるため、考え方させる授業、興味を持たせる授業のできる人材が求められる。理科の設備・実験道具等も限られていることから、授業を工夫して行なう必要がある。 指導レベルは、O & Aレベル。指導教科は、主に数学及び物理を指導する。 ・ある特定の指導教科への指導に留まらず、同学校の一教員として課外活動、クラブ活動にも積極的に関われる意欲的、世話好きな人が適している。							
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 ・教室内的一般教具							
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 教員数20名。							
資格条件	6) 業務で使用する言語 ● 英語 語 (レベル: ) ○ ガンダ 語 (レベル: ) * JVは派遣前訓練指定言語をチェック * SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力							
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 大卒 (理科系) 理由: 理数科教師として教壇に立つため							
概況域	気候( 亜熱帯 ) 気温( 10-30 ℃位 ) 電気( <input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし ) 電話( <input type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし ) 水道( <input type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input checked="" type="checkbox"/> なし )							



## 平成18年度春募集ボランティア要望調査票

長期 ( ● JOCV ○ 日青 ○ SV ○ BS )  
短期 ( ○ JV\_A ○ JV\_B ○ SV\_A ○ SV\_B )

事務局記入欄

現職教員特別参加制度: ×

記入日: 平成17年10月21日

要請番号( JL 277-05-1-25)		<input type="checkbox"/> JV↔SV振替可	調査者名: 古川寛		
国名  ウガンダ	職種／指導科目  職種 理数科教師 (コード 692) 指導科目、 (現地公用語[ 英 語 ]) science and mathematics education		区分 (長期のみ) ● 新規 ○ 交替 代目	派遣希望期間 1 2年 2 1年 3 ケ月	派遣希望時期 18年度2次隊 年度 次隊 年度 次隊 年 月 から
大分類: 人的資源 中・小分類: 中等教育	分野: 人間開発 課題: 教育の質の向上		プログラム名: 中等理数科教育強化プログラム		
配属先概要	1)受入省庁名 (日本語) 教育省 (現地公用語) Ministry of Education and Sports				
	2)配属先名 (日本語) シデーパ中等学校 (現地公用語) Ndeeba Senior Secondary School				
	3)配属先所在地 首都( カンパラ )から 北東 方向 60 Km カユンガ県カユンガ 主要都市( カンパラ )までの交通手段及び所要時間( 車 で約 1.5時間)				
	4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) ・同國の中等学校(セカンダリースクール)は7年制の小学校を卒業した学生を受け入れており、6年制。日本の中学校と高校を合わせた学校にあたる。1年生～4年生のO(Ordinary)レベルと5～6年生のA(Advance)レベルに分かれている。 同校は生徒数700人。男女共学。通学生と寮生がいる。年間予算は約90,000米ドル				
要請概要	1)要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 対ウガンダ国JICA国別事業実施計画案においては、協力プログラムのひとつとして「中等理数科教育強化プログラム」が設定されている。このプログラムは、主に中等学校における理数科の資質向上への貢献を目的としており、本件JOCVの派遣も同プログラムの投入の一つとして位置づけられる。同国では近年小学校教育に力を入れてきており、小学校への実就学率は約90%となってきている。今後、小学校教育を終えた生徒が増えていくこととなるが、政府の中等学校への支援は最低限のレベルとなっており、生徒の理数科のレベルは概して低い。理数科教師不足を補い、理数科のレベルアップを図ることが期待されている。				
	2)期待される具体的業務内容 ・初等教育における暗記中心の授業に起因して、生徒には数学的・科学的なものの見方・考え方育っていない面がみられるため、考えさせる授業、興味を持たせる授業のできる人材が求められる。理科の設備・実験道具等も限られていることから、授業を工夫して行なう必要がある。指導レベルは、O & Aレベル。指導教科は、数学、物理、コンピュータのいずれか(赴任後、話し合って決める)。コンピュータの指導については、Word、Excel、PowerPointなどを行う。 ・ある特定の指導教科への指導に留まらず、同学校の一教員として課外活動、クラブ活動にも積極的に関われる意欲的、世話好きな人が適している。				
	3)ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 ・教室内的一般教具				
	4)配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 教員数39名。理数科担当4名。				
6)業務で使用する言語 <input checked="" type="radio"/> 英 語 (レベル: ) <input type="radio"/> ガンダ 語 (レベル: )					
*JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力					
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 大卒 (理系) 理由: 理数科教師として教壇に立つため				
概況	気候( 亜熱帯 ) 気温( 10-30 ℃位 ) 電気( □ 安定 ■ 不安定 □ なし ) 電話( □ インターネット可 ■ 通話可 □ 不良 □ なし ) 水道( □ 安定 ■ 不安定 □ なし )				



## 平成18年度春募集ボランティア要望調査票

長期 (  JOCV  日青  SV  日S )  
 短期 (  JV\_A  JV\_B  SV\_A  SV\_B )

事務局記入欄

現職教員特別参加制度: ×

記入日: 平成17年10月12日

要請番号 ( JL 277-05-1-26 )		<input type="radio"/> JV↔SV振替可	調査者名: 野本 良子		
国名  ウガンダ	職種 / 指導科目 理数科教師 (コード 692) 指導科目 (現地公用語[ 英語 ]) science and mathematics education		区分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期
	<input type="radio"/> 新規	<input checked="" type="radio"/> 2年			1 年度 2次隊
	<input checked="" type="radio"/> 交替	<input type="radio"/> 1年	2 年度 次隊		
	2 代目	<input type="radio"/> ヶ月	3 年度 次隊	年 月 から	
大分類: 人的資源 中・小分類: 中等教育	分野: 人間開発 課題: 教育の質の向上	プログラム名: 中等理数科プログラム			
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 (現地公用語) Ministry of Education and Sports				
	2) 配属先名 (日本語) シモニ小学校教員養成学校 (現地公用語) Simoni Primary Teachers' College				
	3) 配属先所在地 首都( カンパラ )から 方向 0 Km カンパラ 主要都市( )までの交通手段及び所要時間( で約 時間)				
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 教育スポーツ省の一部局として教員養成局がある。ここは小・中等学校の先生を養成している。名称はPTC(Primary Teachers' College)とNTC(National Teachers' College)といい、PTCは小学校の先生、NTCは中等学校の先生を養成する学校である。年間予算は約190,000米ドル				
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 対ウガンダ国JICA国別事業実施計画案においては、教育プログラムのひとつとして「中等理数科教育強化プログラム」が設定されている。このプログラムは、理数科の資質向上への貢献を目的とされており、本件JOCVの派遣も同プログラムの投入のひとつとして位置付けられる。 PTCの中でも全国に8校あるCore PTC(現職教員のアップグレイド教育課程を有する)は理数科及びコンピューターの指導が出来る教師が不足している。理数科のレベルも概して低い。このような背景から理数科の補助的教員として、また理数科のレベルアップとコンピューターの指導者として隊員の要請が出された。				
	2) 期待される具体的業務内容 ・理数科とコンピュータークラスの授業を受け持つこと ・コンピューター指導については、学生に対して操作指導およびワードやエクセルといった汎用性のあるソフトの使用方法等が期待されている。 ・同僚教師に対してもパソコン指導が求められる。				
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 ・教室内の一般教具				
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 教員数 25名				
資格条件	6) 業務で使用する言語 <input checked="" type="radio"/> 英語 (レベル: ) <input type="radio"/> ガンダ語 (レベル: )				
	*JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力				
概地況域	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 大卒 (理系) 理由: 理数科教師として教壇に立つため				
	気候( 亜熱帯 ) 気温( 10-30 ℃位 ) 電気( <input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし )				
	電話( <input type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし ) 水道( <input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし )				



## 平成18年度春募集ボランティア要望調査票

長期 ( ● JOCV ○ 日青 ○ SV ○ 日S )

短期 ( ○ JV\_A ○ JV\_B ○ SV\_A ○ SV\_B )

事務局記入欄

現職教員特別参加制度: ×

記入日: 平成17年10月21日

要請番号( JL 277 - 05 - 1 - 29 )		<input type="checkbox"/> JV↔SV振替可		調査者名: 波方望、古川寛、小澤奈 <small>津子</small>	
国名  ウガンダ	職種 理数科教師 (コード 692 ) 指導科目 (現地公用語[ 英 語 ]) science and mathematics education	区分 (長期のみ)  ● 新規 ○ 交替 代目	派遣希望期間  ● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	派遣希望時期  1 18年度2次隊 2 年度 次隊 3 年度 次隊	
				年 月 から	
大分類: 人的資源 中・小分類: 中等教育	分野: 人間開発 課題: 教育の質の向上	プログラム名: 中等理数科教育強化プログラム			
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 (現地公用語) Ministry of Education and Sports				
	2) 配属先名 (日本語) キゲジ・ブトベレ中等学校 (現地公用語) Kigezi College Butobere				
	3) 配属先所在地 カバレ県カバレ 首都( カンパラ )から 西 方向 450 Km 主要都市( カンパラ )までの交通手段及び所要時間( 車 で約 8 時間)				
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 当國の中等学校(セカンダリースクール)は7年制の小学校を卒業した学生を受け入れており、6年制。日本の中学校と高校を合わせた学校にあたる。1年生~4年生のO(ordinary)レベルと5~6年生のA(advance)レベルに分かれている。同校は教師数50名、生徒数660名、O-A両レベル、男子校。年間予算は約390,000米ドル。				
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 対ウガンダ国JICA国別事業実施計画案においては、協力プログラムのひとつとして「中等理数科教育強化プログラム」が設定されている。このプログラムは、主に中等学校における理数科の資質向上への貢献を目的としており、本件JOCVの派遣も同プログラムの投入の一つとして位置づけられる。同国では近年小学校教育に力を入れてきており、小学校への実就学率は約90%となってきている。今後、小学校教育を終えた生徒が増えていくこととなるが、政府の中等学校への支援は最低限のレベルとなっており、生徒の理数科のレベルは概して低い。理数科教師不足を補い、理数科のレベルアップを図ることが期待されている。				
	2) 期待される具体的業務内容 <ul style="list-style-type: none"> <li>・理数科教師として物理、数学、化学の授業を受け持つ。</li> <li>・理科の設備・実験道具等も限られており、授業を工夫しておこなう必要がある。</li> <li>・担当教科のレベルはO・A両レベル</li> <li>・生徒用パソコンが10台有り、初步的パソコン操作指導も期待されている。</li> <li>・住居は同僚教師との同居となる可能性がある。</li> </ul>				
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 教室内の一般教具、理科実験室内の器具・薬品(実験室あり。校内で水・電気利用可能。)、パソコン10台。				
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 同僚の理数科教師は短大卒以上。 生徒の年齢は13~20歳			6) 業務で使用する言語 <input checked="" type="radio"/> 英 語 (レベル: ) <input type="radio"/> チガ 語 (レベル: ) <small>*JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力</small>	
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大卒 (理系) 理由: 理数科教師として教壇に立つため</li> <li>・ </li> </ul>				
概況	気候( 亜熱帯 ) 気温( 10-30 ℃位 ) 電気( <input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし ) 電話( <input type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし ) 水道( <input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし )				



## 平成18年度春募集ボランティア要望調査票

長期 ( ● JOCV ○ 日青 ○ SV ○ 日S )

短期 ( ○ JV\_A ○ JV\_B ○ SV\_A ○ SV\_B )

事務局記入欄

現職教員特別参加制度: ×

記入日: 平成17年10月21日

要請番号( JL 277 - 05- 1- 30)		<input checked="" type="checkbox"/> JV↔SV振替可		調査者名: 波方望、古川寛、小澤奈 <u>達也</u>	
国名  ウガンダ	職種 理数科教師 (コード 692) 指導科目 (現地公用語[ 英 語 ]) science and mathematics education		区分 (長期のみ) ● 新規 ○ 交替 代目	派遣希望期間 1 18年度2次隊 2 年度 次隊 3 年度 次隊	派遣希望時期 JOCV SV/短期等
					年 月 から
大分類: 人的資源 中・小分類: 中等教育	分野: 人間開発 課題: 教育の質の向上		プログラム名: 中等理数科教育強化プログラム		
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 (現地公用語) Ministry of Education and Sports				
	2) 配属先名 (日本語) カバレ中等学校 (現地公用語) Kabale Secondary School				
	3) 配属先所在地 首都( カンパラ )から 西 方向 450 Km カバレ県カバレ 主要都市( カンパラ )までの交通手段及び所要時間( 車 で約 8 時間)				
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 当國の中等学校(セカンダリースクール)は7年制の小学校を卒業した学生を受け入れており、6年制。日本の中学校と高校を合わせた学校にあたる。1年生~4年生のO(ordinary)レベルと5~6年生のA(advance)レベルに分かれている。同校は教師数55名、生徒数1200名、O・A両レベル、共学。年間予算は約152,000米ドル。				
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 対ウガンダ国JICA国別事業実施計画案においては、協力プログラムのひとつとして「中等理数科教育強化プログラム」が設定されている。このプログラムは、主に中等学校における理数科の資質向上への貢献を目的としており、本件JOCVの派遣も同プログラムの投入の一つとして位置づけられる。同国では近年小学校教育に力を入れてきており、小学校への実就学率は約90%となってきている。今後、小学校教育を終えた生徒が増えしていくこととなるが、政府の中等学校への支援は最低限のレベルとなっており、生徒の理数科のレベルは概して低い。理数科教師不足を補い、理数科のレベルアップを図ることが期待されている。				
	2) 期待される具体的な業務内容 <ul style="list-style-type: none"> <li>・理数科教師として授業を受け持つ。(初等教育における暗記中心の授業に起因して、生徒には、数科学的なものの見方・考え方方が育っていない面が見られる。)</li> <li>・考えさせる授業、興味を持たせる授業が求められる。</li> <li>・理科の設備・実験道具等も限られており、授業を工夫しておこなう必要がある。</li> <li>・担当教科のレベルはO・A両レベル</li> <li>・担当教科は赴任時に決定。</li> </ul>				
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 教室内の一般教具、理科実験室の器具・薬品(実験室あり。校内で水・電気利用可能。)				
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 同僚の理数科教師は短大卒以上。理数科部門の教師数は6名。 生徒の年齢は13~20歳程度。			6) 業務で使用する言語 <input checked="" type="radio"/> 英 語 (レベル: ) <input type="radio"/> チガ 語 (レベル: ) <small>*JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力</small>	
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大卒(理系) 理由: 理数科教師として教壇に立つため</li> <li>・ 実務経験1年 理由: 授業を実施するため教師経験が必要</li> </ul>				
概地況域	気候( 亜熱帯 ) 気温( 10-30 ℃位 ) 電気( <input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし ) 電話( <input type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし ) 水道( <input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし )				



## 平成18年度春募集ボランティア要望調査票

長期 (  JOCV  日青  SV  日S )  
 短期 (  JV\_A  JV\_B  SV\_A  SV\_B )

事務局記入欄

現職教員特別参加制度: ×

記入日: 平成17年10月21日

要請番号 ( JL 277 - 05 - 1 - 31 )		<input type="radio"/> JV↔SV振替可	調査者名: 波方望、永井一弘			
国名  ウガンダ	職種 / 指導科目  理数科教師 (コード 692 ) 指導科目 (現地公用語 [ 英 語 ]) science and mathematics education		区分 (長期のみ)  ◎新規 ○交替 代目	派遣希望期間  ● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	派遣希望時期  JOCV SV/短期等	
	大分類: 人的資源	分野: 人間開発			1 18年度 2次隊	年 月 から
	中・小分類: 中等教育	課題: 教育の質の向上			2 年度 次隊	

配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 (現地公用語) Ministry of Education and Sports
	2) 配属先名 (日本語) ルビリ中等学校 (現地公用語) Lubiri Secondary School
	3) 配属先所在地 カンパラ 首都( )から 方向 Km 主要都市( )までの交通手段及び所要時間( )で約 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 当國の中等学校(セカンダリースクール)は7年制の小学校を卒業した学生を受け入れており、6年制。日本の中学校と高校を合わせた学校にあたる。1年生~4年生のO(ordinary)レベルと5~6年生のA(advance)レベルに分かれている。同校は教師数63名、生徒数2250名、共学、O・A両レベル。年間予算は約530,000米ドル
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 対ウガンダ国JICA国別事業実施計画案においては、協力プログラムのひとつとして「中等理数科教育強化プログラム」が設定されている。このプログラムは、主に中等学校における理数科の資質向上への貢献を目的としており、本件JOCVの派遣も同プログラムの投入の一つとして位置づけられる。同国では近年小学校教育に力を入れてきており、小学校への実就学率は約90%となってきている。今後、小学校教育を終えた生徒が増えていくこととなるが、政府の中等学校への支援は最低限のレベルとなっており、生徒の理数科のレベルは概して低い。理数科教師不足を補い、理数科のレベルアップを図ることが期待されている。
	2) 期待される具体的業務内容 -理数科教師として授業(A・O両レベル)を受け持つ。 -考え方させる授業、興味を持たせる授業が求められる。 -理科の設備・実験器具等も限られていることから、授業を工夫して行う必要がある。 -担当教科は、赴任時に決定。
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 担当教科は、赴任時に決定。
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 同僚の理数科教師は短大卒以上。数学教師8名、物理教師4名、化学教師3名。 生徒の年齢は13~20歳程度。
6) 業務で使用する言語 <input checked="" type="radio"/> 英 語 (レベル: ) <input type="radio"/> ガンダ 語 (レベル: )	

\*JVは派遣前訓練指定言語をチェック  
\*SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力

資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 大卒(理系) 理由: 理数科教師として教壇に立つため	
	・ 実務経験2年 理由: 授業を実施するため教師経験が必要	
概況	気候( 亜熱帯 ) 気温( 10-30 ℃位 ) 電気( <input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし ) 電話( <input type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし ) 水道( <input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし )	



## 平成18年度春募集ボランティア要望調査票

長期 (  JOCV  日青  SV  日S )  
 短期 (  JV\_A  JV\_B  SV\_A  SV\_B )

事務局記入欄

現職教員特別参加制度: ×

記入日: 平成17年10月21日

要請番号 ( JL 277 - 05 - 1 - 32 )		<input type="checkbox"/> JV↔SV振替可	調査者名: 波方望、古川寛			
国名	職種／指導科目		区分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期	
ウガンダ	職種 理数科教師 (コード 692 ) 指導科目 (現地公用語[ 英 語 ]) science and mathematics education		代目	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替	<input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月	1 18年度2次隊 2 年度 次隊 3 年度 次隊
						年 月 から
大分類: 人的資源 中・小分類: 中等教育	分野: 人間開発 課題: 教育の質の向上		プログラム名: 中等理数科教育強化プログラム			

配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 (現地公用語) Ministry of Education and Sports
	2) 配属先名 (日本語) マハンガ中等学校 (現地公用語) Mahanga Secondary School
	3) 配属先所在地 トロロ県ナゴンゲラ 首都( カンバラ )から 東 方向 210 Km 主要都市( カンバラ )までの交通手段及び所要時間( 車 で約 4 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 当國の中等学校(セカンダリースクール)は7年制の小学校を卒業した学生を受け入れており、6年制。日本の中学校と高校を合わせた学校にあたる。1年生～4年生のO(ordinary)レベルと5～6年生のA(advance)レベルに分かれている。同校は教師数20名、生徒数450名、共学、Oレベルのみ。年間予算は約59,500米ドル。

要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 対ウガンダ国JICA国別事業実施計画案においては、協力プログラムのひとつとして「中等理数科教育強化プログラム」が設定されている。このプログラムは、主に中等学校における理数科の資質向上への貢献を目的としており、本件JOCVの派遣も同プログラムの投入の一つとして位置づけられる。同国では近年小学校教育に力を入れてきており、小学校への実就学率は約90%となってきている。今後、小学校教育を終えた生徒が増えしていくこととなるが、政府の中等学校への支援は最低限のレベルとなっており、生徒の理数科のレベルは概して低い。理数科教師不足を補い、理数科のレベルアップを図ることが期待されている。		
	2) 期待される具体的業務内容 <ul style="list-style-type: none"> <li>・理数科教師として授業を受け持つ。(初等教育における暗記中心の授業に起因して、生徒には、数科学的なものの見方・考え方方が育っていない面が見られる。)</li> <li>・考え方をさせる授業、興味を持たせる授業が求められる。</li> <li>・理科実験室の設備・実験器具等も限られていることから、授業を工夫して行う必要がある。</li> <li>・担当教科は、現時点では物理・化学・数学の順番で可能性が高いが、最終的には赴任時に決定される。</li> </ul>		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 教室内の一般教具、理科器具・薬品(実験室なし、電気なし、水は井戸水。)		
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 同僚の理数科教師は短大卒以上。理数科部門の教師数は2名。 生徒の年齢は13～18歳程度。		6) 業務で使用する言語 <input checked="" type="radio"/> 英 語 (レベル: ) <input type="radio"/> ジャパドラ 語 (レベル: ) <small>*JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力</small>

資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大卒(理系) 理由: 理数科教師として教壇に立つため</li> </ul>		
概地況域	気候( 亜熱帯 ) 気温( 10-30 ℃位 ) 電気( <input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし ) 電話( <input type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし ) 水道( <input type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input checked="" type="checkbox"/> なし )		



## 平成18年度春募集ボランティア要望調査票

長期 (  JOCV  日青  SV  日S )短期 (  JV\_A  JV\_B  SV\_A  SV\_B )

事務局記入欄

現職教員特別参加制度: ×

記入日: 平成17年10月21日

要請番号( JL 277 - 05 - 1 - 33 )		<input type="radio"/> JV↔SV振替可	調査者名: 波方望、古川寛		
国名  ウガンダ	職種 理数科教師 (コード 692) 指導科目 (現地公用語[ 英 語 ]) science and mathematics education	区分 (長期のみ)  <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	派遣希望期間  <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ケ月	派遣希望時期  JOCV SV/短期等 1 18年度2次隊 2 年度 次隊 3 年度 次隊 年 月 から	
大分類: 人的資源 中・小分類: 中等教育		分野: 人間開発 課題: 教育の質の向上			
プログラム名: 中等理数科教育強化プログラム					
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 (現地公用語) Ministry of Education and Sports				
	2) 配属先名 (日本語) ムベンデ・ライト中等学校 (現地公用語) Mubende Light Secondary School				
	3) 配属先所在地 ムベンデ県ムベンデ 首都( カンパラ )から 北西 方向 160 Km 主要都市( カンパラ )までの交通手段及び所要時間( 車 で約 2 時間)				
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 当國の中等学校(セカンダリースクール)は7年制の小学校を卒業した学生を受け入れており、6年制。日本の中学校と高校を合わせた学校にあたる。1年生~4年生のO(ordinary)レベルと5~6年生のA(advance)レベルに分かれている。同校は教師数15名、生徒数240名、共学、Oレベルのみ。年間予算は約24,500米ドル				
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 対ウガンダ国JICA国別事業実施計画案においては、協力プログラムのひとつとして「中等理数科教育強化プログラム」が設定されている。このプログラムは、主に中等学校における理数科の資質向上への貢献を目的としており、本件JOCVの派遣も同プログラムの投入の一つとして位置づけられる。同国では近年小学校教育に力を入れてきており、小学校への実就学率は約90%となってきている。今後、小学校教育を終えた生徒が増えしていくこととなるが、政府の中等学校への支援は最低限のレベルとなっており、生徒の理数科のレベルは概して低い。理数科教師不足を補い、理数科のレベルアップを図ることが期待されている。				
	2) 期待される具体的業務内容 - 一理数科教師として理数科(数学・物理)の授業を受け持つ。(初等教育における暗記中心の授業に起因して、生徒には、数学的・科学的なものの見方・考え方育っていない面が見られる。) - 考えさせる授業、興味を持たせる授業が求められる。 - 理科実験室の設備・実験器具等も限られていることから、授業を工夫して行う必要がある。				
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 教室内の一般教具、理科実験室の器具・薬品(実験室なし。校内で水・電気利用可能。)				
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 同僚の理数科教師は短大卒以上。理数科部門の教師数は5名。 生徒の年齢は13~18歳程度。				
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 大卒(理系) 理由: 理数科教師として教壇に立つため				
概況	気候( 亞熱帶 ) 気温( 10-30 ℃位 ) 電気( <input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし ) 電話( <input type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし ) 水道( <input type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input checked="" type="checkbox"/> なし )				



## 平成18年度春募集ボランティア要望調査票

長期 ( ● JOCV ○ 日青 ○ SV ○ BS )

短期 ( ○ JV\_A ○ JV\_B ○ SV\_A ○ SV\_B )

事務局記入欄

現職教員特別参加制度: X

記入日: 平成17年10月21日

要請番号 ( JL 277 - 05 - 1 - 34 )		<input type="checkbox"/> JV ⇄ SV 振替可	調査者名: 波方望		
国名  ウガンダ	職種 理数科教師 (コード 692 ) 指導科目 (現地公用語[ 英 語 ]) science and mathematics education	区分 (長期のみ) ● 新規 ○ 交替 代目	派遣希望期間 1 2年 2 1年 3 ヶ月	派遣希望時期 JOCV SV/短期等	
				1 18年度 2次隊	年 月 から
				2 年度 次隊 3 年度 次隊	
大分類: 人的資源 中・小分類: 中等教育	分野: 人間開発 課題: 教育の質の向上	プログラム名: 中等理数科教育強化プログラム			
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 (現地公用語) Ministry of Education and Sports				
	2) 配属先名 (日本語) ニヤミタンガ中等学校 (現地公用語) Nyamitanga Secondary School				
	3) 配属先所在地 首都( カンパラ )から 西 方向 300 Km ムバラ県ニヤミタンガ 主要都市( カンパラ )までの交通手段及び所要時間( 車 で約 4 時間)				
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 当國の中等学校(セカンダリースクール)は7年制の小学校を卒業した学生を受け入れており、6年制。日本の中学校と高校を合わせた学校にあたる。1年生~4年生のO(ordinary)レベルと5~6年生のA(advance)レベルに分かれている。同校は教師数38名、生徒数502名、O・A両レベル、共学。年間予算は約130,000米ドル。				
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 対ウガンダ国JICA国別事業実施計画案においては、協力プログラムのひとつとして「中等理数科教育強化プログラム」が設定されている。このプログラムは、主に中等学校における理数科の資質向上への貢献を目的としており、本件JOCVの派遣も同プログラムの投入の一つとして位置づけられる。同国では近年小学校教育に力を入れてきており、小学校への実就学率は約90%となってきている。今後、小学校教育を終えた生徒が増えしていくこととなるが、政府の中等学校への支援は最低限のレベルとなっており、生徒の理数科のレベルは概して低い。理数科教師不足を補い、理数科のレベルアップを図ることが期待されている。				
	2) 期待される具体的な業務内容 ・理数科教師として授業(O・A両レベル)を受け持つ。(初等教育における暗記中心の授業に起因して、生徒には、数学的なものの見方・考え方方が育っていない面が見られる。) ・考え方の授業、興味を持たせる授業が求められる。 ・理科の設備・実験器具等も限られていることから、授業を工夫して行う必要がある。 ・担当教科は、赴任時に決定される。				
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 教室内の一般教具、理科実験室の器具・薬品(実験室あり。校内で水・電気利用可能。)				
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 同僚の理数科教師は短大卒以上。 生徒の年齢は13~20歳程度。				
資格条件	6) 業務で使用する言語 ● 英 語 (レベル: ) ○ ニャンコレ 語 (レベル: ) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力				
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 大卒(理系) 理由: 理数科教師として教壇に立つため				
	・ 実務経験 理由: 授業を実施するため教師経験が必要				
概況	気候( 亜熱帯 ) 気温( 10-30 ℃位 ) 電気( □ 安定 ■ 不安定 □ なし )				
	電話( □ インターネット可 ■ 通話可 □ 不良 □ なし ) 水道( □ 安定 ■ 不安定 □ なし )				



## 平成18年度春募集ボランティア要望調査票

長期 ( ● JOCV ○ 日青 ○ SV ○ 日S )

短期 ( ○ JV\_A ○ JV\_B ○ SV\_A ○ SV\_B )

事務局記入欄

現職教員特別参加制度: ×

記入日: 平成17年10月21日

要請番号 ( JL 277 - 05- 1 - 35 )		<input type="checkbox"/> JV↔SV振替可	調査者名: 波方望		
国名  ウガンダ	職種 理数科教師 (コード 692) 指導科目 (現地公用語[ 英 語 ]) science and mathematics education	区分 (長期のみ) ● 新規 ○ 交替 代目	派遣希望期間 1 18年度2次隊 2 年度 次隊 3 年度 次隊	派遣希望時期	
				JOCV	SV/短期等
				年 月 から	
大分類: 人的資源 中・小分類: 中等教育	分野: 人間開発 課題: 教育の質の向上	プログラム名: 中等理数科教育強化プログラム			
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 (現地公用語) Ministry of Education and Sports				
	2) 配属先名 (日本語) キソコ中等学校 (現地公用語) Kisoko High School				
	3) 配属先所在地 首都( カンバラ )から 東 方向 220 Km トロロ県キソコ 主要都市( カンバラ )までの交通手段及び所要時間( 車 で約 4.5時間)				
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 当國の中等学校(セカンダリースクール)は7年制の小学校を卒業した学生を受け入れており、6年制。日本の中学校と高校を合わせた学校にあたる。1年生~4年生のO(ordinary)レベルと5~6年生のA(advance)レベルに分かれている。同校は教師数20名、生徒数654名、O・A両レベル、寮制、共学。年間予算は約120,000米ドル。				
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 対ウガンダ国JICA国別事業実施計画案においては、協力プログラムのひとつとして「中等理数科教育強化プログラム」が設定されている。このプログラムは、主に中等学校における理数科の資質向上への貢献を目的としており、本件JOCVの派遣も同プログラムの投入の一つとして位置づけられる。同国では近年小学校教育に力を入れてきており、小学校への実就学率は約90%となってきている。今後、小学校教育を終えた生徒が増えしていくこととなるが、政府の中等学校への支援は最低限のレベルとなっており、生徒の理数科のレベルは概して低い。理数科教師不足を補い、理数科のレベルアップを図ることが期待されている。				
	2) 期待される具体的業務内容 ・理数科教師として理数科(O・A両レベル)の授業を受け持つ。(初等教育における暗記中心の授業に起因して、生徒には、数学的・科学的なものの見方・考え方方が育っていない面が見られる。) ・考えさせる授業、興味を持たせる授業が求められる。 ・理科の設備・実験器具等も限られていることから、授業を工夫して行う必要がある。				
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 教室内の一般教具、理科器具・薬品(実験室あり、校内で水・電気利用可能。)				
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 同僚の理数科教師は短大卒以上。理数科部門の教師数は6名(25~40歳)。 生徒の年齢は13~20歳程度。				
資格条件	6) 業務で使用する言語 <input checked="" type="radio"/> 英 語 (レベル: ) <input type="radio"/> ジャパドラ 語 (レベル: )				
	*JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力				
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 大卒(理系) 理由: 理数科教師として教壇に立つため。 ・ 実務経験2年 理由: 授業を実施するため実務経験が必要。				
	概地況域 気候( 亜熱帯 ) 気温( 10-30 ℃位 ) 電気( <input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし ) 電話( <input type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし ) 水道( <input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし )				



## 平成18年度春募集ボランティア要望調査票

長期 ( ● JOCV ○ 日青 ○ SV ○ 日S )

短期 ( ○ JV\_A ○ JV\_B ○ SV\_A ○ SV\_B )

事務局記入欄

現職教員特別参加制度: ×

記入日: 平成17年11月2日

要請番号 ( JL 277 - 05 - 1 - 38 )		<input checked="" type="checkbox"/> JV ⇄ SV 振替可		調査者名: 本田 哲也	
国名  ウガンダ	職種 / 指導科目 理数科教師 (コード 692) 指導科目 (現地公用語 [ 英 語 ]) science and mathematics education		区分 (長期のみ) ● 新規 ○ 交替 代目	派遣希望期間 1 18年度 2次隊 2 年度 次隊 3 年度 次隊	派遣希望時期 JOCV SV / 短期等 年 月 から
大分類: 人的資源 中・小分類: 中等教育	分野: 人間開発 課題: 教育の質の向上	プログラム名: 職業訓練教育強化プログラム			
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 (現地公用語) Ministry of Education and Sports				
	2) 配属先名 (日本語) ビビラ職業訓練校 (現地公用語) Church of Uganda Vocational Training School, Bbira				
	3) 配属先所在地 首都( カンパラ )から 北 方向 20 Km ワキソ県ビビラ 主要都市( カンパラ )までの交通手段及び所要時間( 車 で約 0.6時間 )				
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 同校は、1994年、DANIDAの資金協力によって設立されたミッション系の職業訓練校である。同校には、木工、電気、服飾、ブロック、コンピューターの5つのコースがある。生徒は、中等学校を卒業した生徒を対象としており、共学、通学及び寄宿舎制。生徒数は124人。年間予算は85千ドル。				
	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 対ウガンダ国JICA国別事業実施計画案においては、協力プログラムのひとつとして「職業訓練教育強化プログラム」が設定されている。このプログラムは、主に職業訓練校における訓練の質の向上を行い、民間セクターの需要に応えられるような人材育成への貢献を目的としており、本件JOCVの派遣も同プログラムの投入の一つとして位置づけられる。 同校には、コンピューターの非常勤講師しかいない。コンピューターの授業を行うと共に、理数科の授業も行い、理数科のレベルアップを図る事も期待されている。				
要請概要	2) 期待される具体的業務内容 ・コンピューター及び理数科の授業を行う。 ・同僚教師に対する指導を行う。 ・コンピューター指導については、学生に対して操作指導およびワードやエクセルといった汎用性のあるソフトの使用方法等が期待されている。 ・同僚教師に対してもパソコン指導が求められる。				
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 PC10台(OSはWINDOWS 98)				
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 学校のスタッフ20名(内8名が教師)				
	6) 業務で使用する言語 ● 英 語 (レベル: ) ○ ガンダ 語 (レベル: )				
	* JVは派遣前訓練指定言語をチェック * SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力				
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ ・				
概地況域	気候( 亜熱帯 ) 気温( 10-30 °C位 ) 電気( <input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし )		水道( <input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input checked="" type="checkbox"/> なし )		
	電話( <input type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし )				



## 平成18年度春募集ボランティア要望調査票

長期 ( ● JOCV ○ 日青 ○ SV ○ 日S )

短期 ( ○ JV\_A ○ JV\_B ○ SV\_A ○ SV\_B )

事務局記入欄

現職教員特別参加制度: ×

記入日: 平成17年12月14日

要請番号( JL 277 - 06 - 0 - 20 )		<input checked="" type="checkbox"/> JV↔SV振替可	調査者名: 川本 晃子		
国名  ウガンダ	職種 理数科教師 (コード 692 ) 指導科目 (現地公用語[ 英 語 ]) science and mathematics education	区分 (長期のみ) ● 新規 ○ 交替 代目	派遣希望期間 1 18年度2次隊 2 19年度1次隊 3 年度 次隊	派遣希望時期 JOCV SV/短期等	
				年	月
				から	まで
大分類: 人的資源 中・小分類: 中等教育		分野: 人間開発 課題: 教育の質の向上	プログラム名: 中等理数科強化		
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 (現地公用語) Ministry of Education and Sports				
	2) 配属先名 (日本語) セント・ジョセフ中等学校 (現地公用語) St. Joseph Secondary School				
	3) 配属先所在地 首都( カンパラ )から 南西 方向 46 Km ムピジ県コンゲ 主要都市( ムピジ )までの交通手段及び所要時間( 車 で約 0.時間)				
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 同国の中等学校(セカンダリースクール)は7年生の小学校を卒業した学生を受け入れており、6年生。日本の中学校と高校をあわせた学校にあたる。1年生~4年生のO(Ordinary)レベルと5~6年生のA(Advance)レベルに分かれている。同校は生徒数187名、教師:常勤7名、非常勤16名のカソリック系私立中学校。				
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 対ウガンダ国JICA国別事業実施計画案においては、協力プログラムの一つとして「中等理数科教育強化プログラム」が設定されている。このプログラムは、主に中等学校における理数科の資質向上への貢献を目的としており、協力隊の派遣も同プログラムの投入の一つとして位置づけられる。同国では近年小学校教育に力を入れてきており、小学校への実就学率は高く90%となってきている。今後、小学校教育を終えた生徒が増えしていくこととなるが、政府の中等学校への支援は最低限のレベルとなっており、生徒の理数科のレベルは概して低い。理数科教師不足を補い、理数科のレベルアップを図ることが期待されている。				
	2) 期待される具体的業務内容 ・初等教育における暗記中心の授業に起因して、生徒には数学的・科学的なものの見方・考え方育っていない面が見られるため考えさせる授業、興味をもたせる授業のできる人材が求められる。理科の設備・実験道具等も限られていることから授業を工夫して行う必要がある。 ・隊員はOレベル(1年~4年生)の理科のクラスを担当することになる。 ・同校の教員として課外活動、スポーツ活動にも積極的にかかわる意欲のある人が求められている。				
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 教室内の一般教具、試験管、ビーカー等一般的な理科実験器具				
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 校長1名 教師 常勤7名				
資格条件	6) 業務で使用する言語 <input checked="" type="radio"/> 英 語 (レベル: ) <input type="radio"/> ガンダ 語 (レベル: )				
	*JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力				
概況	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 大卒 (理系) 理由: 理数科教師として教壇にたつため				
概況	気候( 亜熱帯 ) 気温( 10 - 30 ℃位 ) 電気( <input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし ) 電話( <input type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし ) 水道( <input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input checked="" type="checkbox"/> なし )				



## 平成18年度春募集ボランティア要望調査票

長期 (  JOCV  日青  SV  日S )短期 (  JV\_A  JV\_B  SV\_A  SV\_B )

事務局記入欄

現職教員特別参加制度: 

記入日: 平成18年1月5日

要請番号( JL 277-06-0-23 )		<input type="checkbox"/> JV↔SV振替可	調査者名: 野本 良子		
国名  ウガンダ	職種 理数科教師 (コード 692 ) 指導科目 (現地公用語[ 英 語 ]) community development	区分 (長期のみ) ●新規 ○交替 代目	派遣希望期間 1 2年 2 1年 ○ ケ月 3 年度 次隊	派遣希望時期 JOCV SV/短期等	
				年 月 から	
大分類: 人的支援 中・小分類: 中等教育	分野: 人間開発 課題: 教育の質の向上	プログラム名: 中等理数科教育強化			
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 (現地公用語) Ministry of Education and Sports				
	2) 配属先名 (日本語) ブサナ中等学校 (現地公用語) Busana Secondary School				
	3) 配属先所在地 首都( カンパラ )から 北東 方向 73 Km カユンガ県ブサナ 主要都市( カンパラ )までの交通手段及び所要時間( 車 で約 1.5時間)				
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 同國の中等学校(セカンダリースクール)は7年制の小学校を卒業した学生を受け入れており、6年制。日本の中学校と高校を合わせた学校にあたる。1年生~4年生のO(Ordinary)レベルと5~6年生のA(Advance)レベルに分かれている。 同校は生徒数700人。男女共学。通学生と寮生がいる。年間予算は約160,000米ドル				
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 対ウガンダ国JICA国別事業実施計画案においては、協力プログラムのひとつとして「中等理数科教育強化プログラム」が設定されている。このプログラムは、主に中等学校における理数科の資質向上への貢献を目的としており、本件JOCVの派遣も同プログラムの投入の一つとして位置づけられる。同国では近年小学校教育に力を入れてきており、小学校への実就学率は約90%となってきている。今後、小学校教育を終えた生徒が増えしていくこととなるが、政府の中等学校への支援は最低限のレベルとなっており、生徒の理数科のレベルは概して低い。理数科教師不足を補い、理数科のレベルアップを図ることが期待されている。				
	2) 期待される具体的業務内容 ・初等教育における暗記中心の授業に起因して、生徒には数学的・科学的なものの見方・考え方育っていない面がみられるため、考えさせる授業、興味を持たせる授業のできる人材が求められる。理科の設備・実験道具等も限られていることから、授業を工夫して行なう必要がある。指導レベルは、O&Aレベル。指導教科は、数学、物理、コンピュータのいずれか(赴任後、話し合って決める)。コンピュータの指導については、Word、Excel、PowerPointなどを行う。 ・ある特定の指導教科への指導に留まらず、同校の一教員として課外活動、クラブ活動等にも積極的に関われる意欲的、世話好きな人が適している。				
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 ・教室内的一般教具				
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 教師: 大卒、平均年齢20-35歳				
資格条件	6) 業務で使用する言語 <input checked="" type="radio"/> 英 語 (レベル: ) <input type="radio"/> ガンダ 語 (レベル: )				
	*JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力				
概地況域	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 実務経験1年 理由: 理数科教師として教壇に立つため ・ 大卒(理系) 理由: 理数科教師として教壇に立つため				
	気候( 亜熱帯 ) 気温( 10-30 ℃位 ) 電気( <input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし ) 電話( <input type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし ) 水道( <input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし )				



## 平成18年度春募集ボランティア要望調査票

長期 ( ● JOCV ○ 日青 ○ SV ○ 日S )

短期 ( ○ JV\_A ○ JV\_B ○ SV\_A ○ SV\_B )

事務局記入欄

現職教員特別参加制度: ◎

記入日: 平成18年1月6日

要請番号( JL 277 - 06 - 0 - 26 )		<input checked="" type="checkbox"/> JV↔SV振替可	調査者名: 本田 哲也		
国名  ウガンダ	職種 理数科教師 (コード 692 ) 指導科目 (現地公用語[ 英 語 ]) science and mathematics education	区分 (長期のみ) ○ 新規 ● 交替 2 代目	派遣希望期間 ● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	派遣希望時期	
				JOCV	SV/短期等
				1 18年度3次隊 2 19年度1次隊 3 年度 次隊	年 月 から
大分類: 人的資源 中・小分類: 中等教育	分野: 人間開発 課題: 教育の質の向上	プログラム名: 中等理数科強化			
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 (現地公用語) Ministry of Education and Sports				
	2) 配属先名 (日本語) チブリ小学校教員養成学校 (現地公用語) Kibuli Primary Teachers College				
	3) 配属先所在地 首都( カンパラ )から 方向 Km カンパラ 主要都市( )までの交通手段及び所要時間( で約 時間)				
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 教育・スポーツ省の一部局として教員養成局がある。ここは小・中学校の先生を養成している。名称はPTC(Primary Teachers College)とNTC(National Teachers College)といい、PTCは小学校の先生、NTCは中学校の先生を養成する学校である。年間予算は150,000,000Ush(約81,000ドル)				
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 対ウガンダ国JICA国別事業実施計画案においては、教育プログラムの一つとして「中東理数科教育強化プログラムが設定されている。このプログラムは理数科の質向上への貢献を目的とされており、本件JOCVの派遣も同プログラムの導入として位置づけられる。 PTCのなかでも全国に8校あるCore PTC(現職のアップグレード教育課程を有する)は理数科及びコンピューター指導ができる教師が不足している。理数科のレベルは概して低い。このような背景から理数科の補助教員として、また理数科のレベルアップとコンピューターの指導者として隊員の要請が出された。				
	2) 期待される具体的業務内容 ・理数科およびコンピュータークラスの授業を受け持つ ・コンピュータ指導については、学生に対して操作始動およびワードやエクセルなど汎用性のあるソフトの使用方法等が期待されている。 ・同僚教師に対してのパソコン指導をおこなう。 ・近隣の小学校の教育実習に付き添い指導する。				
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 コンピューター10台 Windows 2000 Office 2000 プリンター				
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 指導対象者は高校生レベルの生徒および同僚教師			6) 業務で使用する言語 <input checked="" type="radio"/> 英 語 (レベル: ) <input type="radio"/> ガンダ 語 (レベル: ) <small>*JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力</small>	
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 大卒 (理系) 理由: 理数科教師として教壇に立つため				
概況	気候( 亞熱帶 ) 気温( 10-30 ℃位 ) 電気( <input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし ) 電話( <input type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし ) 水道( <input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし )				



平成18年度春募集ボランティア要望調査票  
長期 ( ● JOCV ○ 日青 ○ SV ○ 日S )  
短期 ( ○ JV\_A ○ JV\_B ○ SV\_A ○ SV\_B )

事務局記入欄

現職教員特別参加制度: ○

記入日: 平成18年1月6日

要請番号 ( JL 277 - 06 - 0 - 28 )		<input type="radio"/> JV↔SV振替可		調査者名: 本田 哲也	
国名  ウガンダ	職種 理数科教師 (コード 692) 指導科目 (現地公用語[ 英 語 ]) science and mathematics education	区分 (長期のみ)  ● 新規 ○ 交替 代目	派遣希望期間  ● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	派遣希望時期  JOCV SV/短期等  年 月 から	
				1 18年度2次隊 2 19年度1次隊 3 年度 次隊	
大分類: 人的資源 中・小分類: 中等教育	分野: 人間開発 課題: 教育の質の向上	プログラム名: 中等理数科教育強化			
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 (現地公用語) Ministry of Education and Sports				
	2) 配属先名 (日本語) ワグンブリジ中等学校 (現地公用語) WAGGUMBULIZI SECONDARY SCHOOL				
	3) 配属先所在地 首都( カンバラ )から 西 方向 30 Km ムビジ県ムビジ 主要都市( カンバラ )までの交通手段及び所要時間( バス で約 1 時間)				
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 当國の中等学校(セカンダリースクール)は7年制の小学校を卒業した学生を受け入れており、6年制。日本の中学校と高校を合わせた学校にあたる。1年生から4年生のO(Ordinary)レベルと5~6年生のA(Advance)レベルに分かれている。同校はNGOによって設立された私立学校である。孤児や障害児などの受入も行っている。教師数15名、生徒数257名。共学。年間の予算はUsh6,000,000(約3,300ドル)				
	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 対ウガンダ国JICA国別事業実施計画案においては、教育プログラムの一つとして「中等理数科教育強化プログラムが設定されている。このプログラムは理数科の質向上への貢献を目的とされており、本件JOCVの派遣も同プログラムの導入として位置づけられる。 ・同校では理数科教師が不足している。実際に授業を行いながら、同僚教師に授業内容や授業方法について助言をあたえることが求められる。				
要請概要	2) 期待される具体的業務内容 ・理数科の授業を行う。(主に物理、化学、生物、コンピューターなど) ・同僚の教師に授業内容や授業方法について協力、助言を与える。 ・理数科教育の質の向上				
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等				
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 教師数15名(4名理系、11名文系)				
資格条件	6) 業務で使用する言語 <input checked="" type="radio"/> 英 語 (レベル: ) <input type="radio"/> ガンダ 語 (レベル: )				
	*JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力				
概地況域	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 大卒 (理系) 理由: 理数科教師として教壇に立つため ・				
	気候( 亜熱帯 ) 気温( 10-30 ℃位 ) 電気( <input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし ) 電話( <input type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし ) 水道( <input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし )				



## 平成18年度春募集ボランティア要望調査票

長期 ( ● JOCV ○ 日青 ○ SV ○ 日S )

短期 ( ○ JV\_A ○ JV\_B ○ SV\_A ○ SV\_B )

事務局記入欄

現職教員特別参加制度: ×

記入日: 平成17年7月11日

要請番号( JL 283 - 05- 0 - 18 )		<input checked="" type="checkbox"/> JV↔SV振替可		調査者名: 小中隆文				
国名  ザンビア	職種 理数科教師 (コード 692) 指導科目 (現地公用語[ 英 語 ]) science and mathematics education	区分 (長期のみ) ● 新規 ○ 交替 代目	派遣希望期間 ● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	派遣希望時期 1 18年度2次隊 2 18年度3次隊 3 19年度1次隊 年 月 から				
大分類: 中・小分類:		分野: 自立発展に向けた人材育成・制度構築 課題: 教育のアクセスと質の向上		プログラム名: 理数科教育改善プログラム				
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 (現地公用語) Ministry of Education							
	2) 配属先名 (日本語) ルコンバ小中学校 (現地公用語) Lukomba Basic School							
	3) 配属先所在地 首都( ルサカ )から 北 方向 250 Km 中央州 ルコンバ 主要都市( カピリムボシ )までの交通手段及び所要時間( バス で約 1 時間)							
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 地方の全日制小中学校であるが、付近に高校がないことから、一部高校生も通学している。1年生から10年生28クラス(10年生は1クラスのみ)を2シフト制にし、約1200名の生徒が学んでいる。教師数は18名。他国からの援助はない。							
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) ザンビアでは現在Educating Our Futureという政策をもとに、Strategic Plan 2003-2007を実施しているが、この政策の重点の一つに、基礎教育の拡大と義務教育化がある。その政策の一環として、従来中高等学校として位置付けられていた8、9年生を小学校にシフトし、Basic Schoolとして基礎教育を1年から9年に編成する動きが全国で進行中である。しかし、8、9年生は科目毎に授業を行うが、それを指導できる教員の充足が十分ではなく、絶対的な教員不足となっている。当校においても、8、9年生を指導できる教員が、全教員中、数学の1名のみであり、理科にいたっては誰もいないという現状にある。よって、8、9年生の理数科を指導できる人材が切望されている。							
	2) 期待される具体的業務内容 ①8、9年生6クラスの理科、数学の授業を受け持つ。8、9年生は日本の中学2、3年生と同程度であるが、理科は Environmental Science と呼ばれる、物理、化学、生物、地学の内容が統合されたような総合理科。 ②10年生の授業を受け持つこともある(赴任時の教員の状況による)。10年生は日本の高校1年生と同程度。 ③クラス担任、クラブ活動顧問を担当する。また、補習授業等も行う。 ④併設されているゾーンリソースセンター(地区教員研修センター)において、同僚の教員や、同地区他校の教員と協力し、ワークショップを開催したり、研究授業を行ったりすることで、授業の質の向上に積極的に寄与する。 注:トイレは家の外にある。水は200メートルほどはなれた井戸から汲んでくる。こうした生活に適応できることが必須。							
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 特になし。							
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 同僚:教員18名(30歳代~40歳代) 教員養成高卒、小学校もしくは中学校の教員免許あり 指導対象者: 小中学校の生徒(14歳~16歳、日本の中学校2年生から高校1年生)						6) 業務で使用する言語 <input checked="" type="radio"/> 英語 語 (レベル: ) <input type="radio"/> 語 (レベル: )	
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 大卒 理由: 学校で教員として指導するためには必要不可欠						*JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力	
概地況域	気候( サバンナ ) 気温( 5-35 ℃位 ) 電気( <input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし ) 電話( <input type="checkbox"/> インターネット可 <input type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input checked="" type="checkbox"/> なし ) 水道( <input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input checked="" type="checkbox"/> なし )							



## 平成18年度春募集ボランティア要望調査票

長期 ( ● JOCV ○ 日青 ○ SV ○ 日S )  
短期 ( ○ JV\_A ○ JV\_B ○ SV\_A ○ SV\_B )

事務局記入欄

現職教員特別参加制度: ×

記入日: 平成17年8月17日

要請番号( JL 283-05-1-01)		<input type="radio"/> JV↔SV振替可	調査者名: 小中隆文			
国名  ザンビア	職種 理数科教師 (コード 692) 指導科目 (現地公用語[ 英 語 ]) science and mathematics education	区分 (長期のみ) ● 新規 ○ 交替 代目	派遣希望期間 1 2年 2 1年 3 ヶ月	派遣希望時期 JOCV SV/短期等		
				年 月 から		
大分類: 人的資源 中・小分類: 中等教育	分野: 自立発展に向けた人材育成・制度構築 課題: 教育のアクセスと質の向上	プログラム名: 理数科教育改善プログラム				
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 (現地公用語) Ministry of Education					
	2) 配属先名 (日本語) ニンバ小中学校 (現地公用語) Nyimba Basic School					
	3) 配属先所在地 首都( ルサカ )から 東 方向 336 Km 東部州 ニンバ 主要都市( ニンバ )までの交通手段及び所要時間( バス で約 4 時間)					
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 地方の全日制小中学校。1年生から9年生を3シフト制にし、約1678名の生徒が学んでいます。教師数は36名。他国からの援助はない。					
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) ザンビアでは現在Educating Our Futureという政策をもとに、Strategic Plan 2003-2007を実施しているが、この政策の重点の一つに、基礎教育の拡大と義務教育化がある。その政策の一環として、従来中高等学校として位置付けられていた8、9年生を小学校にシフトし、Basic Schoolとして基礎教育を1年から9年に編成する動きが全国で進行中である。しかし、8、9年生は科目毎に授業を行うが、それを指導できる教員の充足が十分ではなく、絶対的な教員不足となっている。当校においても、8、9年生を指導できる教員が、全教員中、数学の1名、理科2名しかおらず、8、9年生の理数科を指導できる人材が切望されている。					
	2) 期待される具体的業務内容 ① 8、9年生合計6クラスの理科、数学の授業の1部を受け持つ。8、9年生は日本の中学2、3年生と同程度であるが、理科はEnvironmental Scienceと呼ばれる、物理、化学、生物、地学の内容が統合されたような総合理科である。 ② クラス担任、クラブ活動顧問(特に科学クラブや運動クラブ)を担当する。また、補習授業等も行う。 ④ 学校に併設されているリソースセンター(地区教員研修センター)において、研修の担当者や、同僚の教員と協力し、ワークショップを開催し実験を紹介したり、研究授業を行ったりすることで、授業の質の向上に積極的に寄与する。 注:現在のところ任地には電気(設置予定)、水道がないため(電気設置後供給予定)、そうした生活環境にも適応できる適応力が必要。					
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 特になし。サイエンスキットと呼ばれる、簡易実験器具(試験管やビーカー、簡単な電気回路の実験器具が入っている)。					
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 同僚: 8、9年生の担当教員3名(35歳~40歳・教員養成高卒、小学校の教員免許あり)。 指導対象者: 8、9年生の生徒(14歳~16歳、日本の中学校2年生から高校1年生)					6) 業務で使用する言語 <input checked="" type="radio"/> 英語 語 (レベル: ) <input type="radio"/> 語 (レベル: )
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 大卒 理由: 学校で教員として指導するためには必要不可欠					* JVは派遣前訓練指定言語をチェック * SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力
概地況域	気候( サバンナ ) 気温( 5-35 ℃位 ) 電気( <input type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input checked="" type="checkbox"/> なし )		水道( <input type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input checked="" type="checkbox"/> なし )			
	電話( <input type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし )					



## 平成18年度春募集ボランティア要望調査票

長期 ( ● JOCV ○ 日青 ○ SV ○ HS )  
短期 ( ○ JV\_A ○ JV\_B ○ SV\_A ○ SV\_B )

事務局記入欄

現職教員特別参加制度: ×

記入日: 平成17年8月17日

要請番号( JL 283 - 05- 1 - 04 )		<input type="checkbox"/> JV↔SV振替可	調査者名: 小桧山賢哉		
国名  ザンビア	職種 / 指導科目 職種 理数科教師 (コード 692 ) 指導科目 (現地公用語[ 英 語 ]) science and mathematics education		区分 (長期のみ) ● 新規 ○ 交替 代目	派遣希望期間 1 18年度2次隊 2 18年度3次隊 3 19年度1次隊	派遣希望時期 JOCV SV/短期等
					年 月 から
大分類: 人的資源 中・小分類: 中等教育	分野: 自立発展に向けた人材育成・制度構築 課題: 教育のアクセスと質の向上	プログラム名: 理数科教育改善プログラム			
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 (現地公用語) Ministry of Education				
	2) 配属先名 (日本語) ダンブワ小中学校 (現地公用語) Dambwa Basic School				
	3) 配属先所在地 首都( ルサカ )から 南西 方向 473 Km 南部州 リビングストン 主要都市( リビングストン )までの交通手段及び所要時間( 自転車で約 0.2時間 )				
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) リビングストンの郊外に位置する全日制小中学校である。1年生から9年生までの生徒約2060人が学んでいるが、教室がたいへん不足しており、朝7時から17時まで4部制をしいている。教師数は約65名。年間予算50,000,000ケワチャ(約10,000 米ドル)。他国からの援助はない。				
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) ザンビアでは現在Educating Our Futureという政策をもとに、Strategic Plan 2003-2007を実施しているが、この政策の重点の一つに、基礎教育の拡大と義務教育化がある。その政策の一環として、従来中高等学校として位置付けられていた8、9年生を小学校にシフトし、Basic Schoolとして基礎教育を1年から9年に編成する動きが全国で進行中である。しかし、8、9年生は科目毎に授業を行うが、それを指導できる教員の充足が十分ではなく、絶対的な教員不足となっている。当校においても、8、9年生を指導できる教員が、全教員中、理科1名のみであり、数学にいたっては誰もいないという現状にある。よって、8、9年生の理数科を指導できる人材が切望されている。				
	2) 期待される具体的業務内容 ① 8、9年生4クラスの理科、数学の授業を受け持つ。8、9年生は日本の中学2、3年生と同程度であるが、理科は Environmental Scienceと呼ばれる、物理、化学、生物、地学の内容が統合されたような総合理科。身の回りのものを利用した実験や教材等を導入して、子供たちの興味を惹くような授業が望まれている。 ③ クラス担任等学校の校務、また、補習授業等も行う。 ③ クラブ活動顧問等を担当することもある。				
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 特になし。				
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 同僚: 教員65名(20歳~56歳・教員養成高卒、小学校もしくは中学校の教員免許あり)。 指導対象者: 小中学校の生徒(14歳~15歳、日本の中学校2年生から3年生)				
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 大卒 理由: 教員として授業を行うためには最低限必要				
概況	気候( サバンナ ) 気温( 15-35 ℃位 ) 電気( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし ) 電話( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし ) 水道( <input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし )				



## 平成18年度春募集ボランティア要望調査票

長期 ( ● JOCV ○ 日青 ○ SV ○ 日S )

短期 ( ○ JV\_A ○ JV\_B ○ SV\_A ○ SV\_B )

事務局記入欄

現職教員特別参加制度: ×

記入日: 平成16年6月15日

要請番号( JL 283 - 05 - 1 - 19 )		<input checked="" type="radio"/> JV↔SV振替可	調査者名: 小中隆文			
国名  ザンビア	職種 理数科教師 (コード 692 ) 指導科目 (現地公用語[ 英 語 ])		区分 (長期のみ)  ○ 新規 ● 交替 2代目	派遣希望期間  ● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	派遣希望時期  JOCV SV/短期等	
	1 18年度2次隊 2 18年度3次隊 3 19年度1次隊					
	年 月 から					
大分類: 中・小分類:	分野: 課題:	プログラム名:				
配属先概要	1)受入省庁名 (日本語) 教育省 (現地公用語) Ministry of Education					
	2)配属先名 (日本語) イベンガ女子中高等学校 (現地公用語) Ibenga girls secondary school					
	3)配属先所在地 首都( )から 方向 Km コッパーベルト州イベンガ 主要都市( ルワンシャ )までの交通手段及び所要時間( バス で約 0.3時間)					
	4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 1963年創立の地方の女子中高等学校。生徒数は約650名であるが、その内500名が寮生活を送っている。キリスト教の教会によって建てられ、現在も運営されている。優秀な学校であり、寮生は全国から集まっている。毎年数多くの生徒が大学入学の資格を得ている。					
要請概要	1)要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 理科、数学を専門に教えることができる教師が不足している。特に物理、化学を指導できる人材が求められている。また、生徒の興味を引き出すような、実験等を導入した授業を実施できるような人材が求められている。					
	2)期待される具体的業務内容 10~11年生(日本の高校1~2年生相当)の生徒を中心に主に物理、化学を指導する。また、8年生(日本の中学2年生相当)に環境科学Environment Science 総合理科というような内容)を指導することもある。実験室も整備されており実験等を導入した授業の実施が期待されている。科学クラブ等への指導や週番といった校務も任される。基本的には一教師としてザンビア人教師とともに授業を実施するが、同僚教師も実験等には興味を持っており、理科実験等を広く同僚教師に紹介することも可能であるため、積極的にワークショップや授業研究等を開催して実験を紹介するなどの活動も期待されている。					
	3)ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 一般的な日本の中学校で使用するような、理科室(水、電気、一部ガス使用可能)、ビーカー、試験管等の実験器具。薬品類(ほとんどが使用期限を越えている)。					
	4)配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 理科6名(物理2名、生物3名、化学1名) 年齢20代後半から40代。教師経験は豊富。					
					6)業務で使用する言語 <input checked="" type="radio"/> 英 語 (レベル: ) <input type="radio"/> 語 (レベル: ) <small>*JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力</small>	
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大卒 理由: 高校において授業を受け持つためには最低限大</li> <li>・ 教諭免許 理由: 当校は他校に比較しレベルが高いため、学校で十</li> </ul>					教師経験 理由: 校内授業研究等を実施するためには現職教員の
概況	気候( サバンナ ) 気温( 5-35 ℃位 ) 電気( <input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし ) 電話( <input type="checkbox"/> インターネット可 <input type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input checked="" type="checkbox"/> なし )					水道( <input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし )



## 平成18年度春募集ボランティア要望調査票

長期 ( ● JOCV ○ 日青 ○ SV ○ 日S )

短期 ( ○ JV\_A ○ JV\_B ○ SV\_A ○ SV\_B )

事務局記入欄

現職教員特別参加制度: ×

記入日: 平成16年6月28日

要請番号( JL 283 - 05 - 1 - 20 )		<input type="checkbox"/> JV↔SV振替可	調査者名: 小中隆文		
国名  ザンビア	職種 理数科教師 (コード 692 ) 指導科目 (現地公用語[ 英 語 ])	区分 (長期のみ)  ○ 新規 ● 交替 8 代目	派遣希望期間  ● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	派遣希望時期	
				JOCV	SV/短期等
				1 18年度2次隊 2 18年度3次隊 3 19年度1次隊	年 月 から
大分類: 中・小分類:		分野: 自立発展に向けた人材育成・制度構築 課題: 教育の巣角改善と普及			プログラム名: 理数科教育改善プログラム
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 (現地公用語) Ministry of Education				
	2) 配属先名 (日本語) チャサ中高等学校 (現地公用語) Chassa Secondary School				
	3) 配属先所在地 東部州チャサ 首都( )から 方向 Km 主要都市( シンダ )までの交通手段及び所要時間( 徒歩 で約 0.時間 )				
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) Marist Brothersと呼ばれる教会が支援している地方の全寮制男子中高等学校。生徒数は約650名。教師数38名。 英国ボランティア2名が派遣されていたが後任は赴任しない。				
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 理科、数学を専門に教えることができる教師が不足している。特に物理、化学及び数学を指導できる人材が求められている。また、生徒の興味を引き出すような、実験等を導入した授業を実施できるような人材が求められている。				
	2) 期待される具体的業務内容 10~11年生(日本の高校1~2年生相当)の生徒を中心に主に物理、化学、数学を指導する。実験室も整備されており実験等を導入した授業の実施が期待されている。科学クラブ等への指導や過番といった校務も任される。積極的にワークショップや授業研究等を開催して実験を紹介するなどの活動も期待されている。また、可能であればコンピュータのワードやエクセルの使い方(基本)の指導も求められている(必須ではない)。				
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 一般的な日本の中学校で使用するような、理科室(水、電気、一部ガス使用可能)、ビーカー、試験管等の実験器具。基本的な薬品類。				
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 理科: ザンビア人教師2名、VSO1名 数学: ザンビア人教師3名 指導対象は、日本の高校1~3年生に相当する男子学生				
資格条件	6) 業務で使用する言語 ● 英 語 (レベル: ) ○ 語 (レベル: ) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力				
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 大卒 理由: 学校で生徒を指導するための資格として必要 ・ 教諭免許 理由: レベルの高い学校であり、免許・資格は必要				
	・ 教師経験 理由: 授業研究を実施するため教師経験が必要				
概況	気候( サバンナ ) 気温( 5-35 ℃位 ) 電気( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし ) 電話( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし ) 水道( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし )				



## 平成18年度春募集ボランティア要望調査票

長期 ( ● JOCV ○ 日青 ○ SV ○ 日S )  
短期 ( ○ JV\_A ○ JV\_B ○ SV\_A ○ SV\_B )

事務局記入欄

現職教員特別参加制度: ×

記入日: 平成17年11月24日

要請番号( JL 283 - 06 - 0 - 01 )		<input type="checkbox"/> JV↔SV振替可		調査者名: 小中隆文		
国名  ザンビア	職種 / 指導科目  理数科教師 (コード 692 ) 指導科目 (現地公用語[ 英 語 ]) science and mathematics education		区分 (長期のみ)  ○ 新規 ● 交替 4 代目	派遣希望期間  ● 2年 ○ 1年 ○ ケ月	派遣希望時期  JOCV SV/短期等	
	1 18年度2次隊	年月 から				
	2 18年度3次隊					
大分類: 人的資源 中・小分類: 中等教育	分野: 自立発展に向けた人材育成・制度構築 課題: 教育のアクセスと質の向上	プログラム名: 理数科教育改善				
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 (現地公用語) Ministry of Education					
	2) 配属先名 (日本語) カフエ男子中高等学校 (現地公用語) Kafue Boys Secondary School					
	3) 配属先所在地 ルサカ州 カフエ 首都( ルサカ )から 南 方向 50 Km 主要都市( カフエ )までの交通手段及び所要時間( 車 で約 0.2時間)					
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) ルサカ州の郊外に位置する寮制男子中高等学校。8年生から12年生(日本の中学校2年生から高校3年生と同等)が学んでいる。全校生徒数840名(内通学の生徒44名)。教員数33名。United Church of Zambiaから資金、物品等の支援を得ているが、教会の国外関係団体からの支援もある。また、そうした団体を通じた交換留学なども行われている。					
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 当校は比較的優秀な学校であり、しっかりと授業も行われており、毎年多くの生徒が大学に進学する。そうした実績から、寮費が高いのにもかかわらず入学を希望する生徒が多い。学校では質の高い授業を提供することを目指しているが、理数科を指導できる教員、特に数学を指導できる教員が不足しており(05年11月現在)、理数科の授業をしっかりと実施できる人材が求められている。前任者は10、11年生の数学および物理を週に約20コマ程度担当し、普通課の生徒のみならず、理数科専攻の生徒への指導も行っている。生徒の実力に合わせて丁寧に指導する隊員の活動には大きな期待が寄せられている。					
	2) 期待される具体的業務内容 ①主に10、11年生(日本の高校1、2年生に相当)の数学の授業を受け持つ(数学専攻クラスを指導することもある)。また状況に応じて物理、もしくは化学の授業を受け持つ(理科専攻クラスを指導することもある)。 ②クラス担任、クラブ活動の顧問等を担当する。また、学校の公務を行う。 ③生徒の学力の向上を図るような活動を積極的に行う。 調査票記入時点においては数学の教員が大変に不足しており、この状態が続ければ数学を受け持つことが中心となるが、理科専攻の物理や化学では実験の試験もあるため、実験等を導入した授業も期待されている。					
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 数学の教具(黒板用のコンパス、定規など)、理科の実験器具(天秤、アンメータ、ビーカー、顕微鏡等)、					
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 同僚: 数学課教師3名(2名は高等学校教員養成校卒、1名は大学卒)。 理科教師7名(教員養成校卒もしくは大学卒)。 教員は皆指導経験豊富。 指導対象者: 8年生から12年生の生徒(日本の中学2年から高校3年と同程度)。					
資格条件	6) 業務で使用する言語 <input checked="" type="radio"/> 英 語 (レベル: ) <input type="radio"/> 語 (レベル: )					
	*JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力					
概地況域	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 大卒 理由: 教員として指導するためには最低限必要					
	気候( サバンナ ) 気温( 5-35 ℃位 ) 電気( <input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし ) 電話( <input type="checkbox"/> インターネット可 <input type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input checked="" type="checkbox"/> なし ) 水道( <input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし )					



## 平成18年度春募集ボランティア要望調査票

長期 ( ● JOCV ○ 日青 ○ SV ○ 日S )

短期 ( ○ JV\_A ○ JV\_B ○ SV\_A ○ SV\_B )

事務局記入欄

現職教員特別参加制度: ×

記入日: 平成17年11月25日

要請番号( JL 283 - 06 - 02 )		<input checked="" type="checkbox"/> JV↔SV振替可		調査者名: 小中隆文		
国名  ザンビア	職種／指導科目 職種 理数科教師 (コード 692) 指導科目 (現地公用語[ 英 語 ]) science and mathematics education		区分 (長期のみ)  ○ 新規 ● 交替 5代目	派遣希望期間 ● 2年 ● 1年 ○ ヶ月	派遣希望時期 JOCV SV/短期等	
	1 18年度2次隊 2 18年度3次隊 3 19年度1次隊	年 月 から				
	大分類: 人的資源 中・小分類: 中等教育		分野: 自立発展に向けた人材育成・制度構築 課題: 教育のアクセスと質の向上		プログラム名: 理数科教育改善	
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 (現地公用語) Ministry of Education					
	2) 配属先名 (日本語) モンゼ寄宿高等学校 (現地公用語) Monze Boarding High School					
	3) 配属先所在地 首都( ルサカ )から 南 方向 200 Km 南部州 モンゼ 主要都市( モンゼ )までの交通手段及び所要時間( 徒歩 で約 0.5時間)					
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 南部州モンゼ町郊外に位置する全寮制と通学制の2部制をとっている高等学校。10年生から12年生(日本の高校1年生から3年生に相当)の生徒約1600名が寮制の部で、午後からは通学の生徒約700名が学んでいる。教員数約50名。ナイジェリア人のボランティア教師が1名派遣されている。					
	5) その他(参考情報)					
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 現在ザンビアではMDG達成を視野に入れた教育改革を行っており、Strategic Plan 2003-2007をもとに教育環境の整備・改善に向け力を入れている。しかし、教員の待遇等の問題もあり、依然地方に赴任する教員が不足している中、HIV/AIDSによる影響もあって、慢性的な教員不足に陥っている。当校では特に理数科を指導できる教員が不足しており、協力隊の隊員派遣が望まれている。前任者は10年生の数学の授業を週に28コマ程度受け持っている。例題や練習問題を効果的に導入した授業を実施することで生徒の学力向上に努めている。また、教員が来ていないクラス等を見つけては数学や理科の指導を行うなど積極的な活動を実施している。					
	2) 期待される具体的業務内容 ①主に10、11年生(日本の高校1、2年生に相当)の物理を受け持つ、また、状況に応じて数学、化学といった授業を受け持つこともある。 ②クラス担任、クラブ活動の顧問等を担当する。また、学校の公務を行う。 ③補習授業等生徒の学力の向上を図るような活動を積極的に行う。					
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 基本的な実験道具(ビーカー、フラスコなど)					
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 同僚:理数科学科の教員7名(男性4名、女性3名)20代後半から50代。経験豊富。 指導対象者:10年生～12年生の生徒(日本の高校1年～3年と同程度)					
	5) 業務で使用する言語 <input checked="" type="radio"/> 英 語 (レベル: ) <input type="radio"/> 語 (レベル: )					
資格条件	6) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力					
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 大卒 理由: 教員として指導するためには最低限必要					
概況	気候( サバンナ ) 気温( 5-35 ℃位) 電気( <input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし ) 電話( <input type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし ) 水道( <input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし )					



## 平成18年度春募集ボランティア要望調査票

長期 ( ● JOCV ○ 日青 ○ SV ○ 日S )

短期 ( ○ JV\_A ○ JV\_B ○ SV\_A ○ SV\_B )

事務局記入欄

現職教員特別参加制度: ×

記入日: 平成17年11月25日

要請番号( JL 283 - 06 - 0 - 03 )		<input checked="" type="checkbox"/> JV↔SV振替可	調査者名: 小中隆文		
国名  ザンビア	職種 理数科教師 (コード 692 ) 指導科目 (現地公用語[ 英 語 ]) science and mathematics education	区分 (長期のみ)  ○ 新規 ● 交替 3 代目	派遣希望期間  ● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	派遣希望時期  JOCV SV/短期等  1 18年度2次隊 2 18年度3次隊 3 19年度1次隊	
				年 月 から	
大分類: 人的資源 中・小分類: 中等教育	分野: 自立発展に向けた人材育成・制度構築 課題: 教育のアクセスと質の向上	プログラム名: 理数科教育改善			
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 (現地公用語) Ministry of Education				
	2) 配属先名 (日本語) ニンバ高等学校 (現地公用語) Nymba High School				
	3) 配属先所在地 首都( ルサカ )から 東 方向 340 Km 東部州 ニンバ 主要都市( ニンバ )までの交通手段及び所要時間( 徒歩 で約 0.2時間)				
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 東部州のニンバ町に位置する寮制の高等学校。8年生から12年生(日本の中学2年生から高校3年生に相当)まで約800名(内寮制600名、通学200名)の生徒が学んでいる。教員数約35名。				
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 現在ザンビアではMDG達成を視野に入れた教育改革を行っており、Strategic Plan 2003-2007をもとに教育環境の整備・改善に向け力を入れている。しかし、教員の待遇等の問題もあり、依然地方に赴任する教員が不足している中、HIV/AIDSによる影響もあって、慢性的な教員不足に陥っている。当校では特に理数科を指導できる教員が不足しており、協力隊の隊員派遣が望まれている。前任者は10年生、11年生の数学、10年生の物理の授業を週に31コマ程度受け持っている。前任者、前前任者ともに補習授業の実施や、教員が来ていないクラスを見つけては数学の指導を行う、練習問題集を作成するなど積極的な活動を実施している。学校の隊員への期待も大きい。				
	2) 期待される具体的業務内容 ①主に10、11年生(日本の高校1、2年生に相当)の数学、また、物理、もしくは化学の授業を受け持つ。 ②クラス担任、クラブ活動の顧問等を担当する。また、学校の公務を行う。 ③補習授業等生徒の学力の向上を図るような活動を積極的に行う。 (数学においては四則計算が十分にできないといった問題があり、生徒の基礎学力の向上が大きな課題となっている)				
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 理科実験に必要な基本的な実験器具(ビーカー、フラスコ、薬品等)				
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 同僚: 数学教員4名。理科教員6名。教授経験は豊富 指導対象者: 10年生~12年生の生徒(日本の高校1年~3年と同程度)				
資格条件	6) 業務で使用する言語 <input checked="" type="radio"/> 英 語 (レベル: ) <input type="radio"/> 語 (レベル: )				
	* JVは派遣前訓練指定言語をチェック * SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力				
概況	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 大卒 理由: 教員として指導するためには最低限必要				
概況	気候( サバンナ ) 気温( 5-35 ℃位 ) 電気( <input type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input checked="" type="checkbox"/> なし ) 電話( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし ) 水道( <input type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input checked="" type="checkbox"/> なし )				



## 平成18年度春募集ボランティア要望調査票

長期 (  JOCV  日青  SV  日S )短期 (  JV\_A  JV\_B  SV\_A  SV\_B )

事務局記入欄

現職教員特別参加制度: 

記入日: 平成17年11月25日

要請番号( JL 283 - 06 - 0 - 04 )		<input type="radio"/> JV↔SV振替可	調査者名: 小中隆文			
国名  ザンビア	職種 理数科教師 (コード 692) 指導科目 (現地公用語[ 英 語 ]) science and mathematics education	区分 (長期のみ) ○新規 ●交替 7代目	派遣希望期間 1 18年度3次隊 2 19年度1次隊 3 年度 次隊	派遣希望時期 JOCV SV/短期等		
				年 月 から		
大分類: 人的資源 中・小分類: 中等教育	分野: 自立発展に向けた人材育成・制度構築 課題: 教育のアクセスと質の向上	プログラム名: 理数科教育改善				
配属先概要	1)受入省庁名 (日本語) 教育省 (現地公用語) Ministry of Education					
	2)配属先名 (日本語) チゾングウェ工業高校 (現地公用語) Chizongwe Technical High School					
	3)配属先所在地 首都( ルサカ )から 東 方向 570 Km 東部州 チゾングウェ 主要都市( チバタ )までの交通手段及び所要時間( 徒歩 で約 1 時間)					
	4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 東部州の州都チバタ郊外の町チゾングウェに位置する寮制の技術高等学校。10年生から12年生(日本の高校1年生から高校3年生に相当)まで約800名の生徒が学んでいる。教員数約40名。優秀な学生がより高度な理数科を勉強する選抜クラスがある。また、技術高校として金属加工等のコースもある。ナイジェリア人ボランティアが理数科に2名配属されている。					
	1)要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 現在ザンビアではMDG達成を視野に入れた教育改革を行っており、Strategic Plan 2003-2007をもとに教育環境の整備・改善に向け力を入れている。しかし、教員の待遇等の問題もあり、依然地方に赴任する教員が不足している中、HIV/AIDSによる影響もあって、慢性的な教員不足に陥っている。当校では特に理数科を指導できる教員が不足しており、協力隊の隊員派遣が望まれている。前任者は選抜クラスも含めた10年生、11年生の化学を週に27コマ受け持っている。					
要請概要	2)期待される具体的業務内容 ①主に10、11年生(日本の高校1、2年生に相当)の化学、もしくは物理の授業を受け持つ。特に同校には理科、数学の選抜クラスがあるが、より高度な選抜クラスの授業も受け持つ。選抜クラスには実験の試験もあるため、実験等の指導も期待されている。 ②クラス担任、クラブ活動(科学クラブ、卓球部等)の顧問等を担当する。また、学校の公務を行う。 ③補習授業等生徒の学力の向上を図るような活動を積極的に行う。					
	3)ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 基本的な実験器具、薬品類等					
	4)配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 同僚:理科教師7名(40歳代、大卒)。数学教師4名(20歳代から40歳代、大卒) 指導対象者:10年生~12年生の生徒(日本の高校1年~3年と同程度)					
資格条件	6)業務で使用する言語 ● 英 語 (レベル: ) ○ 語 (レベル: )					
	*JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力					
概況域	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 大卒 理由: 教員として指導するためには最低限必要					
	気候( サバンナ ) 気温( 5-35 ℃位 ) 電気( <input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし ) 電話( <input type="checkbox"/> インターネット可 <input type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input checked="" type="checkbox"/> なし ) 水道( <input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし )					



## 平成18年度春募集ボランティア要望調査票

長期 ( ● JOCV ○ 日青 ○ SV ○ 日S )

短期 ( ○ JV\_A ○ JV\_B ○ SV\_A ○ SV\_B )

事務局記入欄

現職教員特別参加制度: ×

記入日: 平成17年11月25日

要請番号( JL 283 - 06 - 0 - 05 )		<input type="checkbox"/> JV↔SV振替可	調査者名: 小中隆文		
国名  ザンビア	職種 / 指導科目 職種 理数科教師 (コード 692 ) 指導科目 (現地公用語[ 英 語 ]) science and mathematics education		区分 (長期のみ)  ○ 新規 ● 交替 2 代目	派遣希望期間 1 2年 2 1年 ○ ヶ月	派遣希望時期 18年度3次隊 19年度1次隊 3 年度 次隊
	大分類: 人的資源 中・小分類: 中等教育	分野: 自立発展に向けた人材育成・制度構築 課題: 教育のアクセスと質の向上	プログラム名: 理数科教育改善		
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 (現地公用語) Ministry of Education				
	2) 配属先名 (日本語) チャコポ小中学校 (現地公用語) Chakopo Basic School				
	3) 配属先所在地 首都( ルサカ )から 北東 方向 560 Km ルワプラ州マンサ 主要都市( マンサ )までの交通手段及び所要時間( 徒歩 で約 0.5時間)				
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) ルワプラ州の州都マンサに位置する公立の小中学校。1年生から9年生の学生(日本の小学校1年生から中学校3年生に相当)1700名が3シフト制で学んでいる。教員数約50名。リソースセンターも併設されている。				
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 現在ザンビアではMDG達成を視野に入れた教育改革を行っており、Strategic Plan 2003-2007をもとに教育環境の整備・改善に向け力を入れている。特にそれまでは中高等学校に属していた8年生、9年生を小学校に統合し、義務教育の充実を図ろうとしている。しかし、8、9年生を指導できる教員が絶対的に不足しており、特に地方の学校においては大きな問題となっている。当校でも理数科を専門に指導できる教員が不足しており、協力隊の隊員派遣が望まれている。前任者は9年生の数学の授業を受け持っている。また子供たちの基礎計算力の向上のために補習授業等を行っている。				
	2) 期待される具体的業務内容 ①8、9年生に数学、理科(環境科学と呼ばれる物理、化学、生物の内容が含まれる統合理科)を指導する。 ②クラス担任、クラブ活動の顧問等を担当する。 ③補習授業等を積極的に行い、子供たちの学力の向上を図る。 ④併設されているリソースセンターにおいて、教材・教具の紹介や授業の質の向上のための活動も行うことが可能であり、積極的にそうした活動を企画・実施する。				
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 サイエンスキットと呼ばれる簡易実験セット				
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 同僚教員: 数学教師1名、理科教師1名(20代から30代、男性、教員養成校卒) 指導対象者: 8年生、9年生の生徒約240名(日本の中学2年生、3年生に相当)				
資格条件	6) 業務で使用する言語 <input checked="" type="radio"/> 英 語 (レベル: ) <input type="radio"/> 語 (レベル: )				
	*JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力				
概況	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 大卒 理由: 教員として指導するためには最低限必要				
概況	気候( サバンナ ) 気温( 5-35 ℃位 ) 電気( <input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし ) 電話( <input type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし ) 水道( <input type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input checked="" type="checkbox"/> なし )				



## 平成18年度春募集ボランティア要望調査票

長期 ( ● JOCV ○ 日青 ○ SV ○ 日S )

短期 ( ○ JV\_A ○ JV\_B ○ SV\_A ○ SV\_B )

事務局記入欄

現職教員特別参加制度: X

記入日: 平成17年11月25日

要請番号( JL 283 - 06 - 0 - 06 )		<input checked="" type="radio"/> JV↔SV振替可	調査者名: 小中隆文		
国名  ザンビア	職種 理数科教師 (コード 692 ) 指導科目 (現地公用語[ 英 語 ]) science and mathematics education	区分 (長期のみ) ○ 新規 ● 交替 3 代目	派遣希望期間 1 18年度3次隊 2 19年度1次隊 ○ ヶ月	派遣希望時期	
				JOCV	SV/短期等 年 月 から
大分類: 人的資源 中・小分類: 中等教育		分野: 自立発展に向けた人材育成・制度構築 課題: 教育のアクセスと質の向上		プログラム名: 理数科教育改善	
配属先概要	1)受入省庁名 (日本語) 教育省 (現地公用語) Ministry of Education				
	2)配属先名 (日本語) タゴレ小中学校 (現地公用語) Tagore Basic School				
	3)配属先所在地 首都( ルサカ )から 南 方向 200 Km 南部州 モンゼ 主要都市( モンゼ )までの交通手段及び所要時間( 徒歩 で約 0.2時間)				
	4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) モンゼ町に位置する公立の小中学校。1年生から9年生の学生(日本の小学校1年生から中学校3年生に相当)900名が2シフト制で学んでいる。教員数約24名。				
要請概要	1)要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 現在ザンビアではMDG達成を視野に入れた教育改革を行っており、Strategic Plan 2003-2007をもとに教育環境の整備・改善に向け力を入れている。特にそれまでは中高等学校に属していた8年生、9年生を小学校に統合し、義務教育の充実を図ろうとしている。しかし、8、9年生を指導できる教員が絶対的に不足しており、特に地方の学校においては大きな問題となっている。当校でも理数科を専門に指導できる教員が不足しており、協力隊の隊員派遣が望まれている。前任者は8、9年生の数学と理科の授業を受け持っている。また教員不足から体育の授業も受け持っている。子供たちの理解力を伸ばすため積極的に教材・教具を工夫し授業に導入している。				
	2)期待される具体的業務内容 ①8、9年生に数学、理科(環境科学と呼ばれる物理、化学、生物の内容が含まれる統合理科)を指導する。 ②クラス担任、クラブ活動の顧問等を担当する。 ③補習授業等を積極的に行い、子供たちの学力の向上を図る。				
	3)ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 サイエンスキットと呼ばれる簡易実験器具				
	4)配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 同僚: 数学教員1名、40歳代、指導経験豊富。理科教員1名、20代後半。 指導対象者: 8年生、9年生の生徒(日本の中学2年生、3年生に相当)				
資格条件	6)業務で使用する言語 ● 英 語 (レベル: ) ○ 語 (レベル: )				
	*JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力				
条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 大卒 理由: 教員として指導するためには最低限必要					
概地況域	気候( サバンナ ) 気温( 5-35 ℃位 ) 電気( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし ) 電話( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし ) 水道( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし )				



## 平成18年度春募集ボランティア要望調査票

長期 ( ● JOCV ○ 日青 ○ SV ○ 日S )

短期 ( ○ JV\_A ○ JV\_B ○ SV\_A ○ SV\_B )

事務局記入欄

現職教員特別参加制度: ◎

記入日: 平成17年11月25日

要請番号( JL 283 - 06 - 0 - 07 )		<input checked="" type="checkbox"/> JV↔SV振替可	調査者名: 小中隆文		
国名  ザンビア	職種 理数科教師 (コード 692 ) 指導科目 (現地公用語[ 英 語 ]) science and mathematics education		区分 (長期のみ) ○ 新規 ● 交替 8 代目	派遣希望期間 1 2年 2 1年 ○ ヶ月	派遣希望時期 JOCV SV/短期等 年 月 から
大分類: 人的資源 中・小分類: 中等教育	分野: 自立発展に向けた人材育成・制度構築 課題: 教育のアクセスと質の向上	プログラム名: 理数科教育改善			
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 (現地公用語) Ministry of Education				
	2) 配属先名 (日本語) カロモ高等学校 (現地公用語) Kalomo High School				
	3) 配属先所在地 南部州 カロモ 首都( ルサカ )から 南 方向 400 Km 主要都市( カロモ )までの交通手段及び所要時間( 徒歩 で約 0.時間)				
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) カロモ町に位置する寮制の高等学校。10~12年生(日本の高校1~3年生に相当)の生徒1200名(内通学200名)が学んでいる。午後にもクラスを開講しており、そこでは400名の生徒が学んでいる。教員数50名。				
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 現在ザンビアではMDG達成を視野に入れた教育改革を行っており、Strategic Plan 2003-2007をもとに教育環境の整備・改善に向け力を入れている。当校では現在、十分な数の理数科を指導できる教員がいるが、実験や演習、生徒の学力向上を図るようなアイディアの導入を望んでおり、協力隊の隊員派遣が望まれている。前任者は10年生の物理の授業を担当し、積極的に実験を導入した授業等を実施している。				
	2) 期待される具体的業務内容 ①主に10、11年生(日本の高校1、2年生に相当)の理科(物理、化学、もしくは生物)の授業を受け持つ。 ②クラス担任、クラブ活動の顧問等を担当する。また、学校の公務を行う。 ③補習授業等生徒の学力の向上を図るような活動を積極的に行う。				
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 日本と同程度の理科実験器具				
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 同僚: 理科教師9名。数学教師6名。30代から50代。指導経験豊富。 指導対象者: 10から12年生の生徒(日本の高校1から3年生と同程度)				
資格条件	6) 業務で使用する言語 <input checked="" type="radio"/> 英 語 (レベル: ) <input type="radio"/> 語 (レベル: )				
	*JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力				
概地況域	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 大卒 理由: 教員として指導するためには最低限必要				
	気候( サバンナ ) 気温( 5-35 ℃位 ) 電気( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし ) 電話( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし ) 水道( <input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし )				



## 平成18年度春募集ボランティア要望調査票

長期 (  JOCV  日青  SV  日S )短期 (  JV\_A  JV\_B  SV\_A  SV\_B )

事務局記入欄

現職教員特別参加制度: ×

記入日: 平成17年11月25日

要請番号( JL 283 - 06 - 0 - 08 )		<input type="checkbox"/> JV↔SV振替可	調査者名: 小中隆文			
国名  ザンビア	職種 理数科教師 (コード 692) 指導科目 (現地公用語[ 英 語 ]) science and mathematics education	区分 (長期のみ) ○ 新規 ○ 交替 3 代目	派遣希望期間 ● 2年 ○ 1年 ○ ケ月	派遣希望時期 JOCV SV/短期等		
				1 18年度 2次隊 2 18年度 3次隊 3 19年度 1次隊	年 月 から	
大分類: 人的資源 中・小分類: 中等教育	分野: 自立発展に向けた人材育成・制度構築 課題: 教育のアクセスと質の向上	プログラム名: 理数科教育改善				
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 (現地公用語) Ministry of Education					
	2) 配属先名 (日本語) カオンガ小中学校 (現地公用語) Kaonga Basic School					
	3) 配属先所在地 首都( ルサカ )から 南 方向 130 Km 南部州 マザブカ 主要都市( マザブカ )までの交通手段及び所要時間( 徒歩 で約 0.5時間)					
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) マザブカ町に位置する公立の小中学校。1947年設立。1年生から9年生の学生(日本の小学校1年生から中学校3年生に相当)1500名が2シフト制で学んでいる。教員数約32名。歴史のある学校で、同敷地内には郡リソースセンター、郡教育事務所もある。					
	5) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 現在ザンビアではMDG達成を視野に入れた教育改革を行っており、Strategic Plan 2003-2007をもとに教育環境の整備・改善に向け力を入れている。特にそれまでは中高等学校に属していた8年生、9年生を小学校に統合し、義務教育の充実を図ろうとしている。しかし、8、9年生を指導できる教員が絶対的に不足しており、特に地方の学校においては大きな問題となっている。当校でも理数科を専門に指導できる教員が不足しており、協力隊の隊員派遣が望まれている。前任者は8年生の数学と理科の授業を週に21コマ受け持っている。					
要請概要	2) 期待される具体的業務内容 ① 8、9年生に数学、理科(環境科学と呼ばれる物理、化学、生物の内容が含まれる統合理科)を指導する。 ② クラス担任、クラブ活動の顧問等を担当する。 ③ 術授業等を積極的に行い、子供たちの学力の向上を図る。 ④ 併設されているリソースセンターにおいて、教材・教具の紹介や授業の質の向上のための活動も行うことが可能であり、積極的にそうした活動を企画・実施する。					
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 サイエンスキットと呼ばれる簡易実験器具					
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 同僚: 数学教師1名、理科教師2名。両方を教えている教師1名。30~50歳代。経験豊富。 指導対象者: 8、9年生の生徒(日本の中学2、3年生と同程度)					
	6) 業務で使用する言語 ● 英 語 (レベル: ) ○ 語 (レベル: )					
	*JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力					
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 大卒 理由: 教員として指導するためには最低限必要					
概況域	気候( サバンナ ) 気温( 5-35 ℃位 ) 電気( <input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし )		水道( <input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし )			
	電話( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし )					



## 平成18年度春募集ボランティア要望調査票

長期 (◎JOCV ○日青 ○SV ○日S )

短期 (○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

現職教員特別参加制度: ×

記入日: 平成17年11月25日

要請番号( JL 283 - 06- 0 - 09 )		<input checked="" type="checkbox"/> JV↔SV振替可		調査者名: 小中隆文		
国名  ザンビア	職種 理数科教師 (コード 692 )  指導科目  (現地公用語[ 英 語 ]) science and mathematics education	区分 (長期のみ)  ○新規 ●交替 3 代目	派遣希望期間  ● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	派遣希望時期  JOCV SV/短期等  1 18年度2次隊 2 18年度3次隊 3 19年度1次隊		
				年 月 から		
大分類: 人的資源 中・小分類: 中等教育	分野: 自立発展に向けた人材育成・制度構築 課題: 教育のアクセスと質の向上	プログラム名: 理数科教育改善				
配属先概要	1)受入省庁名 (日本語) 教育省 (現地公用語) Ministry of Education					
	2)配属先名 (日本語) セントパトリック小中学校 (現地公用語) St. Patrick's Basic School					
	3)配属先所在地 首都( ルサカ )から 南 方向 290 Km 南部州 チョマ 主要都市( チョマ )までの交通手段及び所要時間( 徒歩 で約 1 時間)					
	4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) チョマ町に位置する公立の小中学校。1年生から9年生の学生(日本の小学校1年生から中学校3年生に相当)1800名が2シフト制で学んでいる。教員数約38名。					
要請概要	1)要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 現在ザンビアではMDG達成を視野に入れた教育改革を行っており、Strategic Plan 2003-2007をもとに教育環境の整備・改善に向け力を入れている。特にそれまでは中高等学校に属していた8年生、9年生を小学校に統合し、義務教育の充実を図ろうとしている。しかし、8、9年生を指導できる教員が絶対的に不足しており、特に地方の学校においては大きな問題となっている。当校でも理数科を専門に指導できる教員が不足しており、協力隊の隊員派遣が望まれている。前任者は8年生、9年生の数学の授業を週に14コマ受け持っている。					
	2)期待される具体的業務内容 ①8、9年生に数学、理科(環境科学と呼ばれる物理、化学、生物の内容が含まれる統合理科)を指導する。 ②クラス担任、クラブ活動の顧問等を担当する。 ③補習授業等を積極的に行い、子供たちの学力の向上を図る。 ④郡、州のリソースセンター等と協力し、教員の授業内容の向上を図るようなワークショップ等を企画・実施する。					
	3)ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 草の根無償資金協力により理科実験室が建設された。基本的な理科実験器具(ビーカー、フラスコ等)					
	4)配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 同僚:数学教師1名、理科教師2名。8、9年生を指導できる教員免許保持者。経験豊富。 指導対象者:8、9年生の生徒(日本の中学2、3年生と同程度)					
資格条件	6)業務で使用する言語 ● 英 語 (レベル: ) ○ 語 (レベル: )					
	*JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力					
概況	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 大卒 理由: 教員として指導するためには最低限必要					
	気候( サバンナ ) 気温( 5-35 ℃位 ) 電気( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし ) 電話( <input type="checkbox"/> インターネット可 <input type="checkbox"/> 通話可 <input checked="" type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし ) 水道( <input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし )					



## 平成18年度春募集ボランティア要望調査票

長期 ( ● JOCV ○ 日青 ○ SV ○ HS )

短期 ( ○ JV\_A ○ JV\_B ○ SV\_A ○ SV\_B )

事務局記入欄

現職教員特別参加制度: ×

記入日: 平成17年12月8日

要請番号( JL 283 - 06 - 0 - 10 )		<input checked="" type="checkbox"/> JV↔SV振替可	調査者名: 小中隆文		
国名  ザンビア	職種 / 指導科目  職種 理数科教師 (コード 692 ) 指導科目 (現地公用語[ 英 語 ]) science and mathematics education	区分 (長期のみ)  ● 新規 ○ 交替	派遣希望期間  代目	派遣希望時期	
				JOCV	SV/短期等
大分類: 人的資源 中・小分類: 中等教育	分野: 自立発展に向けた人材育成・制度構築 課題: 教育のアクセスと質の向上	プログラム名: 理数科教育改善			
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 (現地公用語) Ministry of Education				
	2) 配属先名 (日本語) グリーンエーカーズ小中学校 (現地公用語) Green Acres Basic School				
	3) 配属先所在地 首都( ルサカ )から 南 方向 400 Km 南部州 カロモ 主要都市( カロモ )までの交通手段及び所要時間( 徒歩 で約 0.2時間)				
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) カロモ町に位置する公立の小中学校。1年生から9年生の学生(日本の小学校1年生から中学校3年生に相当)1400名が2シフト制で学んでいる。教員数約33名。				
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 現在ザンビアではMDG達成を視野に入れた教育改革を行っており、Strategic Plan 2003-2007をもとに教育環境の整備・改善に向け力を入れている。特にそれまでは中高等学校に属していた8年生、9年生を小学校に統合し、義務教育の充実を図ろうとしている。しかし、8、9年生を指導できる教員が絶対的に不足しており、特に地方の学校においては大きな問題となっている。当校では理科を教える教員がおらず、数学も校長を除いては1名しかいない状況にある。よって、協力隊の隊員派遣が望まれている。				
	2) 期待される具体的業務内容 ①8、9年生に理科(環境科学と呼ばれる物理、化学、生物の内容が含まれる統合理科)、数学を指導する。 ②クラス担任、クラブ活動の顧問等を担当する。 ③補習授業等を積極的に行い、子供たちの学力の向上を図る。				
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 サイエンスキットと呼ばれる簡易実験器具				
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 同僚: 数学教師1名。20歳代女性。 指導対象者: 8、9年生の生徒366名。(日本の中学2、3年生と同程度)				
資格条件	6) 業務で使用する言語 <input checked="" type="radio"/> 英 語 (レベル: ) <input type="radio"/> 語 (レベル: )				
	*JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力				
概地況域	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 大卒 理由: 教員として指導するためには最低限必要				
	気候( サバンナ ) 気温( 5-35 ℃位 ) 電気( <input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし ) 電話( <input type="checkbox"/> インターネット可 <input type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input checked="" type="checkbox"/> なし ) 水道( <input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし )				



## 平成18年度春募集ボランティア要望調査票

長期 ( ● JOCV ○ 日青 ○ SV ○ 日S )

短期 ( ○ JV\_A ○ JV\_B ○ SV\_A ○ SV\_B )

事務局記入欄

現職教員特別参加制度: ◎

記入日: 平成17年12月15日

要請番号( JL 283 - 06 - 0 - 11)		<input checked="" type="checkbox"/> JV↔SV振替可	調査者名: 小中隆文		
国名  ザンビア	職種 理数科教師 (コード 692) 指導科目 (現地公用語[ 英 語 ]) science and mathematics education	区分 (長期のみ) ● 新規 ○ 交替 代目	派遣希望期間 ● 2年 ○ 1年 ○ ケ月	派遣希望時期 JOCV SV/短期等 1 18年度2次隊 2 18年度3次隊 3 19年度1次隊 年 月 から	
大分類: 人的資源 中・小分類: 中等教育	分野: 自立発展に向けた人材育成・制度構築 課題: 教育のアクセスと質の向上	プログラム名: 理数科教育改善			
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 (現地公用語) Ministry of Education				
	2) 配属先名 (日本語) ムワータディ高等学校 (現地公用語) Mwata Day High School				
	3) 配属先所在地 首都( ルサカ )から 南 方向 400 Km 南部州 カロモ 主要都市( カロモ )までの交通手段及び所要時間( 徒歩 で約 0.5時間 )				
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) カロモ町に位置する通学生の高等学校。昨年高等学校として開校したばかりであり、現在は10年生260名しかいないが、2006年度には10、11年生が、2007年度には10~12年生(日本の高校1~3年生に相当)750名が学ぶ予定。教員数現在21名。				
	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 現在ザンビアではMDG達成を視野に入れた教育改革を行っており、Strategic Plan 2003-2007をもとに教育環境の整備・改善に向け力を入れている。特に子供たちの進学を奨励している。しかし、地方においては高校自体が不足している中、待遇の問題やHIV/AIDSによる影響もあって、慢性的な教員不足に陥っている。当校はより多くの子供たちが進学できるようにと、昨年度開校したばかりであるが、開校当初から教員が不足しており、教育環境を巡る状況を考えると今後も教員の補充が容易には望めず、協力隊の隊員派遣が望まれている。				
要請概要	2) 期待される具体的業務内容 ①主に10、11年生(日本の高校1、2年生に相当)の理科、特に物理、化学の授業を受け持つ。 ②クラス担任、クラブ活動の顧問等を担当する。また、学校の公務を行う。 ③補習授業等生徒の学力の向上を図るような活動を積極的に行う。				
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 サイエンスキットと呼ばれる簡易実験器具。				
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 同僚: 理科教師1名。数学教師2名。30~40歳代。教授経験豊富 指導対象者: 10~12年生の生徒(日本の高校1年生から3年生と同程度)				
	6) 業務で使用する言語 <input checked="" type="radio"/> 英 語 (レベル: ) <input type="radio"/> 語 (レベル: )				
	*JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力				
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 大卒 理由: 教員として指導するためには最低限必要				
概地況域	気候( サバンナ ) 気温( 5-35 ℃位 ) 電気( <input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし ) 電話( <input type="checkbox"/> インターネット可 <input type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input checked="" type="checkbox"/> なし ) 水道( <input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし )				



## 平成18年度春募集ボランティア要望調査票

長期 ( ● JOCV ○ 日青 ○ SV ○ 日S )

短期 ( ○ JV\_A ○ JV\_B ○ SV\_A ○ SV\_B )

事務局記入欄

現職教員特別参加制度: ×

記入日: 平成17年12月26日

要請番号( JL 283 - 06 - 0 - 31 )		<input type="checkbox"/> JV↔SV振替可	調査者名: 井上 和美		
国名  ザンビア	職種 理数科教師 (コード 692) 指導科目 (現地公用語[ 英 語 ]) science and mathematics education	区分 (長期のみ) ● 新規 ○ 交替 1 代目	派遣希望期間 ● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	派遣希望時期 JOCV SV/短期等	
				1 18年度2次隊	年 月 から
				2 18年度3次隊	
		3 19年度1次隊			
大分類: 人的資源 中・小分類: 中等教育	分野: 自立発展に向けた人材育成・制度構 課題: 教育のアクセスと質の向上	プログラム名: 理数科教育改善プログラム			
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 (現地公用語) Ministry of Education				
	2) 配属先名 (日本語) カソマ・バングウェル小学校 (現地公用語) Kasoma Bangweulu Basic School				
	3) 配属先所在地 首都( ルサカ )から 北 方向 730 Km ルワブラ州 カソマ 主要都市( サンフィア )までの交通手段及び所要時間( 自転車で約 0.1時間 )				
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 公立の小学校。湖沿いにある漁業と農業で生計を立てている子弟の通う学校で、近隣の村は小さく貧しい。かつて外国の援助、ボランティアが入ったことはない。教員数29、教室数24、生徒数790。年間予算K200,000,000(約600万円)				
	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) ザンビア全土で理数科教師の数は不足しているが、この学校では殆どの教師が正式の教員免許を持たず、8、9年生の理数科を教えられる教師がない。特に小学校の理科を教材・実験を通して興味深く生徒に教えられる知識、適切な用具が不足しているため、授業はあっても殆ど黒板の文字をノートに写している状態であり、実際の理解には程遠い。このため、生徒に直接教えるとともに教員へもセミナーを行うなどして理数科教育の改善に貢献してもらいたい。				
要請概要	2) 期待される具体的業務内容 ・小学校の8、9年生(日本の中学生)に対し理科(環境科学と呼ばれる物理、化学、生物の内容が含まれる総合理科)と数学の授業を行う。また、補習授業等も行う。 ・クラス担任やクラブ活動、校務も担当する。 ・限られた教材を使いながら、また身近なものを工夫するなどして、様々な実験を取り入れた授業を行う。 ・経験、資格などを持たない教師を対象にセミナーを行い、授業の改善、教育の普及を図る。 ・郡のリソースセンターなどとも協力し、教材を開発するなどして近隣の理数科教育の底上げを図る。				
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 ごく簡単な教材(図解、試験管、プラスコなど)。				
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 教員29名。うち正式の教員免許を持つものは6名のみ。他は教育実習生など教師としてのトレーニングは受けているが資格を取っていないものばかり。				
資格条件	6) 業務で使用する言語 ● 英語 語 (レベル: ) ○ 語 (レベル: )				
	* JVは派遣前訓練指定言語をチェック * SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力				
概況	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 大卒 理由: 教員として指導するためには最低限必要				
概況	気候( サバンナ ) 気温( 5-35 ℃位 ) 電気( □ 安定 ■ 不安定 □ なし ) 電話( □ インターネット可 □ 通話可 □ 不良 ■ なし ) 水道( □ 安定 ■ 不安定 □ なし )				



## 平成18年度春募集ボランティア要望調査票

長期 ( ● JOCV ○ 日青 ○ SV ○ 日S )

短期 ( ○ JV\_A ○ JV\_B ○ SV\_A ○ SV\_B )

事務局記入欄

現職教員特別参加制度: ○

記入日: 平成17年12月11日

要請番号( JL 328 - 06 - 0 - 13 )		<input checked="" type="checkbox"/> JV↔SV振替可	調査者名: 小宮山幸子調整員		
国名 ドミニカ共和国	職種 理数科教師 (コード 692 ) 指導科目 (現地公用語[ 西語 ]) Educacion Cientifica	区分 (長期のみ) ○ 新規 ● 交替 2代目	派遣希望期間 1 2年 2 1年 ○ ケ月	派遣希望時期 JOCV SV/短期等 1 19年度1次隊 2 年度 次隊 3 年度 次隊	
				年 月 から	
大分類: 人的資源 中・小分類: 中等教育	分野: 教育 課題: 基礎教育の改善	プログラム名: 基礎教育改善プログラム			
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 (現地公用語) Secretaria de Estado de Educacion				
	2) 配属先名 (日本語) 02-06地域事務所 (現地公用語) Distrito Educativo 02-06				
	3) 配属先所在地 首都( サントドミンゴ )から 西 方向 200 Km サン・ファン・デ・ラ・マグアナ 主要都市( サン・ファン )までの交通手段及び所要時間( バス で約 2.5時間)				
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) サンファン地区には2つの地域事務所があり、その内の1つの事務所。初等教育86校、中等教育11校、技術学校3校、識字教育用学校12校(夜間)が同事務所管轄下にある。同事務所独自の予算はなく、必要に応じサンファン県事務所から支出される。				
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同国発展のための最優先分野の一つに位置づけられている教育の質の向上であるが、実際には学校増設や整備・改築等が優先され、教職員の質の向上や指導法・カリキュラムの見直し等の改善点が見えにくい分野は立ち遅れている状態である。理数科分野では、同地域事務所の理科指導主事1名が全管轄校を担当しており、教育の質の改善を行っているが、具体的な改善策を構築するためにJOCV派遣の必要性が望まれ、今回の要請に至った。				
	2) 期待される具体的業務内容 ・管轄下の小学校現職教員を対象とした身近にあるものを使った理科実験講習会の開催。 ・管轄下の小学校の中からモデル校を選出し、そこを中心に理科指導主事とともに教員を対象とした巡回指導を行う。 ・研究授業、学年会等の校内研修システムの構築を促す				
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 なし				
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 配属先スタッフ: 理科指導主事(男性、40代、経験約20年) 指導対象者: 現職小学校教師				
*JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力					
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 小学校教諭免許 理由: 現職教員への指導を行うため ・ 実務経験3年程度 理由: 現職教員への指導を行うため				
概況域	気候( 亜熱帯海洋性 ) 気温( 18~30 ℃位 ) 電気( <input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし ) 電話( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし ) 水道( <input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし )				



## 平成18年度春募集ボランティア要望調査票

長期 (  JOCV  日青  OSV  日S )短期 (  JV\_A  JV\_B  SV\_A  SV\_B )

事務局記入欄

現職教員特別参加制度: 

記入日: 平成17年2月24日

要請番号( JL 364-05-1-29)		<input type="checkbox"/> JV↔SV振替可	調査者名: 菊池 明雄			
国名  パラグアイ	職種 理数科教師 (コード 692) 指導科目 (現地公用語[ 西語 ]) Educacion Cientifica	区分 (長期のみ) ●新規 ○交替 代目	派遣希望期間 ● 2年 ○ 1年 ○ ケ月	派遣希望時期 JOCV SV/短期等		
				1 18年度2次隊 2 18年度3次隊 3 19年度1次隊	年月から	
大分類: 分野: 貧困への社会サービス充実と収入の維持向上 中・小分類: 課題: 教員養成及び現職教員の再教育強化		プログラム名: 教員養成・教育インフラ整備、NGOとの連携を通じた初等中等教育者の就業支援				
配属先概要	1)受入省庁名 (日本語) 教育文化省 (現地公用語) Ministerio de Educacion y Cultura					
	2)配属先名 (日本語) エスピリット・サント小中学校 (現地公用語) Colegio "Espiritu Santo"					
	3)配属先所在地 首都( アンシオン )から 南東 方向 490 Km イタプア県トマス・ペレイラ市 主要都市( アンシオン )までの交通手段及び所要時間( バス で約 3 時間)					
	4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 修道会によって1987年に創立され、その後、教育文化省の認可を受けた私立の小中学校で、施設内に付属の幼稚園を擁している。生徒数は午前と午後を合わせて約600名、教師数は25名で、校長は教会のシスターがつとめている。年間予算は約40,000米ドルであるが、そのほとんどが人件費に充てられていることから、学校運営費等は生徒の登録料や父兄の寄付で賄われている。					
	1)要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 2002年から3年計画で中学校を増設しており、現在最終段階を迎えており。同地域は開発の進行に伴う人口増加が著しく、多くの学校が設備の整備途上にあるが、その中でも同校は屋内体育館等の関連設備等が整っており、地域の教育機関として中心的な役割を担っている。人材面では指導者(特に理科、数学)の指導技術不足が地域全体の問題となっていることから、同校での活動の他に、同地区にある他の学校への巡回指導も期待されており、市全体の教育レベル向上が期待されている。					
要請概要	2)期待される具体的業務内容 現在殆ど活用されていないわずかな実験器具等を用い、基礎的な実験方法等について同僚教師に助言を与えることによって、同校の教員と生徒の理科(特に化学と物理)に対する理解を深める。また、同校での活動を基本としつつ、同地域の学校を巡回し、地域の教員のレベルアップを図る。同校では、隊員の着任後に新たに実験室の設置と実験器具の整備を計画しており、これを利用した理科の授業を実施すると共に、同地区の教員を集めた研修会等を実施することも期待されている。同校は午前と午後の二部制となっており、活動時間は午前の部が7:00から11:30まで、午後の部が12:30から17:30である。					
	3)ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 各種標本、バーナー、ビーカー、フラスコ等の実験器具 現在、小規模な図書室を理科実験室として併用しているが、理科実験室の新設計画がある。					
	4)配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 一般理科教師 29歳 数学教師 33歳 経験4年 物理・化学教師 30歳代					
	6)業務で使用する言語 <input checked="" type="radio"/> 西語 (レベル: ) <input type="radio"/> 語 (レベル: )					
	*JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力					
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 教諭免許 理由: 教育に係る専門的な知識が求められるため。 ・ 実務経験 理由: 経験に基づく実践的な指導が求められるため。					
概況	気候( 亜熱帯 ) 気温( 0~40 ℃位) 電気( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし ) 電話( <input type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし ) 水道( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし )					



## 平成18年度春募集ボランティア要望調査票

長期 (  JOCV  日青  SV  日S )  
 短期 (  JV\_A  JV\_B  SV\_A  SV\_B )

事務局記入欄

現職教員特別参加制度: 

記入日: 平成17年12月9日

要請番号( JL 364- 06- 0- 27)		<input type="checkbox"/> JV↔SV振替可	調査者名: 高田 肇		
国名  パラグアイ	職種 理数科教師 (コード 692) 指導科目 (現地公用語[ 西語 ]) Educacion en Matematicas	区分 (長期のみ) ●新規 ○交替 代目	派遣希望期間 ● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	派遣希望時期 JOCV SV/短期等	
	1 18年度2次隊 2 18年度3次隊 3 19年度1次隊			年月から	
大分類: 人的資源 中・小分類: 中等教育	分野: 貧困層への社会サービスの充実と収入の維持向上 課題: 教員養成及び現職教員の再教育強化	プログラム名: 基礎教育拡充支援			
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育文化省 (現地公用語) Ministerio de Educación y Cultura				
	2) 配属先名 (日本語) ビジャリカ地域教育センター (現地公用語) Centro Regional de Educación "Dr. Natalicio Talavera (Villarica)"				
	3) 配属先所在地 首都( アスンシオン )から 南東 方向 175 Km グアイラ県ビジャリカ市 主要都市( アスンシオン )までの交通手段及び所要時間( バス で約 4 時間)				
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 当国には7つの地域教育センターが存在するが、ビジャリカ(ナタリシオ・タラベラ)地域教育センターは1977年にグアイラ県ビジャリカ市において創立された地域教育センターで、幼稚園、小学校、中学校、高校、教員養成校を擁している。同センター内の教員養成校は、初等教育課程約70名、中等教育課程(理科、数学、社会科学)約140名、教師約40名の規模である。政府からの予算は人件費のみで、学校運営費は生徒の登録料や父母からの寄付等で賄われている。				
	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 当国の基礎教育の現場では、算数は理系学科の基礎となる重要な科目であると認識されているものの、板書中心の授業が実施される傾向にあり、小学生の算数学力の向上が課題となっている。このような状況下、小学校教諭隊員が算数授法改善を目指して同センターで活動しているが、生徒の算数学力が低く、また、自らが受けてきた授業のイメージに固執する傾向にあり、今後も継続した隊員の支援が必要とされている。基礎教育課程第1・第2サイクル(小学校教諭養成課程)の他に、中等教育課程(高校教諭養成課程)と基礎教育第3サイクル(中学校教諭養成課程)の算数専攻コースへの支援も期待されることから、より専門性を持った数学教師へと職種を変更しての要請となった。				
要請概要	2) 期待される具体的業務内容 教員養成校の基礎教育課程第1サイクルの算数授業は、各学年週3コマ(1コマ45分)実施されている。授業時間は7:00から15:00まで(昼休みは11:45から12:30)である。 ①基礎教育課程第1サイクル(小学校教諭養成課程)の算数の授業を同僚教師と共に担当し、小学生が算数の理解を深めることのできる指導方法等を紹介する。また、年間指導計画や生徒の評価方法等に関する助言を与える。 ③基礎教育課程の生徒が実施している教育実習に同行し、授業案の策定や指導方法等について助言を与える。 ④中等教育課程算数専攻コース(高校教諭養成課程)と、来年度に設立が予定されている基礎教育第3サイクル(中学校教諭養成課程)の各算数専攻コースへの支援も期待されている。				
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 教室、黒板等。				
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル ・算数専任教師3名(男性1名・女性2名、学士、年齢30歳代~50歳代、経験13年~20年) ・基礎教育課程学生(1年生~3年生)約70名 ・中等教育課程算数専攻学生(1年生~3年生)約40名				
	6) 業務で使用する言語 ● スペイン 語 (レベル: ) ○ 語 (レベル: )				
資格条件	*JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力				
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 教諭免許 (数学) 理由: 数学に係る専門的な知識が求められるため ・ 経験 5 年 理由: 指導法、評価法の助言には現役教員が望ましい				
概地況域	気候( 亜熱帯 ) 気温( 0-40 ℃位 ) 電気( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし ) 電話( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし ) 水道( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし )				



## 平成18年度春募集ボランティア要望調査票

長期 (  JOCV  日青  SV  JS )短期 (  JV\_A  JV\_B  SV\_A  SV\_B )

事務局記入欄

現職教員特別参加制度: 

記入日: 平成15年12月2日

要請番号 ( JL 413 - 05 - 0 - 11 )		<input type="checkbox"/> JV ⇄ SV 振替可	調査者名: 小椋 亨		
国名 パプアニューギニア	職種 理数科教師 (コード 692 ) 指導科目 (現地公用語[ 英 語 ])	区分 (長期のみ) ◎ 新規 ○ 交替 1 代目	派遣希望期間 ● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	派遣希望時期 JOCV SV/短期等	
				1 18年度2次隊	年 月 から
				2 18年度3次隊	
3 19年度1次隊					
大分類:		分野:	プログラム名:		
中・小分類:		課題:			
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) ウエスタン州教育局 (現地公用語) Division of Education, Western Provincial Administration				
	2) 配属先名 (日本語) タブビル高校 (現地公用語) Tabubil High School				
	3) 配属先所在地 首都( )から 方向 Km ウェスタン州タブビル 主要都市( タブビル中心 )までの交通手段及び所要時間( 徒歩 で約 ? 時間)				
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 当国ではトップアップと呼ばれる教育改革が行われており、現在同校は9・10年生(日本の中学3年～高校1年に相当)の2学年しかない。2005年から11年生を受け入れる予定であり、将来トップアップが完了すると9～12学年のSecondary Schoolとなる。男女共学高校で生徒数は440人、教師は15人。年間予算約315,000キナ(約1,000万円)。				
	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 現在同校では教育改革が行われているため、9・10年生の2学年しかないが、2005年から11年生を受け入れる予定になっている。9・10年生の理科は1つの教科になっているが、11年生から理科は物理、化学、生物の専門科目に分かれ、また理科・数学とも内容が高度になる。現在同校の教師は11・12学年の理数科を教えた経験がないため、11・12学年の理数科を担当する教師を新たに確保することが望ましい。しかし、トップアップの結果、当国では11・12学年を教える教師、特に理数科教師が不足しており、同校でも確保が困難なことから、今回の要請に至った。				
要請概要	2) 期待される具体的業務内容 配属先にて以下の業務を行う。1) 日本の中学校から高校初期レベルに相当する11・12年生の数学、物理、化学、生物のうち一科目又は複数科目の授業を英語で行う。2) 教師の質の向上を図るために、活動に余裕がでてきた時点で教師を対象とした教科内容や教授法等についての研修の開催も望まれる。3) 2003年12月に鉱山会社からコンピュータが寄贈される予定であり、コンピュータ・アプリケーション(ワープロ、表計算ソフト等)・インターネットの使用方法等コンピュータの基本操作に関する授業の実施についても期待されている。受け持つ授業時間数は週20～25時間である。				
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 理科実験室は2教室あるが、実験室自体かなり老朽化しており、実験器具や薬品の種類や数量も限られている。PC5台、2003年末までさらに10台寄贈される予定。その他、電話、コピー機、ファクシミリ。				
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 教師の数は学校全体で15名、そのうち数学科教師が4名、理科教師が3名となっている。				
	6) 業務で使用する言語 <input checked="" type="radio"/> 英 語 (レベル: ) <input type="radio"/> ピジン 語 (レベル: )				
* JVは派遣前訓練指定言語をチェック * SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力					
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 男性 理由: 安全対策上。 ・ 教諭免許(高・理数) 理由: 日本の中学3年から高校3年に相当する生徒に授業を行う。				
	・ 実務経験 理由:				
概地況域	気候( 热帯高原性 ) 気温( 20~30 ℃位 ) 電気( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし ) 電話( <input type="checkbox"/> インターネット可 <input type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし ) 水道( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし )				



## 平成18年度春募集ボランティア要望調査票

長期 (  JOCV  日青  SV  日S )短期 (  JV\_A  JV\_B  SV\_A  SV\_B )

事務局記入欄

現職教員特別参加制度: 

記入日: 平成17年5月4日

要請番号( JL 413 - 05 - 0 - 14)		<input type="checkbox"/> JV↔SV振替可	調査者名: 金子 雄大		
国名 パプアニー ギニア	職種 理数科教師 (コード 692) 指導科目 (現地公用語[ 英 語 ]) science and mathematics education	区分 (長期のみ) ● 新規 ○ 交替 1 代目	派遣希望期間 ● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	派遣希望時期 JOCV SV/短期等 1 18年度2次隊 2 18年度3次隊 3 19年度1次隊 年 月 から	
大分類: 中・小分類:		分野: 教育 課題: 初等・中等教育授業の改善		プログラム名: 初等・中等教育授業改善	
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 東ニューブリテン州政府 (現地公用語) East New Britain Provincial Administration				
	2) 配属先名 (日本語) 聖ジョセフ小学校 (現地公用語) St. Joseph Demonstration Primary School				
	3) 配属先所在地 首都( ポートモレスビー )から 北東 方向 770 Km 東ニューブリテン州カバレオ 主要都市( ココポ市内 )までの交通手段及び所要時間( バス で約 0.1時間)				
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) カトリック教会系の公立小学校で隣接のOLSHカバレオ教員大学の教育実習校。トップアップ(最終学年引き上げ)と呼ばれる学制再編で1998年にコミュニティスクール(1~6年生)からプライマリースクール(3~8年生)に移行し、現在は日本の小学3年生から中学2年生にあたる児童・生徒を対象に基盤教育を行っている。理数科教師隊員が配属のOLSHヴァナポベ、セントメリー両高校に卒業生を送り出している。教員数18名、児童生徒数約722名。年間予算約12万キナ(約400万円)。				
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 教育省が推進する教育改革にかかり、特に小学校の理数科教育支援が火急となっている。1994年に就学率向上が目的で始まったトップアップで小学校教員が7~8年生を指導することになったほか、2005年に全教科担任制が当該学年に導入され、専科制から漸次切り替えることになった。カリキュラム改正は新シラバス、教師ガイドのみ2004年初めまでに適用が義務付けられ、準拠する教科書は作成されず、授業は教師自ら組み立てていくことが求められている。特に7~8年生の理数科指導で資格・実力ともに十分な教員は圧倒的に不足し、教員養成・現職研修、指導教官巡回など政府の支援は十分な効果を挙げていない。負担の厳しい現場教師への支援を通じた理数科教育の改善のため要請に至った。				
	2) 期待される具体的業務内容 上級3学年、特に7~8年生担当教師を教科知識及び指導の両面で支援する。①授業はアシスタント教師として同僚教師と準備段階から共同で進める。原則チームティーチングとし、レッスン評価を通じて授業の改善を図る。②全教科担当制導入に向け、専科教師とともに校内研修を企画運営する。特に理科は実験・観察を教師自身にやってもらい、楽しさを知り、興味を持つてもらうことが肝要となる。③毎年受け入れている教育実習生の支援を行う。④新カリキュラムで求められる同国や地域に密着した題材や教材、身近な材料を使った実験を使った理科指導に、同国で使える題材や教材、同国ができる実験の紹介や開発と普及を同僚や同任地ボランティアとともに使う。⑤卒業生進学先高校派遣隊員、他の小学校や教員大学派遣予定の隊員やSVと連携を図る。				
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 理科実験室、実験器具、薬品類数種(豪州開発援助庁供与)。同国は多様な自然に恵まれ、生物や地学などの観察に素材は豊富である。実験や観察は身近にある物や廃材、自然の活用、器具の自作など創意工夫が強く求められる。				
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 校長ほか教員17名。高学年(3学年)担当9名。選科教師は理数科3名。20歳代~40歳代。理数科の理解度は高くない。数学は計算能力、理解力が足らず、理科は実験指導を教員養成・現職研修とともに十分、あるいは全く受けっていない。身近にある材料でできる実験や観察を知らず、旧教師ガイドの板書と説明になりがちである。男性教員は校長を含め3名、ほか15名は女性教師。シフトティーチング。				
資格条件	6) 業務で使用する言語 <input checked="" type="radio"/> 英 語 (レベル: A) <input type="radio"/> ピジン 語 (レベル: B) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力				
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 男性 理由: 安全対策上 ・ 大卒 (理系) 理由: 日本の中学生レベルの理数科を指導するため				
	概況 気候( 热帶雨林 ) 気温( 25~35 ℃位 ) 電気( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし ) 電話( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし ) 水道( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし )				



## 平成18年度春募集ボランティア要望調査票

長期 ( ● JOCV ○ 日青 ○ SV ○ 日S )

短期 ( ○ JV\_A ○ JV\_B ○ SV\_A ○ SV\_B )

事務局記入欄

現職教員特別参加制度: ◎

記入日: 平成17年8月31日

要請番号( JL 413- 05- 1- 12)		<input checked="" type="checkbox"/> JV↔SV振替可		調査者名: 渡部 健彦	
国名 パプアニー ギニア	職種／指導科目 職種 理数科教師 (コード 692) 指導科目 (現地公用語[ 英 語 ]) science and mathematics education		区分 (長期のみ) ○ 新規 ● 交替 3 代目	派遣希望期間 1 2年 2 1年 ○ ヶ月	派遣希望時期 JOCV SV/短期等 年 月 から 18年度2次隊 18年度3次隊 19年度1次隊
大分類: 人的資源 中・小分類: 中等教育	分野: 教育 課題: 初等・中等教育の授業改善		プログラム名: 初等・中等教育授業改善		
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) ミリンベイ州教育局 (現地公用語) Milne Bay Provincial Administration, Division of Education				
	2) 配属先名 (日本語) キャメロン高校 (現地公用語) Cameron Secondary School				
	3) 配属先所在地 首都( ポートモレスビー )から 西 方向 100 Km ミリンベイ州アロタオ 主要都市( アロタオ市内 )までの交通手段及び所要時間( で約 時間 )				
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 州立普通科男女共学校。1969年創立。学制変更に伴う最終学年引き上げでは、1984年にハイスクールからセカンダリーに昇格し、現在中学3年生から高校3年生を受け入れている。教員数約30名、生徒数600名以上、年間予算約88万キナ(約300万円)				
	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同国政府は、中期開発戦略重点課題のひとつである教育の充実のため改革に取り組んでいる。就学率向上を目指す学生変更、質の向上を狙うカリキュラム改正の結果、有資格教師が不足する上級学年の理数科指導への対応と教科指導に不安を抱く教員の支援が急務となっている。教員の教科知識や指導技術の不足に起因する板書・暗記中心の授業に対し、計算力、観察、思考を重視した生徒の指導と手法の紹介・共有が必要なところ継続要請となった。				
要請概要	2) 期待される具体的業務内容 理数科の授業を週25~30コマ程度担当する。担当科目、学年及び授業数は、教員の配置状況によるため、配属先と協議のうえ決めることになる。理数科の学習内容は日本の中学・高校程度となる。理科は、施設、実験器具、薬品などに不備・不足があるため、身近なもので代用するなどの工夫が求められる。同僚教師への教科知識、補助教材、実験手法の共有などを通じた支援を行う。授業に実験・観察の機会、計算練習を多く取り入れ、生徒の科学的な思考力、計算能力を養う指導に継続的に取り組む。オーストラリア人ボランティアと連携を図ることになる。コンピュータの基本操作について指導を求められることもあるため知識がある程度必要となる。				
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 理科実験室及び準備室、実験器具類・薬品類(故障、破損、不足がある)、定規、コンパス、電卓など。				
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 教職員数30名、うち数学教師4名、理科教師4名、理数科兼任教師3名				
	6) 業務で使用する言語 <input checked="" type="radio"/> 英語 語 (レベル: A ) <input type="radio"/> ピン語 (レベル: C ) <small>* JVは派遣前訓練指定言語をチェック * SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力</small>				
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 <ul style="list-style-type: none"> <li>男性 理由: 安全対策上</li> <li>大卒(理系) 理由: 日本の中高生レベルの理数科を指導するため</li> </ul>				
概況	気候( 热帯雨林 ) 気温( 25-35 ℃位 ) 電気( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし ) 電話( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし ) 水道( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし )				



## 平成18年度春募集ボランティア要望調査票

長期 (  JOCV  日青  SV  日S )  
 短期 (  JV\_A  JV\_B  SV\_A  SV\_B )

事務局記入欄

現職教員特別参加制度: 

記入日: 平成17年8月31日

要請番号( JL 413- 05- 1- 14)		<input type="checkbox"/> JV↔SV振替可	調査者名: 渡部 健彦		
国名  パプアニー ギニア	職種 / 指導科目 職種 理数科教師 (コード 692) 指導科目 (現地公用語[ 英 語 ]) science and mathematics education		区分 (長期のみ)  <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目	派遣希望期間  <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ケ月	派遣希望時期 JOCV SV/短期等
	1 18年度2次隊 2 18年度3次隊 3 19年度1次隊				
	大分類: 人的資源 中・小分類: 中等教育	分野: 教育 課題: 初等・中等教育の授業改善	プログラム名: 初等・中等教育授業改善		
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) マヌス州教育局 (現地公用語) Manus Provincial Administration, Division of Education				
	2) 配属先名 (日本語) エコム高校 (現地公用語) ECOM High School				
	3) 配属先所在地 首都( ポートモレスビー )から 北 方向 500 Km マヌス州ロレンガウ 主要都市( ロレンガウ市 )までの交通手段及び所要時間( 車 で約 0.1時間)				
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) キリスト教系の男女共学校で、1991年に設立。日本の中学1年～高校1年までの生徒に中等教育を行っている。生徒数400名弱、教員数15名、秘書2名。年間予算350,000キナ(約1,230万円)。				
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 当国では有資格の理数科教師が慢性的に不足しており、人材育成も需要の伸びに対応出来ていない。同配属先においても教員不足の解消が難しく、一教師への負担が大きい上、現在いる教師の教科指導に関する知識も十分ではなく、継続的な支援を求めていることから、後任の要請となった。				
	2) 期待される具体的業務内容 上記4学年に対して理科と数学を教えるほか、授業計画の準備や試験問題の作成、その他必要な関連業務を担当する。生徒のレベルにばらつきがあることから、内容を英語で平易に教えられること、理科については簡単な実験を現地で入手できる限られた材料から工夫して行える柔軟性が求められる。教科書の内容を覚えさせる当国の授業の進め方に対し、初代隊員は「思考の時間」を取り入れ、「聞く」「考える」「発表する」という学習作業を進め、生徒の間で少しずつ定着しつつある。更なる定着を図り、教師に対しては理数科の知識の補強と、授業でほとんど取り入れられていない理科実験に関する工夫を共に考えられるとよい。				
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 数学器具(黒板用定規、コンパス: 個数は不十分)、理科実験器具(化学薬品数種、フラスコ、試験管、ビーカー、ロート、音叉、電流計、アルコールランプ等)、コンピュータ1台、プリンタ1台、コピー機1台、教科書、教師用ガイドブック				
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 数学教師主任、女性、30歳代前半。 ほか数学教師1名。 理科教師主任、男性、30歳代後半。 ほか理科教師2名				
資格条件	6) 業務で使用する言語 <input checked="" type="radio"/> 英語 語(レベル: A) <input type="radio"/> ピジン 語(レベル: C) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力				
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 男性 理由: 安全対策上 ・ 大卒 (理系) 理由: 日本の中高生レベルの理数科を指導するため				
	概地況域 気候( 热帶雨林 ) 気温( 25-35 ℃位 ) 電気( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし ) 電話( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし ) 水道( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし )				



## 平成18年度春募集ボランティア要望調査票

長期 (◎JOCV ○日青 ○SV ○日S )

短期 (○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

現職教員特別参加制度: ◎

記入日: 平成17年12月1日

要請番号( JL 413 - 06- 0 - 12)		<input checked="" type="checkbox"/> JV↔SV振替可	調査者名: 石島 和彦		
国名 パプアニー ギニア	職種 理数科教師 (コード 692) 指導科目 理数科教師 (現地公用語[ 英 語 ]) science and mathematics education	区分 (長期のみ) ○新規 ●交替 2代目	派遣希望期間 1 2年 2 1年 ○ ケ月	派遣希望時期 JOCV SV/短期等	
				1 18年度2次隊	年 月 から
				2 18年度3次隊 3 19年度1次隊	
大分類: 人的資源 中・小分類: 中等教育	分野: 教育 課題: 初等/中等教育授業改善	プログラム名: 初等/中等教育授業改善プログラム			
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) ウエスタン州教育局 (現地公用語) Division of Education, Western Provincial Administration				
	2) 配属先名 (日本語) キウンガ高校 (現地公用語) Kiunga Secondary School				
	3) 配属先所在地 ウエスタン州キウンガ 首都( ポートモレスビー )から 西 方向 400 Km 主要都市( キウンガ市街地 )までの交通手段及び所要時間( 徒歩 で約 0.3時間)				
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 同校は日本の中学3年生～高校3年生(グレード9～12)に当たる生徒を受け入れている。生徒数約720人、男女共学、教員数は28名。年間予算は900,000キナ(約3,330万円)。過去にはVSO(イギリス)ボランティア派遣実績がある。AusAID(オーストラリア)からコンピュータの供与を受けた。				
	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 任国の理数科教師不足は深刻であり、教師の質もあまり高くない。ウェスタン州は当国の中で最も開発が遅れた地域の一つであり、物資の多くを首都から船で輸送している。輸送コストの反映による物価高のため、同地域に赴任を希望する教師は少ない。慢性的な教師不足を補いたいということがあるが、同僚教師へ日本の授業方法、隊員の持つ理科学、数学知識の紹介なども期待されている。				
要請概要	2) 期待される具体的業務内容 中学校から高校初期レベルの数学、物理、化学、生物のうち1科目または複数科目の授業を担当する。現在、特に数学と物理が必要とされている。1週間に20～30コマ程度の授業を担当する他、生徒の成績評価、学校行事や生徒指導等への参画も求められている。				
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 理科実験棟が2棟あり、物理と化学、生物の実験棟に分かれる。各棟にはそれぞれ理科実験室が2教室づつある。化学薬品、顕微鏡、上皿天秤10個、力学台車15台、コンピュータ10台、スキャナ2台。				
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 教員数28名、事務職員等7名 パートナー: 理科教師主任(男性50歳代)				
資格条件	6) 業務で使用する言語 <input checked="" type="radio"/> 英 語 (レベル: B ) <input type="radio"/> 語 (レベル: )				
	*JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力				
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 中学か高校の教諭免許 理由: 生徒および教員に指導をするため ・ 男性 理由: 安全対策上				
概地況域	・ 指導経験3年程度 理由: 生徒および教員に指導をするため				
	気候( 热帯雨林気候 ) 気温( 15～25 ℃位 ) 電気( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし ) 電話( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし ) 水道( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし )				



平成18年度春募集ボランティア要望調査票  
長期 ( ● JOCV ○ 日青 ○ SV ○ 日S )  
短期 ( ○ JV\_A ○ JV\_B ○ SV\_A ○ SV\_B )

事務局記入欄 現職教員特別参加制度: ◎

記入日: 平成17年12月1日

要請番号( JL 413 - 06 - 0 - 13 )		<input checked="" type="checkbox"/> JV↔SV振替可		調査者名: 石島 和彦	
国名	職種／指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期	
パプアニューギニア	職種 理数科教師 (コード 692 ) 指導科目 理数科教師 (現地公用語[ 英 語 ]) science and mathematics education	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 3 代目	<input checked="" type="radio"/> 2年 <input checked="" type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月	1 18年度3次隊	年 月 から
				2 19年度1次隊	
				3 年度 次隊	
大分類: 人的資源 中・小分類: 中等教育	分野: 教育 課題: 初等/中等教育授業改善	プログラム名: 初等/中等教育授業改善プログラム			
配属先概要	1)受入省庁名 (日本語) 東ニューブリテン州 (現地公用語) Division of Education				
	2)配属先名 (日本語) OLSHブナボペ高校 (現地公用語) OLSH Vunapope High School				
	3)配属先所在地 首都( ポートモレスビー )から 北 方向 770 Km 東ニューブリテン州ココポ 主要都市( ココポ市街地 )までの交通手段及び所要時間( バス で約 0.時間 )				
	4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 州内トップクラスの成績を誇る、1962年に設立されたキリスト教系普通化女子高校。年間予算は35万キナ(約1,300万円)。教職員数16名。現在、日本の中学3年生～高校1年生に当たる生徒を受け入れている。当初の予定からは遅れているが、2007年以降に最終学年の引き上げが実施され、高校2年生、3年生(グレード11、12)を受け入れる予定である。他国の援助としては、過去に顕微鏡等、教材の物資援助の実績がある。				
要請概要	1)要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 教師一人当たりの受け持ち授業数が多いことから、教師として授業を担当するとともに学期休みに教師の勉強会をおこなう際、日本の授業方法等の紹介なども期待されている。今後グレード11、12の生徒を受け入れる予定になっており、体制作りや教員の指導力向上が課題になっている。				
	2)期待される具体的業務内容 理科、数学、コンピュータの授業を週30コマ程度担当。理科実験では実験器具の不足を工夫で補い実施できる能力が求められる。コンピュータの管理も行うことから、ある程度のトラブルシューティング知識が必要である。				
	3)ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 電流計、電圧計、顕微鏡(いずれもメーカは不明)。コンピュータ20台。				
	4)配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 教員数16名(25歳～55歳)、事務職員3名 パートナー: 理科教師主任				
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中学か高校の教諭免許 理由: 生徒および教員に指導をするため</li> <li>・ 男性 理由: 安全対策上</li> </ul>				
概況	気候( 热帯雨林気候 ) 気温( 20-30 ℃位 ) 電気( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし ) 電話( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし ) 水道( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし )				



## 平成18年度春募集ボランティア要望調査票

長期 ( ● JOCV ○ 日青 ○ SV ○ 日S )

短期 ( ○ JV\_A ○ JV\_B ○ SV\_A ○ SV\_B )

事務局記入欄

現職教員特別参加制度: X

記入日: 平成17年9月27日

要請番号( JL 416 - 05 - 1 - 06 )		<input type="checkbox"/> JV↔SV振替可	調査者名: 竹前 雅子			
国名  トンガ	職種 / 指導科目  職種 理数科教師 (コード 692 ) 指導科目 (現地公用語[ 英 語 ]) science and mathematics education		区分 (長期のみ)  ○ 新規 ● 交替 2 代目	派遣希望期間  ● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	派遣希望時期  JOCV SV/短期等	
	大分類: 中・小分類:	分野: 教育 課題: 基礎教育の改善			1 18年度2次隊 2 18年度3次隊 3 19年度1次隊	
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) アングリカン教会 (現地公用語) Anglican Church, Diocese of Polynesia					
	2) 配属先名 (日本語) セントアンドリュース高校 (現地公用語) St. Andrew's High School					
	3) 配属先所在地 首都( ヌクアロファ )から 南西 方向 2.5 Km マリエタハ、ヌクアロファ 主要都市( ヌクアロファ )までの交通手段及び所要時間( 徒歩 で約 0.8時間)					
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 教会系の私立高等学校で、教職員27名、生徒数410名、日本の中学校及び高等学校にあたるForm1~6までの6学年がある。年間予算は学費、寄付金、政府補助金(学生1人当たり約50米ドル/年)からなる、年間約US\$10万ドルで、うち隊員が使用できる経費は、年間US\$100ドル程度である。					
	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) トンガでは初等教育終了時に試験があり、成績の良い生徒は学費が安く教育レベルの高い公立学校へ進学する。私立の学校は、公立の補助的な立場にありながら政府からの補助金は少なく、慢性的な資金難にある。また、公立学校の教員に比べると諸手当が低いため教員が定着せず、教育の質の向上が難しい状況にある。このため、質の高い教育を提供するためには、広い知識と経験をもった海外のボランティアに頼らざるを得ない現状にあり、とりわけ経験のある理数科教師が不足しているところから、引き続きの派遣要請となった。					
要請概要	2) 期待される具体的業務内容 ・主に低学年の理科と物理の授業を担当する ・指導経験の少ない若い同僚教師への助言 ・教員の一員として、各種学校行事や課外活動への参加					
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 他の教師と共に用で、5台のコンピューター(Windows)、コピー機を使用する。理科室(少数ではあるが実験用器具がある)、普通教室、黒板、教科書。					
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 上司: 校長(理科学科長) 同僚: 理科教師4人					
	6) 業務で使用する言語 <input checked="" type="radio"/> 英語 語 (レベル: ) <input type="radio"/> 語 (レベル: )					
*JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力						
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 大卒 (理系) 理由: 理数科指導のため ・ 指導経験 2年程度 理由: 教員への助言を行うため					
概況	気候( 亜熱帯 高温多湿 ) 気温( 15~33 ℃位 ) 電気( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし ) 電話( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし ) 水道( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし )					



## 平成18年度春募集ボランティア要望調査票

長期 (◎JOCV ○日青 ○SV ○日S )

短期 (○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

現職教員特別参加制度: ◎

記入日: 平成18年1月2日

要請番号( JL 419 - 06 - 0 - 04)		<input checked="" type="checkbox"/> JV↔SV振替可		調査者名: 松井 信晃	
国名  サモア	職種 理数科教師 (コード 692) 指導科目 (現地公用語[ 英 語 ]) science and mathematics education	区分 (長期のみ) ○新規 ●交替 2代目	派遣希望期間 ● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	派遣希望時期 JOCV SV/短期等	
				1 18年度3次隊	年月から
				2 19年度1次隊	
大分類: 人的資源 中・小分類: 中等教育		分野: 教育 課題: 基礎教育			
プログラム名: 基礎教育改善					
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 (現地公用語) Ministry of Education				
	2) 配属先名 (日本語) アノアマア中高等学校 (現地公用語) Anoamaa College				
	3) 配属先所在地 首都( アピア )から 東 方向 20 Km サオルアファタ 主要都市( アピア )までの交通手段及び所要時間( 車 で約 0.8時間)				
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 地域の中高等学校。教員、教科書は教育省が負担。運営は地域代表者や保護者代表などから構成される学校評議会(School Committee)によって行われ、授業料等も決定される。9-13学年、生徒数約280、教員数11。年間予算10,000タラ程度(推定)。現在、理数科教師隊員が派遣中。理数科教育改善プロジェクトのモデル校である。アジア開発銀行(ADB)の援助により05年から新校舎での授業が開始され、基本的な実験機材等は整っている。				
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 任国では理数系教科の学力の低さが問題となっており、特に基礎学力の向上が必要である。同配属先は数年続けて全国統一試験の結果、当該教科の成績が悪く、新カリキュラムのもとで学力向上を図るためにモデル校と選定され、JOCV派遣要請に至った。現在、当該プロジェクトはPhase1でモデル校及び協力校での取り組みを進めているが、Phase2では、モデル校での成果を他の中高等学校レベルに普及していく予定。Phase2でも引き続き、同配属先はプロジェクトの中核として位置付けられる。				
	2) 期待される具体的な業務内容 ・初中等教育改善プログラムの一環としてモデル校での理数科教育の質的向上を図る。具体的には配属先で数学及び理科を担当し、英語で授業を行う。総合理科(9-12学年)と、12,13学年の生物、化学、物理に教科が分かれる。同校が05年度12年生に提供したのは総合理科と生物。 ・教育省配属のSVと連携しつつ、任国カリキュラムの効果的運用法、教科指導法を探り、研修等を通じて任国教科担当教師の能力向上ができるよう支援する。				
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 基本的な理科実験器具一式及び試薬、パソコン				
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 理科教師2名、20-30代、教員養成校修了 数学教師3名、20-40代、教員養成校修了 学生13~17歳男女				
6) 業務で使用する言語 <input checked="" type="radio"/> 英 語 (レベル: ) <input type="radio"/> 語 (レベル: )					
*JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力					
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 • 大卒(理系) 理由: 理科または数学の基礎知識は必要 • 実務経験 理由: 授業のためにクラス運営の経験は必要				
概地況域	気候( 热帯海洋性 ) 気温( 20-32 ℃位 ) 電気( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし ) 電話( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし ) 水道( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし )				



## 平成18年度春募集ボランティア要望調査票

長期 ( ● JOCV ○ 日青 ○ SV ○ 日S )

短期 ( ○ JV\_A ○ JV\_B ○ SV\_A ○ SV\_B )

事務局記入欄

現職教員特別参加制度: ◎

記入日: 平成18年1月2日

要請番号( JL 419 - 06 - 0 - 05 )		<input checked="" type="checkbox"/> JV↔SV振替可		調査者名: 松井 信晃		
国名	職種／指導科目		区分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期	
	職種 理数科教師 (コード 692 ) 指導科目 (現地公用語[ 英 語 ]) science and mathematics education				JOCV	
大分類: 人的資源 中・小分類: 中等教育	分野: 教育 課題: 基礎教育強化					
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 (現地公用語) Ministry of Education, Sports & Culture					
	2) 配属先名 (日本語) レイフィフィ中高等学校 (現地公用語) Leififi College					
	3) 配属先所在地 首都( )から 方向 Km アピア市マリファ地区 主要都市( )までの交通手段及び所要時間( で約 時間)					
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 任国でも有数のマンモス校で学生数約1400名、教師48名。理数科教育改善プログラムの協力校であり、理数科分科会の模擬授業の会場ともなった。教育省の隣に位置し、同省との関係も深い。					
	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 理数科教育改善プロジェクトの協力校であり、教育省の隣に位置し関係も深いことから、今後の同プロジェクトの展開に重要な役割を果たすと判断されるため、先方からの要請に基づき隊員を配置することになった。					
要請概要	2) 期待される具体的業務内容 ・初中等教育改善プログラムの一環として協力校での理数科教育の質的向上を図る。具体的には配属先で数学及び理科を担当し、英語で授業を行う。総合理科(9-12学年)と、12,13学年の生物、化学、物理に教科が分かれる。 ・教育省配属のSVと連携しつつ、任国カリキュラムの効果的運用法、教科指導法を探り、研修等を通じて任国教科担当教師の能力向上ができるよう側面支援する。 ・特に物理・化学の担当が求められるが、他の教科でも応相談。					
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 理科実験機材一式及び試薬					
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 数学 4名、理科4名、男女、25-40、教員養成機関卒(Diploma)レベル					
	6) 業務で使用する言語 <input checked="" type="radio"/> 英 語 (レベル: ) <input type="radio"/> 語 (レベル: )					
	<small>*JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力</small>					
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大卒 (理系) 理由: 理数科の基礎的な知識が必要</li> <li>・ 実務経験 理由: クラス運営のため経験が必要</li> </ul>					
概況	気候( 热帶海洋性 ) 気温( 25-32 ℃位 ) 電気( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし ) 電話( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし ) 水道( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし )					



## 平成18年度春募集ボランティア要望調査票

長期 (  JOCV  日青  SV  日S )短期 (  JV\_A  JV\_B  SV\_A  SV\_B )

事務局記入欄

現職教員特別参加制度: 

記入日: 平成18年1月2日

要請番号( JL 419 - 06 - 0 - 06 )		<input type="radio"/> JV↔SV振替可	調査者名: 松井 信晃		
国名  サモア	職種 理数科教師 (コード 692 ) 指導科目 (現地公用語[ 英 語 ]) science and mathematics education	区分 (長期のみ) ◎新規 ○交替 代目	派遣希望期間 ● 2年 ○ 1年 ○ ケ月	派遣希望時期 JOCV SV/短期等 1 18年度2次隊 2 18年度3次隊 3 19年度1次隊 年 月 から	
大分類: 人的資源 中・小分類: 中等教育	分野: 教育 課題: 基礎教育改善	プログラム名: 基礎教育改善			
配属先概要	1)受入省庁名 (日本語) 財務省 (現地公用語) Ministry of Finance				
	2)配属先名 (日本語) ウェズリーカレッジ (現地公用語) Wesley College				
	3)配属先所在地 首都( アピア )から 西 方向 15 Km ウポル島ファレウラ地区 主要都市( アピア市内 )までの交通手段及び所要時間( バス で約 0.4時間)				
	4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) キリスト教メソジスト派教育委員会が運営する学生数510名、教師数28名の5年制中・高等学校(他宗派の学生も在籍)。英語、数学、科学、社会、サモア語、美術、農業科学、経理、地理、歴史、コンピュータ、キリスト教、科学、生物などの教科を教えている。同委員会の年間予算は約18.3百万円(他の1校の中高等学校、2校の職業訓練校などを含む)				
	1)要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 多数の学生を抱え、基幹教科である理数科を担当するための慢性的な教員不足が続いている。2006年から系列の学校の卒業生で優秀な者に奨学金を出し、大学卒業後しばらく同教育委員会傘下の学校で教鞭をとることを条件とした、教員養成促進プロジェクトを計画している。その結果が出るまで、数年間の間、JICAボランティアによる支援の要請があった。				
要請概要	2)期待される具体的業務内容 ・配属先で数学または理科を担当し、教育内容の改善を図る。 ・任国内で行われる理数科プロジェクト(日本側の実施者はシニア海外ボランティアや他校派遣の協力隊員)と連携し、配属先とプロジェクトの協力を促進し、同プロジェクトの成果の還元を図る ・可能であれば化学・物理の担当ができる人材				
	3)ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 基礎的実験機材				
	4)配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 学生13-17歳 数学3名(Certificate～Degree) 理科2名(Certificate～Degree)				
	6)業務で使用する言語 <input checked="" type="radio"/> 英 語 (レベル: ) <input type="radio"/> 語 (レベル: )				
	*JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力				
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 大卒 (理系) 理由: ・ 実務経験 理由:				
概地況域	気候( 热帯海洋性 ) 気温( 20-32 ℃位 ) 電気( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし ) 電話( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし ) 水道( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし )				



## 平成18年度春募集ボランティア要望調査票

長期 (  JOCV  日青  SV  日S )短期 (  JV\_A  JV\_B  SV\_A  SV\_B )

事務局記入欄

現職教員特別参加制度: 

記入日: 平成17年5月7日

要請番号( JL 419 - 06 - 0 - 07 )		<input type="checkbox"/> JV↔SV振替可	調査者名: 松井 信晃			
国名  サモア	職種 理数科教師 (コード 692) 指導科目 (現地公用語[ 英 語 ]) science and mathematics education		区分 (長期のみ)  ○ 新規 ● 交替 5 代目	派遣希望期間  ● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	派遣希望時期  JOCV SV/短期等  1 18年度2次隊 2 18年度3次隊 3 19年度1次隊	
大分類: 中・小分類:		分野: 課題:	プログラム名: 基礎教育強化			
配属先概要	1)受入省庁名 (日本語) 財務省 (現地公用語) Ministry of Finance					
	2)配属先名 (日本語) ポールVIカレッジ (現地公用語) Paul VI College					
	3)配属先所在地 首都( Apia )から 西 方向 25 Km レウルモエガ 主要都市( Apia )までの交通手段及び所要時間( バスで約1時間 )					
	4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) カトリック大司教教育システムに属するカレッジのひとつで、生徒数200名、年間予算約700万円。8年生から12年生(12歳~18歳)の4年制で、英語、数学、地理、簿記、経済、農業、家政、木工、タイプ、音楽、コンピュータの教科を教えている。					
	1)要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 当国には数学教師の人材は育ちつつあるが、いまだ不足の状況は続いている。特に地方の学校ほど遅れている。また、国語及び数学についての学力低下が問題となっており、学生の学力向上と地方の学校に勤務する教師の数学教育水準向上のため隊員が要請されている。					
要請概要	2)期待される具体的業務内容 ・実際にクラスを持ち、学生に授業を行う。また、同僚数学教師と共に、教授法、実験、指導計画、教材指導、板書方法等について改善を図る。 ・理数科改善プロジェクトの提携校として、他の理数科教育SV、JOCVと連絡を取り合いながら、任国内の同分野での教育向上のために協力する。 ・学生の学力水準は高くななく基礎部分から指導する必要がある。5学年全体の水準は日本の中学1年から高校3年に相当し範囲は広い。 ・理科は12学年までは一般理科が教えられるが、生物の知識は必須。 ・原則は英語の授業であり、同僚とも英語でコミュニケーションをとるので英語力が必要。しかし、英語が苦手な学生も多く、重要なことや新しい概念はサモア語での説明を要するため、サモア語の習得が必要となる(赴任後現地訓練あり)。					
	3)ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 計算機、黒板、理科実験室(非常に基礎的な実験器具類)					
	4)配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル Year 8~12の学生(12~18歳)、同僚教師(ベテランから新人まで)					
	6)業務で使用する言語 ● 英 語 (レベル: ) ○ 語 (レベル: )					
	*JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力					
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 大卒 (理系) 理由: 理科、数学の基本的な知識が必要 ・ 実務経験 理由: クラス運営にある程度なれれていること					
概地況域	気候( 热帯海洋性 ) 気温( 25~32 ℃位 ) 電気( <input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし ) 電話( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし ) 水道( <input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし )					



## 平成18年度春募集ボランティア要望調査票

長期 ( ● JOCV ○ 日青 ○ SV ○ 日S )

短期 ( ○ JV\_A ○ JV\_B ○ SV\_A ○ SV\_B )

事務局記入欄

現職教員特別参加制度: ◎

記入日: 平成17年2月5日

要請番号( JL 425 - 05 - 0 - 05 )		<input checked="" type="checkbox"/> JV↔SV振替可		調査者名: 潑下 良信	
国名	職種／指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期	
ソロモン	職種 理数科教師 (コード 692) 指導科目 (現地公用語[ 英 語 ]) science teacher	● 新規 ○ 交替 2 代目	● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	1 18年度2次隊 2 18年度3次隊 3 19年度1次隊	年月 から
大分類:	分野:				
中・小分類:	課題:	プログラム名:			
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育・人的資源開発省 (現地公用語) Ministry of Education and Human Resources Development				
	2) 配属先名 (日本語) ルアバツ中高校 (現地公用語) Ruavatu Secondary School				
	3) 配属先所在地 ガダルカナル州ルアバツ	首都( ホニアラ )から 南東 方向 50 Km 主要都市( ホニアラ )までの交通手段及び所要時間( 車 で約 1時間)			
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) ソロモンのセカンダリースクールはForm1からForm7まであり、Form1からForm3が日本の中学生、Form4から5までが高校生レベルとなる。Form6とForm7の履修は大学進学のための条件となっており、進級するには全国試験に合格する必要がある。配属先はガダルカナル島にある州立中高校で、今年からForm6クラスが新設された。生徒数600名(全14クラス)の全寮制で教師数は24名。協力隊はこれまで理数科教師と体育教師を各1名派遣している。				
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) ソロモン諸島ではコミュニティ中学(Form1ーForm3のみ)の新設、および国立・州立中高校のForm6・7増設が相次ぎ教師不足が深刻な問題となっている。ソロモン国内の理数科教師はもともと数が少なく、特に高学年のクラスを教えることができる人材の確保が緊急な課題となっている。配属先でも、今年から新設されるForm6×2クラスを指導する理科教師を緊急に求めている。				
	2) 期待される具体的業務内容 Form 5 2クラスに対する週4时限の生物授業 Form 6 2クラスに対する週8时限の生物授業 授業は英語で行う。担当する授業時間数は、計24时限(1时限は40分)となる。Form6のクラスで週3日、2时限の授業があるが、これは実験や野外研究を予定したものである。他の教師との話し合いにより、他の理科科目やクラスの担当をすることも可能である。 同僚教師の経験が少ないとから、同僚教師への技術指導も期待されている。				
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 前任の理数科教師隊員が理科観察・実験器具を揃えていたが、ここ5年間の内乱中に機材の破壊・盗難が相次いだ。不揃いながら残っている実験器具もあるが、隊員派遣後再整備をする必要がある。				
資格条件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 理科教師3名: 20代短大(教育)新卒、20代短大(教育)卒・経験2年、20代PNG大学(理学)卒・経験2年	6) 業務で使用する言語 <input checked="" type="radio"/> 英 語 (レベル: ) <input type="radio"/> ピジン 語 (レベル: )		*JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力	
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 大卒 (理系又は教育) 理由: 高校2、3年生レベルの生物授業を担当する。				
概況	気候( 热帯雨林 ) 気温( 25-33 °C位 ) 電気( <input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし ) 電話( <input type="checkbox"/> インターネット可 <input type="checkbox"/> 通話可 <input checked="" type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし ) 水道( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし )				



平成18年度春募集ボランティア要望調査票  
 長期 (◎JOCV ○日青 ○SV ○日S )  
 短期 (○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

現職教員特別参加制度: ◎

記入日: 平成17年2月24日

要請番号( JL 425 - 05 - 0 - 11 )		<input checked="" type="checkbox"/> JV↔SV振替可		調査者名: 澱下 良信	
国名 ソロモン	職種 理数科教師 (コード 692 ) 指導科目 (現地公用語[ 英 語 ]) science and mathematics education		区分 (長期のみ) ●新規 ○交替 代目	派遣希望期間 ● 2年 ○ 1年 ○ ケ月	派遣希望時期 JOCV SV/短期等 年 月 から
大分類:	分野:	プログラム名:			
中・小分類:	課題:				
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育・人的資源開発省 (現地公用語) Ministry of Education and Human Resource Development				
	2) 配属先名 (日本語) ヴオヌヌ中高校 (現地公用語) Vonunu Provincial Secondary School				
	3) 配属先所在地 首都( ホニアラ )から 西 方向 400 Km ウェスタン州ベララベラ島ヴオヌヌ 主要都市( ギゾ )までの交通手段及び所要時間( ボートで約 1 時間)				
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) ソロモンのセカンダリースクールはForm1からForm7まであり、Form1からForm3が日本の中学生、Form4から5までが高校生レベルとなる。Form6とForm7の履修は大学進学のための条件となっている。配属先はウェスタン州ベララベラ島にある州立中高校で、生徒数は320名。全寮制で、Form1からForm6まで計8クラスあり、教員数は18名。協力隊はこれまで理数科教師1名を派遣している。他の中高校と同様、年間の学校運営費200万ソロモンドルの半分はEUが支援している。				
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) ソロモン諸島ではコミュニティ中学(Form1-Form3のみ)の新設、および国立・州立中高校のForm6・7増設が相次ぎ教師不足が深刻な問題となっている。ソロモン国内の理数科教師はもともと数が少なく、特に高学年のクラスを教えることができる人材の確保が緊急な課題となっている。配属先でも、高校生レベルのクラスを指導する理数科教師を緊急に求めている。				
	2) 期待される具体的業務内容 Form 4, 5 各2クラスに対する週28時間(7時限×4クラス)の物理・生物・化学授業 授業は英語で行う。週28時間の授業担当はあくまでも配属先の希望であり、配属先教師との分担やクラス数の少ないForm1-3への担当変更など話し合いにより変更が可能である。赴任当初の担当は20時間程度が適当かと思われる。数学への担当変更も可能。				
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 コンピューター1台。前任者が揃えた顕微鏡、人体模型など理科観察・実験器具がかなり残されている。理科室(1部屋)も整備されている。				
資格条件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 理科教師2名: 20歳代 短大(教育)卒 経験4年、 20歳代 PNG大学(地学)新卒 数学教師2名: 30歳代 短大(教育)卒 経験9年、 20歳代 短大(教育)卒 経験1年		6) 業務で使用する言語 <input checked="" type="radio"/> 英 語 (レベル: ) <input type="radio"/> ピジン 語 (レベル: ) <small>*JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力</small>		
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 <b>・ 大卒 (理系又は教育)</b> 理由: 高校生レベルの理数科授業を担当する。				
概況	気候( 熱帯雨林 ) 気温( 25-33 °C位 ) 電気( <input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし ) 電話( <input type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし ) 水道( <input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし )				